

平成 26 年度教材販売価格の改定について (『春期スクーリングの手引』掲載販売価格に注意 !)

平成 26 年 4 月 1 日からの消費税率の引き上げに伴い、教材購入価格も平成 26 年 4 月 1 日から変更されます。

『平成 26 年度春期スクーリングの手引』 中で、
[通材] と表記されている通信教育教材は平成 25 年度の価格で掲載しています。4 月 1 日 (火) 以降に購入する場合には、平成 26 年度教材販売価格 (次頁参照) での購入となりますのでご注意ください。

なお、[丸沼]印の市販本については、手引掲載価格のとおり販売いたします。

現行の価格で購入を希望する場合は、3 月 31 日 (月) までの事務取扱時間内に会計課窓口で購入の手続きをしてください (郵送の場合は必着)。

※平成 26 年度改訂教材 (新教材) の教材購入は 4 月 1 日 (火) からとなります。

通信教育教材を購入する場合は、以下の内容を熟読し、手続きしてください。

1 教材購入が必要な場合

① 印刷教材の改訂

印刷教材は、刊行からの経過年数等の状況により、改訂される場合があります。印刷教材が新しくなっても、旧教材の配本を受けている学生に新教材は配本されませんが、教材が改訂された年度に限り経過措置として、旧教材の課題によるリポート提出が認められ、科目修得試験においても「旧教材」からも出題されます。

この経過措置期間内において「新教材」での履修を希望する場合及び経過措置後において「新教材」での履修をする場合は、「教材購入」をしてください。

なお、「教材購入」は、「履修登録」と異なるため、履修登録することなく、教材を購入しただけでは、科目修得試験やスクーリング・メディア授業併用試験方式での履修はできませんので注意してください。

② 面接授業（スクーリング）、メディア授業で「通信教育教材」を使用する場合

ただし、履修登録により、既に同一の教材を所持する場合は購入の必要はありません。

③ 印刷教材を紛失した場合

④ 参考書として印刷教材を使用する場合

2 教材購入手続

教材を購入する場合、巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。

今月号で「平成26年度教材販売価格一覧」を掲載しておりますので、平成26年度用として保管してください。

なお、教材によっては、消費税率の引き上げ等により昨年度と価格が変更になっているものがあるので、必ず確認してください。教材販売価格は送料込の価格となっています。

『平成26年度春期スクーリングの手引』は3月1日発行のため、平成25年度価格で掲載しています。

4月1日以降に購入する場合には、次頁の「平成26年度教材販売価格一覧」の販売価格が適用されます。平成25年度価格で購入する場合は、3月31日（月）事務時間内必着です。

「教材購入願」の用紙は本大学通信教育部ホームページの「在学生用サポート(Web報)」の「各種手続用紙(様式)」からダウンロード(PDF)が可能です。また、「教材販売価格一覧」もダウンロード(PDF)が可能です。

① 窓口の場合

教務課もしくは会計課にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

② 郵送の場合

巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

3 注意事項

- 手続後の変更・取消し及び納入金額の返還はできません。
- 教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への郵送となります。
- 教材が手元に届くまでは手続完了後、一週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- 窓口での教材配本はできません。

平成26年度教材販売価格一覧

平成26年4月 (単位:円)

科目コード	教材コード	教材名	販売価格
0011	000404	哲学『西洋思想の要諦周覧』	3,350
0012	000002	論理学	1,850
0013	000405	倫理学『21世紀の倫理』	3,550
0014	000004	宗教学	1,850
0015	000393	歴史学	1,650
0016	000308	文化史『日本文化史(第2版)』	1,350
0017	000406	文学『文学概論』	2,700
0019	000310	美術史『カラー版 日本美術史』	2,600
0021	000394	法学	1,700
0022	000433	社会学『社会学講義』	1,450
0023	000279	政治学	1,800
0024	000450	経済学	1,950
0031	000339	数学『教養の数学(改訂版)』	2,850
0034	000434	生物学『人の生命科学(第3版)』	3,300
0035	000483	心理学『新しい心理学ゼミナール』	2,850
0036	000018	統計学『新統計入門』	2,500
0037	000398	科学史『改訂新版 思想史のなかの科学』	2,000
0041	000019	英語I	1,250
0042	000020	英語II	950
0043	000021	英語III	1,100
0044	000371	英語IV『Get It Write』	2,400
0045	000023	英語V	1,300
0046	000294	英語基礎『Welcome to College English コミュニケーションのための大学英語入門』	2,500
0046	000313	英語基礎『Welcome to College English コミュニケーションのための大学英語入門(学習用ガイド)』	1,000
0051	000024	ドイツ語I『あなたのドイツ語-授業のための文法講義ノート-』	2,100
0052	000441	ドイツ語II『ハンブルグの風 ドイツ語文法読本』	3,050
0053	000026	ドイツ語III『ベルリン・ドイツ統一の日』	2,200
0054	000442	ドイツ語IV『フリーダ伯母さん』	1,550
0056	000372	フランス語I『ゼフィール』	2,650
0057	000373	フランス語II『CD・イラストで覚えるフランス語基本500語』	2,500
0058	000374	フランス語III『アルモニ』	2,400
0059	000347	フランス語IV『ヴワラ!』	2,750
0061	000456	中国語I『中国語キャンパス会話編(改訂版)』	2,850
0062	000457	中国語II『中国語キャンパス基礎編(改訂版)』	2,850
0063	000458	中国語III『中国語検定4級合格への手引き』	2,400
0064	000459	中国語IV『時事中国語の教科書2011年度版』	2,500
0066	000295	日本語I『どんなときにどう使う日本語表現文型200 初・中級』	3,150
0067	000460	日本語II『にほんご作文の文法(改訂版)』	2,500
0068	000297	日本語III『日本を考える五つの話題』	2,400
0069	000461	日本語IV『日本への招待(第2版)』	3,050
0074	000395	保健体育講義I	950
0075	000037	保健体育講義II	750
0081	000038	国文学基礎講義『日本文学 古典と近代』	2,500
0085	000400	英語学概説『英語学入門』	3,050
0086	000041	英米文学概説『English Literature 英文ラーナー』	2,850
0091	000042	哲学基礎講読	3,650
0092	000044	宗教学基礎講読『世界の宗教』	2,650
0093	000337	倫理学基礎講読『ソクラテスの弁明ほか』	2,400
0095	000484	日本史入門『方法教養の日本史』	3,500
0097	000047	西洋史入門『歴史とは何か』	1,350
0098	000048	考古学入門	1,050
0112	000049	日本法制史	2,650
0121	000261	憲法	2,000
0122	000051	行政法I	2,650
0123	000262	行政法II	2,100
0124	000462	国際法『国際法』	2,850
0131	000407	民法I	2,300
0132	000408	民法II	2,200
0134	000354	民法III	2,600
0135	000355	民法IV	2,800
0137	000059	民法V	2,450
0140	000451	商法	2,000
0141	000061	商法I	1,900
0143	000379	商法II『会社法(第15版)』	3,150
0144	000314	商法III	2,850
0147	000064	国際私法	2,350
0151	000066	刑法I	1,600
0152	000396	刑法II	2,250
0160	000380	民事訴訟法(旧教材)	2,100
0160	000494	民事訴訟法(新教材)	2,100
0163	000409	刑事訴訟法	2,050
0171	000381	労働法	1,400
0172	000463	知的財産権法『標準 特許法(第4版)』	3,300
0173	000410	税法『税法学原理【第六版】』	6,900
0210	000353	政治学原論	1,600
0213	000452	日本政治史	3,050
0214	000464	西洋政治史『現代ヨーロッパ政治史(増補版)』	3,300
0215	000391	東洋政治史(旧教材)	1,600
0215	000495	東洋政治史(新教材)	1,700
0220	000082	政治思想史	1,250
0221	000084	行政学	2,700
0222	000085	外交史	2,000
0223/0224/0225	000086	国際政治論/国際政治学/国際政治学概論(旧教材)	2,400
0223/0224/0225	000501	国際政治論/国際政治学/国際政治学概論『国際関係論』(新教材)	2,850

科目コード	教材コード	教材名	販売価格
0226	000349	地方自治論（旧教材）	1,900
0226	000496	地方自治論（新教材）	1,750
0311/0312	000087	国文学史 I・II 『日本文学の歴史』	2,650
0314	000088	国語学講義	2,650
0321	000089	国文学概論	2,900
0331	000090	国文学講義 I（上代）	3,150
0334	000091	国文学講義 III（中世）	2,100
0334	000370	国文学講義 III（中世）『源氏物語の世界』	1,350
0336	000093	国文学講義 IV（近世）	2,250
0338	000094	国文学講義 V（近代）『現代日本文学のながれ』	2,750
0339	000361	国文学講義 VI（現代）『現代日本文学史』	2,500
0351	000412	国語学概論『現代日本語学入門』	2,650
0355	000101	国文法『日本語文法』	2,700
0356	000266	国語音声学	1,350
0371	000437	漢文学 I	1,850
0372	000108	漢文学 II	1,300
0379	000109	文章表現法『日本語の表現』	2,450
0411	000111	イギリス文学史 I	2,300
0412	000112	イギリス文学史 II	2,900
0414	000267	アメリカ文学史『An Outline of American Literature』	3,700
0431	000116	英米文学特殊講義	1,900
0441	000117	英語史『詳注 ブルック英語史 A History of the English Language』	2,600
0445	000270	英文法	1,800
0447	000120	英作文 I	1,700
0448	000121	英作文 II	1,600
0450	000413	英語音声学『【新装版】英語音声学入門』	3,050
0453	000123	スピーチコミュニケーション I	950
0454	000124	スピーチコミュニケーション II	1,050
0471	000128	放送英語	1,950
0472	000129	新聞英語	1,600
0476	000414	英米事情 I『新装 アメリカ社会文化史 American Society』	2,500
0477	000465	英米事情 II『近現代イギリス事情』	2,400
0478	000415	異文化間コミュニケーション概論『日本とアメリカ深層文化へのアプローチ』	2,450
0511	000133	西洋思想史 I	2,700
0513	000134	西洋思想史 II	1,750
0516	000392	東洋思想史 I	1,900
0518	000438	東洋思想史 II	1,450
0521	000137	日本思想史 I『日本思想論争史』	2,850
0531	000138	哲学概論	1,800
0532	000139	宗教学概論	1,550
0533	000140	倫理学概論	2,300
0571	000345	哲学特殊講義	2,650
0575	000142	科学哲学	1,750
0611	000144	史学概論	1,850
0620/0621	000382	日本史概論／日本史概説『概論 日本歴史』	2,500
0623/0627	000146	東洋史概説／東洋史概論	1,800
0624/0628	000147	西洋史概説／西洋史概論	2,250
0625/0626	000148	外国史／外国史概説	1,950
0651	000149	考古学特講 I	2,300
0661	000151	日本史特講 I	2,300
0662	000152	日本史特講 II『近世日本の展開』	3,600
0665	000153	東洋史特講 I	1,900
0666	000485	東洋史特講 II『上海—都市生活の現代史』	2,400
0669	000156	西洋史特講 I	1,650
0674	000280	古文書学『古文書入門ハンドブック』（旧教材）	3,250
0674	000502	古文書学『新版古文書学入門』（新教材）	4,050
0679	000158	考古学概説	2,350
0711/0712	000159	経済原論／経済学原論	2,350
0713/0714	000160	経済学史／経済学説史	2,200
0716	000352	価格理論	1,500
0720	000161	経済史総論	2,950
0722	000416	日本経済史『日本経済史1600-2000 - 歴史に読む現代-』	3,500
0724	000163	西洋経済史	2,100
0730/0731	000164	経済政策総論／経済政策	2,400
0732	000486	農業経済論『農業経済学（第3版）』	2,950
0734	000166	工業経済論『新版・現代工業経済論』	4,250
0736	000466	日本経済論『日本経済読本（第18版）』（旧教材）	2,950
0736	000499	日本経済論『日本経済読本（第19版）』（新教材）	2,950
0737	000281	国際経済論	1,950
0740	000350	経済開発論	1,700
0741/0742	000487	財政学総論／財政学『基本財政学（第4版）』	2,950
0743	000170	地方財政論	1,650
0744	000467	租税論『新版 租税論』	3,700
0746	000320	金融論『金融政策とオープンマクロ経済学（5刷）』	3,400
0747	000440	貨幣経済論	1,500
0752	000174	経済統計学	2,550
0761/0762	000175	社会政策論／社会政策	2,550
0763	000500	労働経済論『よくわかる社会政策』（新教材）	3,300
0773	000453	情報概論	1,300
0811	000356	商学総論	3,250
0821	000401	商品学『現代商品論（第2版）』	2,550
0822	000439	貿易論	2,350
0823	000182	マーケティング	2,200
0825	000183	保険総論	1,400
0827	000184	交通論	1,950
0829	000185	証券市場論	1,500
0830	00481	広告論	1,500
0831	000187	商業政策	2,450
0833	000432	国際金融論	2,000
0835	000190	商業英語 I	1,400

科目コード	教材コード	教材名	販売価格	科目コード	教材コード	教材名	販売価格
0836	000191	商業英語Ⅱ	1,300	0983/0984	000241	法学通論／法律学概論(国際法を含む)『現代法学入門(第4版補訂版)』	1,850
0841	000271	経営学(旧教材)	2,400	0985	000243	政治学概論	1,950
0841	000497	経営学(新教材)	2,400	0986	000244	経済学概論	1,850
0848	000488	中小企業論『現代中小企業の新機軸』	3,700	0988	000455	職業指導	2,050
0851	000482	会計学	2,900	0989	000247	心理学概論	2,100
0854	000454	簿記論Ⅰ	1,850	0992	000444	国語科教育法Ⅱ『新訂 国語科教育学の基礎』	3,150
0897	000417	観光事業論	2,000	0994	000472	商業科教育法Ⅱ『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』	2,850
0898	000197	商業史『日本商業史』	3,950	0996	000257	英語科教育法Ⅰ	1,000
0901/0904	000199	教育原論／教育の思想	1,250	0997	000490	英語科教育法Ⅱ『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』	3,300
0903	000418	現代教職論『改訂新版 教職入門教師への道』	2,450	1001	000299	学校経営と学校図書館『学校経営と学校図書館』	2,550
0905	000419	教育の歴史	1,650	1002	000389	学校図書館メディアの構成『分類・目録法入門(改訂第5版)－メディアの構成－』	2,750
0906	000420	発達と学習『教職をめざす人のための教育心理学』	2,850	1003	000448	学習指導と学校図書館『学習指導と学校図書館』	2,400
0907	000421	教育の社会学『教育社会学(教師教育ティキストシリーズ5)』	2,400	1004	000302	読書と豊かな人間性『心の扉をひらく本との出会い』	2,600
0912	000285	教育制度論	1,300	1005	000473	情報メディアの活用『情報メディアの活用(シリーズ学校図書館学5巻)』	2,100
0925	000341	教育の方法・技術論	1,250	2001	000436	生涯学習論『生涯学習概論』	3,150
0931	000469	国語科教育法Ⅰ『新版 中学校・高等学校 国語科教育法』	2,650	2008	000491	民俗学『図説 日本民俗学』	3,300
0933	000470	商業科教育法Ⅰ『高等学校学習指導要領解説 商業編』	950	2009	000424	文化人類学『文化人類学のレッスン(増補版)』	2,900
0937/0947	000218	教育相談／教育カウンセリング論(旧教材)	1,400	2010	000492	博物館概論『新時代の博物館学』	2,500
0937/0947	000498	教育相談／教育カウンセリング論(新教材)	1,600	2011	000475	博物館経営論『新博物館学－これからの博物館経営』	3,500
0940/0941	000214	道徳教育の理論と方法／道徳教育の研究	1,700	2012	000493	博物館資料論『博物館資料論(改訂新版)』	3,400
0943/0942	000443	特別活動論／特別活動の研究『最新 特別活動の研究』	2,650	2013	000477	博物館資料保存論『文化財保存環境学』	4,600
0944	000397	生徒指導・進路指導論	1,850	2014	000478	博物館展示論『学芸員の仕事』	2,500
0955	000445	国語科教育法Ⅲ『新たな時代を拓く 中学校高等学校国語科教育研究』	2,850	2015	000479	博物館教育論『博物館展示・教育論』	2,500
0956	000446	国語科教育法Ⅳ『国語科の教材・授業開発論』	3,800	2016	000480	博物館情報・メディア論『博物館経営・情報論 新訂』	3,300
0957	000221	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	1,300				
0958	000388	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	1,800				
0959	000290	社会科・公民科教育法Ⅰ	1,200				
0960	000278	社会科・公民科教育法Ⅱ	1,100				
0961	000225	英語科教育法Ⅲ『英語科教育法セミナー』	2,650				
0962	000227	英語科教育法Ⅳ『Second Language Acquisition』	2,850				
0964	000471	地理学概論『地理学概論(地理学基礎シリーズ1)』	4,050				
0967/0968/ 0969	000232	地誌学／地理学概論／地理学概論(地誌を含む)	1,350				
0973/0974	000233	経済地理／経済地理学	2,050				
0975	000422	人文地理学概論	1,350				
0977	000236	自然地理学概論	2,300				
0980	000237	漢字書法手本	700				
0980	000238	漢字書法教本(学習指導書)	850				
0981	000239	かな書法手本	650				
0981	000240	かな書法教本(学習指導書)	900				

平成26年度 春期スクーリングの手引

東京スクーリング

第1期	4月27日(日)～4月29日(火)	通信教育部1号館ほか
第2期	4月30日(水)～5月 2日(金)	
第3期	5月 3日(土)～5月 5日(月)	
第4期	5月24日(土)・25日(日), 31日(土)・6月 1日(日)	
第5期	6月14日(土)・15日(日), 21日(土)・22日(日)	

地方スクーリング

第1期	6月 7日(土)～6月 9日(月)	仙台・大阪・福岡
第2期	7月19日(土)～7月21日(月)	札幌・名古屋

夜間スクーリング

5月19日(月)～7月11日(金) 通信教育部1号館ほか

スクーリング受講手続日程

		東京第1～3期	東京第4期	夜間(春期)	地方第1期	東京第5期	地方第2期
①	受講申込締切日	3月13日(木)		4月17日(木)		5月7日(水)	6月13日(金)
				<u>在学生専用サポート(Web報) 24:00まで</u>			
				<u>窓口提出の場合(事務取扱時間内厳守)</u>			
				<u>郵送の場合(締切日の消印有効)</u>			
	受講許可通知書 発送予定日	4月9日(水)	5月7日(水)	4月28日(月)	5月19日(月)	5月28日(水)	6月30日(月)
		<u>※発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。</u>					
②	受講辞退 手続締切日	4月16日(水)	5月14日(水)	5月8日(木)	5月26日(月)	6月4日(水)	7月7日(月)
		<u>窓口提出の場合(事務取扱時間内厳守)</u>					
		<u>郵送の場合(締切日必着)</u>					
③	受講料納入期限	4月23日(水)	5月21日(水)	5月15日(木)	6月2日(月)	6月11日(水)	7月14日(月)
		<u>銀行窓口にて(厳守)</u>					
	結果通知発送予定	6月上旬	7月中旬	8月中旬	7月中旬	7月中旬	8月中旬
		<u>在学生専用サポート(Web報)にも掲載します。</u>					

	スクーリング併用試験方式を利用する場合は上記①の前に、以下のA、Bも手続きしてください。				
A	履修登録締切日	3月3日(月)	4月3日(木)	4月23日(水)	6月3日(火)
			<u>窓口提出の場合(事務取扱時間内厳守)</u>		
			<u>郵送の場合(締切日必着)</u>		
B	リポート提出 締切日	3月13日(木)	4月17日(木)	5月7日(水)	6月13(金)
			<u>窓口提出の場合(事務取扱時間内厳守)</u>		
			<u>郵送の場合(締切日必着)</u>		

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学習では十分に学習効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、春期に実施される東京、地方及び夜間スクーリングの実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学習要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演習講座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- 「受講許可講座」及び「講師」の決定は、受講許可通知書にて通知します。したがって、受講許可講座以外の講座を受講することは、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目次

I	講座の選定	
1	受講講座の選定	2
2	「教職に関する科目」における新・旧科目について	4
3	「開講講座表」の見方	5
II	東京スクーリング	
1	開講日程	6
2	実施会場	6
3	「体育実技」について	6
◆	開講講座表及び講座内容（シラバス）	
·	第1期	8
·	第2期	18
·	第3期	28
·	第4期	41
·	第5期	50
III	地方スクーリング	
1	開催地及び開講日程	60
2	実施会場	60
◆	開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）	
·	第1期 仙台	61
·	第1期 大阪	64
·	第1期 福岡	67
·	第2期 札幌	70
·	第2期 名古屋	73
IV	夜間スクーリング	
1	開講日程	76
2	実施会場	76
3	開講講座一覧	76
◆	開講講座表及び講座内容（シラバス）	
·	月曜日	78
·	火曜日	83
·	水曜日	88
·	木曜日	93
·	金曜日	97
V	講座の申込方法	
1	受講手続きの流れ	102
2	講座を申し込む	103
3	受講講座の変更・追加	107
VI	申込講座の許可と不許可	
1	受講許可通知書を確認する	108
2	講座振り分け及び受講不許可について	109
3	許可講座を辞退する	109
VII	受講料の納入	
1	受講料	112
2	納入期限	112
3	納入方法	112

VIII	受講準備	
1	使用教材の購入	114
2	「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行	116
3	通学定期券の購入	116
4	「学割証」の発行 (長距離区間乗車時の学生割引制度)	117
IX	受講及び試験	
1	講座の受講	120
2	試験の受験	120
3	スクーリング結果の確認	121
X	受講期間中の学生生活	
1	受講にあたっての諸注意	122
2	スクーリング期間中の滞在先届	123
3	「千代田区生活環境条例」について	123
4	緊急時の避難行動の指針について	123
XI	各種用紙	
「	為替」送付時の注意事項	126
教材	購入用紙（丸沼書店用）	127
教材	購入願（通信教育教材購入用）	129
追加	科目履修届	131
通学	定期乗車券発行控	133
学割証	交付願	135
滞在	先届	137
休暇	依頼状（勧奨状）申込書	139
<受講申込辞退願>		
東京スクーリング（春期）第1～3期		
受講	申込辞退願	141
東京スクーリング（春期）第4期		
受講	申込辞退願	143
東京スクーリング（春期）第5期		
受講	申込辞退願	145
地方スクーリング（春期）第1期		
受講	申込辞退願	147
地方スクーリング（春期）第2期		
受講	申込辞退願	149
夜間スクーリング（春期）		
受講	申込辞退願	151
付録		
1	東京スクーリング（春期）宿泊施設の利用案内	153
2	交通案内・校舎案内	156
<受講届>東京スクーリング（春期）第1～3期		
<受講届>東京スクーリング（春期）第4期		
<受講届>東京スクーリング（春期）第5期		
<受講届>地方スクーリング（春期）第1期		
<受講届>地方スクーリング（春期）第2期		
<受講届>夜間スクーリング（春期）		

I 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。各自、入学時に配布された『学習要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学習計画を立てた上で受講申込をしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできないので注意してください。

(3) カリキュラムによる受講制限

カリキュラムの適用により、受講できない講座があります。自分のカリキュラムを次ページで確認し、後掲の「開講講座表」の「制限・注意」欄を参照してください。

【平成 26 年度のカリキュラム適用状況】

各自の学生（科目履修生）番号は8桁で構成されていますが、そのうち3～5桁目を下表に照らし合わせて各自のカリキュラムを確認してください。

種別	入学年度	学生（科目履修生）番号の 3～5桁目の表示		適用カリキュラム
		4月生	10月生	
正科生	平成 14 年度	** 025 ***	** 025 ***	C カリキュラム
	平成 15 年度	** 031 ***	** 035 ***	D カリキュラム
	平成 16 年度	** 036 ***	** 036 ***	C カリキュラム
		** 041 ***	** 045 ***	D カリキュラム
		** 042 ***	** 046 ***	C カリキュラム
	平成 17 年度	** 047 ***	** 047 ***	
		** 051 ***	** 055 ***	
		** 052 ***	** 056 ***	D カリキュラム
		** 053 ***	** 057 ***	C カリキュラム
	平成 18 年度	** 058 ***	** 058 ***	
		** 061 ***	** 065 ***	
		** 062 ***	** 066 ***	
		** 063 ***	** 067 ***	
	平成 19 年度	** 064 ***	** 068 ***	
		** 071 ***	** 075 ***	
		** 072 ***	** 076 ***	
		** 073 ***	** 077 ***	
	平成 20 年度	** 074 ***	** 078 ***	
		** 081 ***	** 085 ***	
		** 082 ***	** 086 ***	
		** 083 ***	** 087 ***	
	平成 21 年度	** 084 ***	** 088 ***	
		** 091 ***	** 095 ***	
		** 092 ***	** 096 ***	
		** 093 ***	** 097 ***	
	平成 22 年度	** 094 ***	** 098 ***	
		** 101 ***	** 105 ***	
		** 102 ***	** 106 ***	
		** 103 ***	** 107 ***	
	平成 23 年度	** 104 ***	** 108 ***	
		** 111 ***	** 115 ***	
		** 112 ***	** 116 ***	
		** 113 ***	** 117 ***	
	平成 24 年度	** 114 ***	** 118 ***	
		** 121 ***	** 125 ***	
		** 122 ***	** 126 ***	
		** 123 ***	** 127 ***	
	平成 25 年度	** 124 ***	** 128 ***	
		** 131 ***	** 135 ***	
		** 132 ***	** 136 ***	
		** 133 ***	** 137 ***	
	平成 26 年度	** 134 ***	** 138 ***	
		** 141 ***	** 145 ***	
		** 142 ***	** 146 ***	
		** 143 ***	** 147 ***	
	科目履修生	** 144 ***	** 148 ***	
		平成 25 年度	** 130 ***	D カリキュラム
		平成 26 年度	** 140 ***	

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。

b 担当講師が同一である。

c 講義内容が全く同一である。

※ 講義内容を参照し、授業のねらい等が全く同一の場合は申込みできません。

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ず「受講許可通知書」にて、講座名・担当講師を確認し、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
0904	教育の思想	0901	教育原論
0941	道徳教育の研究	0940	道徳教育の理論と方法
0942	特別活動の研究	0943	特別活動論
0947	教育カウンセリング論	0937	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生		入学年度	入学形態
		平成23年度	1学年入学生
		平成24年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生
		平成25年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生
		平成26年度	入学生

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（2桁）には、この講座コードを記入してください。						
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。						
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。						
4	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は限定的ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（4桁）には、この科目コードを記入してください。						
5	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「 <u>印</u> 」が記載されています。						
6	制限・注意	<table border="1"> <tr> <td>配 当 学 年</td> <td>ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。</td> </tr> <tr> <td>受 講 条 件</td> <td>その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。</td> </tr> </table>	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。	カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。	受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。							
カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。							
受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。							

Ⅱ 東京スクーリング

1 開講日程

開講期	日程	授業時間
第1期	27日(日)	9:30~18:30
	4月 28日(月)	9:00~18:30
	29日(火)	9:00~16:00 <試験も含む>
第2期	4月 30日(水)	9:30~18:30
	5月 1日(木)	9:00~18:30
	2日(金)	9:00~16:00 <試験も含む>
第3期	3日(土)	9:30~18:30
	5月 4日(日)	9:00~18:30
	5日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
第4期	24日(土)	13:00~18:30
	5月 25日(日)	9:00~16:30
	31日(土)	13:00~18:30
	6月 1日(日)	9:00~16:00 <試験も含む>
第5期	14日(土)	13:00~18:30
	6月 15日(日)	9:00~16:30
	21日(土)	13:00~18:30
	22日(日)	9:00~16:00 <試験も含む>

- ※ 各期ごとに全日程の出席が必要です。
- ※ 授業時間内に休憩時間を設けます。
- ※ 各期から1講座のみ申込みできます。
- ※ 第5期「体育実技」は授業時間及び実施会場が異なるため、注意してください。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、「体育実技」は文理学部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3
交 通 案 内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

3 「体育実技」について

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で実施します。以下の事項をよく確認してください。

a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
6月14日(土)	18:00~21:30
6月15日(日)	9:00~17:00
6月21日(土)	18:00~21:30
6月22日(日)	9:00~17:00

※ 東京第5期の他講座と授業時間及び会場が異なります。

b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館（後掲「文理学部案内図」参照）

c 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・スクーリング受講許可通知書兼領収書

d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

f 注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。
- ・15日及び22日の昼食は、周辺に飲食店が少ないため各自が持参することを強く勧めます。

〈文理学部案内図〉

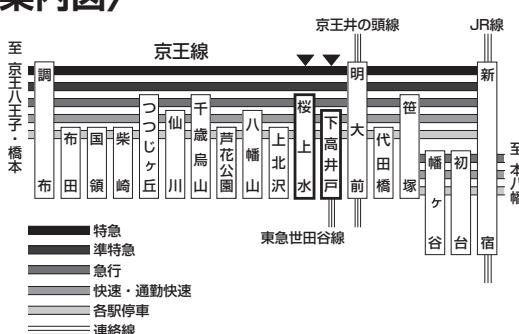
(住 所)

東京都世田谷区桜上水3-25-40

(交通案内)

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車

徒歩約10分



◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京	日 程	授業時間	備 考
第1期	4月27日	日 9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
	4月28日	月 9:00~18:30	
	4月29日	火 9:00~16:00 <試験も含む>	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
A1	総合科目	根岸 良征	0001	総合科目Ⅰ	×	1年		· I~VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 · スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
			0002	総合科目Ⅱ				
			0003	総合科目Ⅲ				
			0004	総合科目Ⅳ				
			0005	総合科目Ⅴ				
			0006	総合科目Ⅵ				
A2	民 法 II	山川 一陽	0132	民 法 II		2年		
A3	民事訴訟法 A	松本 幸一	0160	民事訴訟法		2年		
A4	日本政治史	黒川 貢三郎	0213	日本政治史		2年		
A5	国文学演習	近藤 健史	0386	国文学演習Ⅰ	×	3年		· 国文学専攻のみ申込可。 · I~VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0387	国文学演習Ⅱ				
			0388	国文学演習Ⅲ				
			0389	国文学演習Ⅳ				
			0390	国文学演習Ⅴ				
			0391	国文学演習Ⅵ				
A6	英 語 史	真野 一雄	0441	英 語 史		2年		
A7	英作文 I A	ダレル ハーディ	0447	英作文 I	×	2年		· スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
A8	英米事情 II	小山 誠子	0477	英米事情 II	×	2年		· 英文学専攻のみ申込可。 · スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
A9	英語学演習 A	秋葉 倫史	0481	英語学演習Ⅰ	×	3年		· 英文学専攻のみ申込可。 · I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0482	英語学演習Ⅱ				
			0483	英語学演習Ⅲ				
AA	哲 学 概 論	斎藤 隆	0531	哲 学 概 論		2年		

注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
AB	哲学演習	宮原 琢磨	0581	哲学演習Ⅰ	×	3年		・哲学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ・Ⅱのいずれに該当されるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0582	哲学演習Ⅱ				
AC	史学概論	高綱 博文	0611	史学概論		2年		
AD	考古学特講Ⅰ	野中 和夫	0651	考古学特講Ⅰ		2年		
AE	労働経済論	今井 拓	0763	労働経済論		2年		
AF	経営学	金崎 賢希	0841	経営学		条件参照		・商学部のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。
AG	法学通論	遠藤 清臣	0983	法学通論		2年		・哲学専攻・史学専攻のみ申込可。
			0984	法律学概論 (国際法を含む)				・経済・商学部のみ申込可。

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆初歩から始めるパソコン～メディア授業を受けるために～ 〔総合科目〕

開講単位：2単位 担当者：根岸 良征

◆学修到達目標 情報技術や情報セキュリティについて基礎的な知識を習得し、パソコンを有意義に利用できるようになることを目標とする。講義を受講後、メディア授業を受講するためにはどのような機器を用意すれば良いのかを自分自身で判断したり、パソコンで安全に情報を扱えるようになってほしい。

◆授業方法 授業は講義中心に行いますが、適宜パソコンを操作してケーススタディをします。また、毎回授業中に課題を出題します。教科書は講義で利用しますので、必ず持参してください。※ 授業は、Windows Vista, Office2007 の環境で実施します。

◆準備学修 日本語入力、マウス操作といった基本的なパソコン操作はできることを前提に講義を進めますから、不安な学生は事前に練習をしてから受講してください。また、最近発生したコンピュータセキュリティ関連の事件（個人情報の流出など）を2～3調べておいてください。新聞などを注意して見ているとよいでしょう。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	・コンピュータの進化～最初のコンピュータから現代のパソコンまで～ ・パソコンで扱うデータの種類、情報技術について～情報の表現とデータ形式～ ・コンピュータハードウェアの種類と役割 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの種類と役割～Windowsが必要な理由～ ・パソコン基本操作～ファイル管理とバックアップ～
2日目	・コンピュータネットワークとインターネットのしくみ～インターネットでの情報検索～ ・インターネットのサービス～メディア授業～、メディア授業の受講方法 ・情報セキュリティ基礎知識 その① 「様々な脅威」～マルウェア、不正アクセス～ ・情報セキュリティ基礎知識 その② 「セキュリティ対策」～ファイアウォール、暗号と認証～
3日目	・情報セキュリティ基礎知識 その③ 「情報セキュリティマネジメント」～企業での対策～ ・スクーリング最終課題演習

◆教科書 丸沼『情報セキュリティ読本「IT時代の危機管理入門」』4訂版 実教出版 情報処理推進機構（IPA）著（ISBN978-4-407-33076-2）540円（税込）（送料260円）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 授業への参加度（毎回の課題の評価、受講状況）による評価が50%、最終課題の内容による評価が50%。なお、最終課題を提出しないと評価をつけません。

◆授業相談（連絡先）：

◆資本主義社会の枠組みとなる財産帰属制度 〔民法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：山川 一陽

◆学修到達目標 民法Ⅱの対象は通常物権法と担保物権法であるが、今回は通常物権法を学ぶ。いわゆる資本主義社会の枠組みとしての財産帰属法である。不動産取引に関する基本的な知識や動産取引における取引保護の諸問題などについて論じると同時に民法が認める各種の物権制度について概観する。理解しやすいような講義を心がけ、スクーリングの効果を上げたいと考えている。

◆授業方法 いわゆる物権変動論を中心として講義を行う。基本的には講義形式で授業を進めることとしたい。授業計画に従って進行するので授業前には教科書を読んでおくことが要求される。※ 過去に山川の民法Ⅱ（通常物権法）を修得した学生は内容が重複するため受講できない。スクーリング単位の積み重ね方式希望の場合は平成26年度東京（秋期）に行われる民法Ⅱ（担保物権法）を受講すること。

◆準備学修 1回でもいいですから、教科書について一通り目を通しておいて下さい。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1 物権法の特色 3 物権的請求権 5 4の問題に関する諸外国の制度とわが国の制度について	2 物権制度をめぐる諸原則 4 物権変動を目的とした行為がされた場合に物権変動はいつ生じるのか
2日目	1 不動産物権変動はいつ生じるのか 3 不動産物権変動と登記をめぐる諸問題 5 登記請求権	2 不動産物権変動と登記 4 登記の有効・無効
3日目	1 動産取引における信頼と取引保護 3 各種物権としての占有権 5 各種物権としての所有権	2 いわゆる即時取得をめぐる諸問題 4 占有権の機能など

◆教科書 丸沼『物権法講義 第3版』 山川一陽 日本評論社 3,132円（税込）（送料390円）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 試験と平常点による。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆民事訴訟法の基礎を学ぶ

〔民事訴訟法 A〕

開講単位：2単位 担当者：松本 幸一

◆**学修到達目標** 多様化した社会の私法上の紛争を解決する制度が民事裁判制度です。本講座は、裁判審理の法則・原理の確かな理解と本質を正しく捉え、考えながら、民事裁判の体系に関する基本原理を、条文を引用して理解すること、また民事裁判審理とその手続の展開を理解し、民事訴訟の流れを掴むことを目的とします。なお、新設された国際裁判管轄には触れません。

◆**授業方法** レジュメを配り、民事裁判手続の大まかな過程を事例を中心に分かりやすく解説し、また民事訴訟の判決に至る流れを理解できるよう、民事訴訟法の基本的原理を理解してもらえるよう講義します。さらに、実体法である民法・商法と、手続法である民事訴訟法との関連を理解できるよう講義します。

◆**準備学修** 下記の授業計画に記載されている民事訴訟の重要項目を予習してきてください。それだけでも、講義の理解が容易になります。「ポケット六法 平成 26 年度版 (有斐閣)」を必ず持参してください。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	「訴えと訴状上の請求」、私的自治の原則の反映—弁論主義、紛争事実、当事者、裁判所の管轄、訴えの3類型—給付の訴え、確認の訴え、形成の訴え、訴訟要件の種類、訴え提起の効果—実体法上の効果と二重起訴の禁止を学びます。
2日目	争点及び証拠の整理、裁判審理の諸原則、主要事実・間接事実の主張・立証活動、弁論主義—裁判審理での自白、証明と証拠調べ手続、文書提出命令とイン・カメラ手続に複雑さ、証明責任の分配の原則、訴訟上の和解、訴えの取り下げ、請求の放棄、請求の認諾
3日目	判決主義、確定終局判決の効力—既判力、客観的範囲、主観的範囲、形成権の行使、上訴、多数当事者の裁判—通常共同訴訟、必要的共同訴訟、独立当事者参加、同時審判申出訴訟、訴訟当事者の変更、消費者訴訟を学び、以上をまとめます。 試験

◆**教科書** 通材『民事訴訟法 0160』通信教育教材（教材コード 000494）平成 26 年度新教材
※価格未定（価格は『部報』4月号に掲載）

◆**参考書** 丸沼『ポケット六法平成 26 年度版』有斐閣 1,944 円（税込）（送料 390 円）
丸沼『民事訴訟法 第四版』梅本吉彦 信山社 7,020 円（税込）（送料 500 円）
値段は高いが、民事訴訟法学の全部が記述されている専門書である。

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、試験（50%）

◆**授業相談（連絡先）**：

◆近代日本の誕生を通して民族独立を考える

〔日本政治史〕

開講単位：2単位 担当者：黒川 貢三郎

◆**学修到達目標** 近代日本はどのようにして生成発展してきたのか。そして、それは近代日本にどのような影響を及ぼしているのかについて理解し、かつ、将来を見る目を養っていきたい。

◆**授業方法** 講義形式。質問等は講義の休憩時間に受け付ける。受講に際しては必ずノートを持参すること。

◆**準備学修** 授業計画の内容について、前もって教材を読んでおくこと。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	徳川幕藩体制はどのようにして瓦解し、明治新政府はどのようにして建設されていったのかについて講述する（幕末～明治初期）。
2日目	明治政府の進める近代化政策と藩閥政府に対する民権運動について講述する（明治中期）。
3日目	藩閥勢力と議会との抗争、日清・日露戦争の両戦争は国内的・国際的にどのような影響を及ぼしていたのかについて講述する（明治後期）。

◆**教科書** 通材『日本政治史 0213』通信教育教材（教材コード 000452）3,050 円（送料込）

◆**参考書** 講義の都度、紹介する。

◆**成績評価基準** 講義最終日に筆記試験を実施して評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：講義の休憩時間に随時、応対する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆グローバルな宮沢賢治を学ぼう

〔国文学演習〕

開講単位：1単位 担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 賢治の作品には、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、アジアなどさまざまな国名や地方が登場する。それを調査し、外国に対する意識を理解することを目標とする。

◆授業方法 賢治の作品における外国名や地名を調査し、その在り方などについて研究して結果を口頭発表する。発表は25分、質疑応答は10分で討論形式で進める。発表時にはレジュメを人数分用意して欲しい。人数により時間等の変更もある。

◆準備学修 賢治の作品において、外国名（地名）を1つに限定しておくこと。賢治の生涯は文庫本の「年譜」などで知つておいて欲しい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(1) 演習入門 (2) 賢治入門 (3) 賢治作品における外国名・地名 (4) 学生による口頭発表
2日目	学生による口頭発表
3日目	(1) 学生による口頭発表 (2) まとめ

◆教科書 特になし。自分の発表に利用するものをテキストとして持参のこと（文庫本可）。

◆参考書 丸沼『宮澤賢治 イーハトヴ学辞典』天沢退二郎他編、弘文堂 15,120円（税込）
『新・宮澤賢治語彙辞典』原子朗、東京書籍

◆成績評価基準 発表内容 80%、質疑応答 20%

◆授業相談（連絡先）：授業の前後に受ける

◆英語の発音はどのように成り立ったか？

〔英語史〕

開講単位：2単位 担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得する。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆授業方法 テキストⅡ章「音韻論」を、『学習指導書』を併用しながら、読みます。テキストは私たちにとって必要な箇所を重点的に読みます。（下記に記すところ以外はざっと目を通す程度で結構です。）なお、テキスト第Ⅰ章を予備知識として必要としますので、そこを読んでおくか、あるいは参考図書を読んでおいてください。

◆準備学修 毎回、テキスト（英文）を読み、『学習指導書』の問の解答を用意しておいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(午前) インド・ヨーロッパ祖語のところを「アブラウト（母音交替）」中心に読みます。（ただし、テキストp.34～p.38,9行は読まなくても構いません。） (午後) ゲルマン祖語のところを「グリムの法則」中心に読みます。（テキストp.42,8行～21行、31行～p.43,10行、27行～p.44,16行は読んでおくとよいでしょう。）
2日目	古英語のところを「ウムラウト（母音変異）」中心に読みます。（テキストp.44～p.45,10行は読んでおくとよいでしょう。） 中英語のところを概観します。
3日目	近代英語のところを「大母音推移」中心に読みます。（テキストp.54,31行～p.56,14行は読んでおくとよいでしょう。） 試験+質疑応答

◆教科書 通材『英語史 0441』通信教育部教材（教材コード000117）2,500円（送料込）
<この教材は市販の『ブルック英語史』G.L. Brook（南雲堂）と同一です>

◆参考書 （※自学用で、授業中に参考することはありません。）

丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤 盾著 中公新書 1971 842円（税込）（送料260円）
丸沼『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958 799円（税込）（送料260円）

◆成績評価基準 受講状況（10%）、試験（90%）で評価（試験は途中退出なしです）。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ English Composition 1

〔英作文 I A〕

開講単位：2単位 担当者：ダレル ハーディ

◆学修到達目標 In this course we will focus on the use and application of various sentence types and language structures to improve the clarity of expression through writing. We will also review paragraph structure and practice writing paragraphs of different types and different topics. Students will also have the opportunity to write a short narrative.

◆授業方法 This course will follow the process writing approach to improve writing fluency and to generate ideas for composition. For some activities, students will be required to work in pairs or small groups.

◆準備学修 No preparation or prerequisites are required, however, students should have a good understanding of basic sentence structure.

◆授業計画〔1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分〕

1日目	Orientation. A review of select sentence patterns and key words to link, compare, and contrast ideas. How to express thoughts in imaginative figurative language using similes, metaphors, and other expressive devices. The analysis of excerpts from works of experienced writers. A look at some common mistakes and how to revise to clarify and refine ideas.
2日目	Quiz of day one material. Review of paragraph structure: topic sentences, supporting sentences, and concluding sentences. A look at prewriting activities for generating ideas for writing. Compose paragraph and peer feedback. Analyze different types of paragraphs and compose.
3日目	Complete final draft of paragraphs and submit for grading. Focus on narrative writing and the use of illustrations to generate ideas for narratives. Group activity to brainstorm ideas for narrative. Compose narrative, peer feedback and revision. Complete and submit final draft of narrative.

◆教科書 No textbook is required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆参考書 A dictionary may be useful but not necessary.

◆成績評価基準 Students will be required to write a quiz and submit several paragraphs and a short narrative for grading. Class participation will also be considered part of the grade.

◆授業相談（連絡先）：

◆「イギリス」「英国」について知ろう！

〔英米事情 II〕

開講単位：2単位 担当者：小山 誠子

◆学修到達目標 英文学を専攻する上で常識的かつ基本的確認事項として、受講者主体にて「イギリス」の風土・文化・習慣について概観することにより、「イギリス」「英国」への理解・関心を深めます。

◆授業方法 1日目（下記範囲）は講義を中心に展開します。2日目以降に展開する範囲（下記授業計画参照）については受講者による調査報告（準備学修）を中心に展開していきます。

◆準備学修 平易な英語で書かれていますので、初日までにテキスト全体に目を通し、大体の流れを掴んでください。テキストの情報は極めて常識的／表面的事柄ですので補足・更新が必要です。そこで、2日目以降の範囲（下記Index参照）の中から一か所選び（どちらでも可）、①テキストの関連個所の音読／要約の後②関連事項の調査報告をやってもらいます。調査は複数の文献（Wikipediaを除く）にあたり、（①文献／書名②著者（責任の所在）③出版社及び④出版年等の情報は初日に提出を求めるので控えておくこと）、それらの文献をもとに具体的な起源・発祥から現在に至るまでの歴史的変遷を概観しイギリス（人）の特徴という結びになるよう10-15分程度の発表メモ（一見して概略がわかるもの）に開講時迄にまとめておいてください。※受講者数により発表の時間等変更が生じる可能性がありますが、開講時提出のメモ回収後に別途指示します。また、この発表は成績評価に含まれます。

◆授業計画〔1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分〕

1日目	「イギリス」「英国」という「国」の成り立ち・構成、民族や言語・文化に関する歴史的背景の確認 ガイドンス Identity / Institutions / Education (※固有名詞やキー・ワードをピックアップし、説明・定義（テキストの範囲内にて可）できるよう情報整理を心がけてください。)
2日目	テキスト関連事項の考察による「イギリス（人）」の特徴（受講者による調査報告）(1) Every day (At home/In the family) / Working Life (Finding a job/The economy) Food / The Arts (Film and theatre/Music/The classics) The Media (In the news/On TV and radio) (※'Food' 'Music'は特に人気が集中しますので、調査報告の対象とする場合は広範もしくは特色ある調査を求めます。)
3日目	テキスト関連事項の考察による「イギリス（人）」の特徴（受講者による調査報告）(2) Leisure (At the shops/Sport) / Getting Around / Regions (※どのトピックに関しても、具体的な起源・発祥から現在に至るまでの歴史的変遷を概観し、「イギリス（人）らしさ」「イギリス（的）価値観・特徴」につながるよう留意し、まとめたものを報告してください。) 全体のまとめ／試験

◆教科書 丸沼『In Britain 21st Century Edition』Macmillan Language House 2,376円（税込）(送料 390円)
◆参考書 英和辞書（大学・社会人レベルのもの）を毎回持参のこと。

※携帯電話、PC、タブレット等の授業中の辞書替わりの使用は一切認めません。

※調査報告に使用した文献は持参する必要はありませんが、上記事項の記録の提出を初日に求めます。

◆成績評価基準 ※3日間全出席を前提としますので予め欠席／遅刻／早退等見込まれる人は受講を遠慮してください。
授業への主体的な取り組み（調査報告等）・試験により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の歴史を辿る

〔英語学演習 A〕

開講単位：1単位 担当者：秋葉 倫史

◆学修到達目標 本演習では、英語の歴史について書かれた（現代英語の）テキストを読みながら、古い英語の特徴を知ることを目標とする。また、当時の実際の文献にも触れ、現代英語と比較することで、どのように英語が変化してきたかについて理解を深める。

◆授業方法 テキストを輪読形式で進める。受講生を指名し、音読、和訳を発表してもらい、その後解説を加える形をとる。並行して、実際の古い英語の文献も同様の方法で読み進める。また、適宜プリントを用いて、当時の英語と現代英語を比較し、英文法の変遷について考察を行う。なお、受講者の数や理解度によって、進度を調整する予定である。

◆準備学修 輪読形式で進めるため、事前にテキストを読み、和訳を用意しておく必要がある。古い英語で書かれた文献については、現代英語訳等を参考に内容を確認しておくことが望ましい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. ガイダンス 2. SOME FEATURES OF OLD ENGLISH GRAMMAR を読む 3. 古英語の文献 (<i>West Saxon Gospels</i>) に触れる
2日目	1. MIDDLE ENGLISH GRAMMAR を読む 2. 中英語の文献 (<i>The Canterbury Tales</i>) を読む 3. THE INFLUENCE OF SHAKESPEARE & THE KING JAMES BIBLE を読む
3日目	1. 初期近代英語の文献 (<i>King James Bible</i>) を読む 2. 試験

◆教科書 事前資料送付 事前にプリントを配布します。

◆参考書 丸沼『英語史入門』 橋本功著 慶應義塾大学出版会 2,592円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 試験(60%)、平常点(40%)を総合的に評価する。ただし、全出席を前提とする。

◆授業相談（連絡先）：

◆古代・中世哲学を学ぼう

〔哲学概論〕

開講単位：2単位 担当者：齋藤 隆

◆学修到達目標 教職科目として受講する学生にも「哲学」の何たるかを理解してもらえるよう心がける。今回は古代哲学と中世哲学の概要の理解を目指す。

◆授業方法 教科書と印刷物を併用しながら、講義形式で授業を行う。

◆準備学修 教科書の古代哲学と中世哲学の部分を少なくとも2・3回読んでおくこと。理解できてもできなくとも、とにかく読んでおくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	革命史観、ミュートスからロゴスへ、日本神話と北欧神話 最初の哲学者たち、ソクラテスとソフィストたち
2日目	プラトン、アリストテレス キリスト教、教父哲学
3日目	スコラ哲学

◆教科書 通材『哲学 0011』通信教育教材（教材コード 000404）3,250円（送料込）
〈この教科書は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆編著（北樹出版）と同一です〉

◆参考書 当日資料配付 当日資料を配布します。

◆成績評価基準 試験の成績と平常点により総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近代ヒューマニズム（人間主義）の研究

〔哲学演習〕

開講単位：1単位 担当者：宮原 琢磨

◆学修到達目標 中世の伝統的哲学を解体して新たな近代のパラダイムをつくったのはいうまでもなくデカルトであるが、彼をめぐってさまざまな哲学論争が起きた。本授業はそのなかの主要論争をいくつか取り上げ、その問題点を明らかにしながら「人間とは何か」という根源的問題にアプローチすることを目的とする。

◆授業方法 各テクストの講読と要旨の発表によって、思想的特質と問題を明らかにし、討論を重ねて理解を深めていく。

◆準備学修 テクストを予め読んで授業に臨む。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	I. デカルト『方法序説』と『省察』の主要箇所の講読と質疑応答を通じて問題提起し、その点について討論を重ねる。 II. ホップズの反論とデカルトの答弁をテクスト講読を通じて理解する。 III. アルノーの反論をテクストを講読しながら理解する。
2日目	I. 前回の授業内容の再検討と反省。デカルトとアルノーのイキについての討議。 II. マルブランシュの『真理の研究』の主要箇所をテクスト講読を通じて検討する。 III. マルブランシュとデカルトの対立点を明らかにし、討論を重ねる。
3日目	I. 前回の授業内容の再検討と反省。マルブランシュの哲学的特質についての討議。 II. アルノーのマルブランシュ批判をアルノー『眞なる観念と偽なる観念』の主要箇所をテクストを通じて読解し、両者の思想的対立点を明らかにする。 III. 全授業の総括と反省

◆教科書 通材『哲学基礎講読 0091』通信教育教材（教材コード 000042）3,650円（送料込）

通材『哲学特殊講義 0571』通信教育教材（教材コード 000345）2,650円（送料込）

〈哲学演習の講座ですが、上記の科目の通信教育教材を使用するため、購入の際は注意してください〉

〔丸沼〕『方法序説』デカルト 岩波文庫 518円（税込）（送料 260円）

〔丸沼〕『省察』デカルト ちくま学芸文庫 1,080円（税込）（送料 260円）

◆参考書 各々授業中に指示。

◆成績評価基準 提出レポートと平常点の総合評価

◆授業相談（連絡先）：

◆歴史学の論文を書くために

〔史学概論〕

開講単位：2単位 担当者：高綱 博文

◆学修到達目標 歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし、また歴史学を学んでいく上での基礎的・技術的な知識を学習する。また、歴史学の卒論を書くための実践的な指導も行う。

◆授業方法 〈新しい史学概論〉のテキストといえる福井憲彦『歴史学入門』を参照しながら講義を行います。また、最終日に受講生全員に卒論テーマの概要と研究計画について発表してもらいます。

◆準備学修 教科書『歴史学入門』を予め学習しておいて下さい。また、受講生は各自の卒論テーマ（仮題でも可）を決めて、そのテーマの概要と研究計画について発表できるようにレジュメを作成するなどの準備をお願いします。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	テーマ1：歴史学とは何か テーマ2：歴史学の成立と展開
2日目	テーマ3：歴史学の研究方法 テーマ4：歴史学の研究テーマ
3日目	テーマ5：卒業論文の書き方 テーマ6：受講生による卒論テーマの概要と研究計画の発表

◆教科書 〔丸沼〕『歴史学入門』福井憲彦 岩波書店 2006年 1,836円（税込）（送料 340円）

◆参考書 〔当日資料配付〕授業中に参考資料を配布します。

◆成績評価基準 卒論テーマ及び研究計画の報告（30%）、筆記試験（70%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地震について史資料から考える

〔考古学特講Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：野中 和夫

◆学修到達目標 気象庁の発表によると、近い将来東海・東南海・南海が連動する南海トラフ上や首都圏直下で発生する大地震の確率は高いという。過去に発生したM6.0以上の大地震を概観するとともに、江戸城・宮城を定点として南関東で発生した大地震の被害と復旧について史資料から学ぶ。あわせて被害を大きくした要因について考える。

◆授業方法 講義形式による授業。

◆準備学修 教科書を熟読しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	日本列島周辺で地震の多発する要因を理解した上で、古代から大正年間までの間に発生した大地震の概要を学ぶ。貞觀地震や慶長地震など大地震と津波との関係を、考古資料を用いて紹介する。その上で、江戸・東京での地震記録から、地震発生のピークと大地震発生の関連を考える。また、絵画資料等から民衆の地震に関する関心を紹介する。
2日目	相模トラフ上で発生した二つの巨大地震、元禄大地震と関東大震災。地震発生に伴う地形の変化と津波の発生。墓碑・供養碑・古文書・絵画・古記録等々の資料を紹介しながら、被害と復旧を学び検証する。時間があれば江戸城を訪れ、被害の一端を説明する。
3日目	内陸直下型地震である安政江戸地震。多発する地震による不安と政治に対する民衆の不満。地震被害と復旧・復興について多角的に考察する。

◆教科書 丸沼「江戸・東京の大地震」野中和夫 同成社 4,104円（税込）（送料390円）

◆参考書 丸沼「地震の日本史」寒川旭 中公新書 885円（税込）（送料260円）

丸沼「江戸の自然災害」野中和夫編 同成社 3,024円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 平常点（20%）、試験（80%）

◆授業相談（連絡先）：

◆賃金形成の3つの側面と労働者階級の分裂と統一

〔労働経済論〕

開講単位：2単位 担当者：今井 拓

◆学修到達目標 資本制社会における労働者の賃金は、①歴史的・社会的に形成された労働者家族の生活水準を基礎に、②資本家階級の利潤追求とそれに対する労働組合の運動（労働市場での力関係）および、③国家の労働政策・社会政策により、規定されます。そして、賃金形成は、①所得としての賃金、②価格としての賃金、③社会的実践としての賃金、として分析されてきました。本講は、これら賃金形成にかかわる論点を検討し、今日の労働者階級の利害対立の根拠及び統一へ向けた社会的条件について考え、福祉国家確立の意義を明らかにします。

◆授業方法 1日の冒頭30分で前日の質問・意見・小レポート等への応答を行い、各テーマについて1時間20分の講義を行います。各講義の最後10分間で講義を受けて大事だと思った要点や質問・意見、1日の最後50分で課題について小レポートを作成してもらいます。

◆準備学修 石畠良太郎・牧野富夫編著（2009）『よくわかる社会政策』ミネルヴァ書房の序「社会政策と日本社会の現状」、及び第Ⅱ部「賃金と社会政策」を通読し、疑問点をピックアップしておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第1講 労働とは：主な学派の労働観 第2講 商品とは何か、労働力の商品化と労働者の生活問題 第3講 資本とは何か、企業の利潤追求と労働問題 第4講 資本制社会の矛盾、生産力の発展と失業問題 小レポート（課題についての論述）
2日目	応答 第5講 熟練形成の3つの側面 第6講 所得としての賃金 第7講 価格としての賃金 第8講 社会的実践としての賃金 小レポート（課題についての論述）
3日目	応答 第9講 フェミニスト派賃金論へのマルクス派の応答：労働者階級の分裂と統一 第10講 年功賃金論 第11講 「労働力の脱商品化」と福祉国家 論述試験

◆教科書 【当日資料配付】レジュメ・資料を配布する。レジュメ・資料は毎日持参し参考できるようにすること。

◆参考書 本講の理論的内容は、littler, 1982, The Development of the Labour process in capitalist society, Heineman Education Books 及び Figart, Mutari, and Power, 2002, Living Wages, Equal Wages; Gender and Labor Market Policies in the United States, Routledgeに沿っていますが、その他の参考文献は講義中に示します。

◆成績評価基準 ①論述試験 ②小レポート ③受講状況・リアクションペーパーの内容の総合

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆初めての経営学

〔経営学〕

開講単位：2単位 担当者：金崎 賢希

◆学修到達目標 1990年代後半から2000年代にかけて、日本企業は多くの変化を経験してきました。受講生は、①実際の企業の事例を通して、経営に関する基本的な事項（経営の意味、株式会社など企業形態、企業の戦略と組織、事業戦略、個人のキャリア、非営利組織）を学び、②日本企業をめぐる現在の状況（およびその原因）を正しく理解し、③これから取り組むべき課題を明らかにし、それについて説得力ある議論を展開できることを目的とします。

◆授業方法 教科書（+新聞雑誌記事、DVDなど）を使用して講義をします。講義中は、簡単なレジュメを配りますので、講義の内容や自分の疑問・意見などを書き込んでください。また、各講の終わりに、教科書の各章末にある「考えてみよう」について、ディスカッションする時間とレポートを作成する時間を設けます。ディスカッションの内容を踏まえて、レポートを作成してください（時間の関係上、宿題となる場合もあります）。なお、以下の講義計画については、その順番が前後する場合もあります。

◆準備学修 下記に指定した教科書は必ず購入し、事前に熟読しておいてください。時間の許す限り、参考書にも目を通しておいてください。疑問があれば、書き留めておいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第1講 企業の目的（第1章） 第2講 経営学とは（第2章） 第3講 企業と社会（第3章） 第4講 企業と金融・労働・製品市場（第4・5章） 第5講 日本企業をめぐる25年と現在の経営課題
2日目	第6講 競争戦略のマネジメント（第6章） 第7講 ビジネスモデル（第7章） 第8講 多角化戦略のマネジメント（第8章） 第9講 国際化のマネジメント（第9章） 第10・11講 マクロ組織とミクロ組織のマネジメント（第10・11章）
3日目	第12講 ファミリービジネス（第13章） 第13講 非営利組織（第14章） 第14講 キャリアデザイン（第12章） 第15講 最終課題

◆教科書 丸沼『1からの経営学（第2版）』加護野忠男 吉村典久 積学舎 2,592円（税込）（送料340円）
＊使用するのは第2版です。間違えないでください。

◆参考書 教科書各章末の参考文献および次の読んで欲しい本を参照。

丸沼『キャリアで語る経営組織—個人の論理と組織の論理—』稻葉祐之他 有斐閣 2,268円（税込）（送料340円）

丸沼『小倉昌男 経営学』小倉昌男 日経BP 1,512円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 出席は評価対象としません。授業に対する貢献度（受講態度、質問、ディスカッション）、各講の終わりに作成するレポート、最終課題を均等に評価します。

◆授業相談（連絡先）：授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際社会の中の日本国憲法

〔法学通論〕

開講単位：2単位 担当者：遠藤 清臣

◆学修到達目標 国際的にも、国内的にも社会の構造や価値観が大きく変わりつつある。社会の価値観と法との関係を考察し、現代における日本国憲法の解釈を身につけることを目標とする。

◆授業方法 科目の性質上、講義形式をとらざるを得ないが、講義の進捗の度合いや参加人数をみて、可能な限り、受講者との意見交換を行いたい。

◆準備学修 特に必要としない。できる限り、講義を聴くことに集中してもらいたい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①法の本質と法の性質 ③日本国憲法の制定 ⑤社会意識の変化と法	②法の下の平等について ④日本の法の歴史
2日目	①日本法の種類 ③国際法と国際私法 ⑤基本的人権の体系 ⑦外国人と基本的人権	②成文法と不文法 ④権利の意義と制約 ⑥日本国民の意義
3日目	①社会権としての教育基本権 ③民主主義と政治体系 ⑤裁判制度	②法の理想と現実 ④二院制と議院内閣制 ⑥試験

◆教科書 指定しない。〔当日資料配付〕プリントを配布する（講義当日）。

◆参考書 通材『法学 0021』 通信教育教材（教材コード000394）1,700円（送料込）
丸沼『現代法学入門』三浦隆、石川信編著 北樹出版 1,944円（税込）（送料390円）
ポケット六法またはその他の軽易な六法
(上記はいずれも必要に応じて用意すればよく、講義初日に持参する必要はない。)

◆成績評価基準 筆記試験の成績に、講義中の質疑応答を含めて総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：以下のメールの他、授業前後であればいつでも質問を受け付ける。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 第2期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">日 程</th><th colspan="2" style="text-align: center;">授 業 時 間</th><th colspan="2" style="text-align: center;">備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4月 30日</td><td style="text-align: center;">水</td><td colspan="2" style="text-align: center;">9:30 ~ 18:30</td><td colspan="2" rowspan="3" style="vertical-align: middle; font-size: small;"> ※時間内に昼休みを設けます。 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">5月 1日</td><td style="text-align: center;">木</td><td colspan="4" style="text-align: center;">9:00 ~ 18:30</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">5月 2日</td><td style="text-align: center;">金</td><td colspan="4" style="text-align: center;">9:00 ~ 16:00 <試験も含む></td></tr> </tbody> </table>	日 程		授 業 時 間		備 考		4月 30日	水	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。		5月 1日	木	9:00 ~ 18:30				5月 2日	金	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			
日 程		授 業 時 間		備 考																					
4月 30日	水	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。																					
5月 1日	木	9:00 ~ 18:30																							
5月 2日	金	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>																							

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意			
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カ リ キ ュ ラ ム	受 講 条 件	
B1	哲 学 A	長谷川 武雄	0011	哲 学		1年			
B2	英 語 A	長島 万里世	0041	英 語 I		1年		・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III		2年			
			0044	英 語 IV					
B3	英 語 B	町田 純子	0041	英 語 I		1年		・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III		2年			
			0044	英 語 IV					
B4	英 語 学 概 説	山岡 洋	0085	英 語 学 概 説		2年			
B5	西 洋 古 典	大住 有里子	0087	西 洋 古 典	×	2年			
B6	日 本 史 入 門	鍋本 由徳	0095	日 本 史 入 門		条件 参 照		・ 史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	
B7	税 法	黒川 功	0173	税 法		2年			
B8	国 文 学 史 II	布村 浩一	0312	国 文 学 史 II		2年			
B9	英米文学特殊講義	岩城 久哲	0431	英米文学特殊講義		2年			
BA	英 語 学 演 習 B	山上 登美子	0481	英 語 学 演 習 I		3年		・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0482	英 語 学 演 習 II					
			0483	英 語 学 演 習 III					
BB	英米文学演習 C	山下 登子	0486	英米文学演習 I		3年		・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0487	英米文学演習 II					
			0488	英米文学演習 III					
BC	経 済 政 策 総 論	周藤 利一	0730	経 済 政 策 総 論		2年		・ 文理・経済・商学部のみ申込可。	
			0731	経 済 政 策				・ 法学部のみ申込可。	

注 意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。 その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。
--

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
BD	国際金融論	谷川 孝美	0833	国際金融論		2年		
BE	教育カウンセリング論／教育相談	植松 紀子	0937	教育相談	×	2年		・本誌4ページを参照。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
			0947	教育カウンセリング論	×	2年		・本誌4ページを参照。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
BF	かな書法	山本まり子	0981	かな書法	×	2年		・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
BG	生涯学習論	上原 義正	2001	生涯学習論	×	2年	D	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆哲学の対象さまざま

【哲学 A】

開講単位：2単位 担当者：長谷川 武雄

◆学修到達目標 「哲学」にはどのような対象があり、どのように接すればよいのか。他の学問とは少し異なった意識が見られる。そうした不明な点を意識しながら、対象をどのように処理し接していくべきかを、いくつかの問題を提示しながら取り組む。日常生活では「結局個人的なもの」あるいは「無駄」「分からぬ」という一言で敬遠される問題への接近である。その「気づき」を促すきっかけとしての「哲学的思考・態度」を認識してもらう。

◆授業方法 基本的に「講義」を中心とするが、「問う」という観点も加える。この点から講義の中では、様々な「問い合わせ」の組合せ（いわゆる「対話」）方法を通して、「聞く」に加え、「疑問（問い合わせ）」に対する「答え」を導き出す手順・流れを追ながら（どのように「考えるべきか」）進める。同時に受講者にはその流れを「記述（論述）」することにより、整理してもらう。

◆準備学修 講義の主題となっている事柄について、自分ならどのように答えるか、またそこにはどのような問題が含まれているか、を考えてみること。またそれらについてよく分からなかつたら、調べられる範囲で調べ（まず国語辞典から始め、百科事典、専門辞典、そして研究書など）、何らかの「答え」と、それが「正しい」と言える「理由や根拠」は何か、それらをも見出せる工夫を考えておくこと。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	1. これから講義について全体的説明 2. この授業における論述文の書き方 3. 「対話」としての哲学（哲学の普遍性と個別性） 4. 私（主体、有る私、無い私、私と他者）
2日目	5. 実在（「見方」について、「もの」と「こと」、「ものの見方」と「ことの見方」 6. ことば（「ことば」は思考の道具か、「ことば」と経験、「ことば」と「こと」の世界）
3日目	7. 芸術は何のために（「美」について、「芸術」家と芸術観、自然美と作為美）

◆教科書 丸沼『哲学のヒント』藤田正勝、岩波書店（岩波新書 新赤1413）820円（税込）（送料260円）

◆参考書 教科書の「引用、参考文献」を参照

◆成績評価基準 最終試験（50%）、授業時課題（主に論述、30%）、授業時質疑応答・その他（20%）
最終的には、以上の全体を見渡し「総合的に評価」する。

◆授業相談（連絡先）：開講期間中に講師室にて受け付ける。

◆ Chicken Soup for the Soul を読む2

【英語 A】

開講単位：1単位 担当者：長島 万里世

◆学修到達目標 この授業では、アメリカでベストセラーとして支持を集めているChicken Soup for the Soul (3 vols.) の中から英語の講読用に編集された教科書を扱います。心に残る素晴らしい短編をみなさんと味わいながら、文法、読解等の英語力向上を図ります。昨年度と同じ教科書を使用しますが、扱う章は異なります。

◆授業方法 学生には輪読形式でテキストの音読と日本語訳をしてもらいます。また時間に余裕があれば、教科書の内容に沿ってディスカッションや作文、映像資料を取り入れます。なお、下記の授業計画はあくまで予定であり受講者のレベルやクラスの人数により授業内容を変更する場合もあります。

◆準備学修 詳しい注が付いていますので、それを参考にテキストをよく読んでおいてください。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	ガイダンス 基礎的な文法の復習 10 A Simple Gesture
2日目	前日からの続き 9 The Smile 15 Nothing but Problems
3日目	前日からの続き 17 If I Had My Life To Live Over 試験

◆教科書 丸沼『Chicken Soup for the Soul チキンスープをどうぞ—心あたたまる17のアメリカ小話集』1,674円（税込）（送料230円）Jack Canfield/Mark Victor Hansen編 金星堂

◆参考書 英語辞書を必ず毎回持参してください。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）・テストにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：初回の授業時に伝える

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アカデミックリーディングスキル習得に向けて：やり直しの直読直解速読練習【英語 B】

開講単位：1単位 担当者：町田 純子

◆学修到達目標 第二言語としての英語の4スキル言語運用能力をアカデミックリーディングを中心に養成することを目指します。高校までの基礎文法や構文、語彙の知識を整理し、文章構造や段落構成、直読直解、大意把握の仕方等を習得します。又、速聴により英語のリズム、音声現象にも慣れ、簡単な英語による発話ができるようになります。

◆授業方法 基本的に、教科書のタスクベースで、毎回語彙のチェックから始め、翻訳訳読式で返り読みせずに、英語5文型を踏まえた主語+述語の語順で直読直解するやり方で読み進めます。各段落の Topic Sentence (中心となる話題文) を探すことで要旨を把握し、展開方法を分析しながら練習問題にあたります。ペアープラクティスをした後に全体で確認します。(履修人数により多少の変更が有ります)

◆準備学修 ガイダンスでは、シラバス内容を確認の上、授業に臨み、授業計画を確認の上、予習、復習をしてください。自宅学習での、Unit 1～10 の全範囲内で、実施予定のリーディング読解テスト準備は必須です。オンラインによる自習も教科書購入後各自がアクセスすることで可能です。短期間養成ですので、より深い理解を求める為にはオンラインによる予習をお薦めします。

◆授業計画【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	Unit 1 How did you get your name? Unit 2 What is a good job? Unit 3 Why do people immigrate to the other countries? Unit 4 What are the benefits of positive thinking? 以上のテーマの問題提起に対して分析的に読解を進め、タスクの解答を導き出します。
2日目	Unit 5 Why is vacation important? Unit 6 Who makes you laugh? Unit 7 How does music make you feel? Unit 8 Is it ever OK to lie? 以上のテーマの問題提起に対して分析的に読解を進め、タスクの解答を導き出します。 Unit 1～5 の範囲で一回目の習熟度確認テストを実施します。
3日目	Unit 9 How are children and adults different? Unit 10 What are you afraid of? 以上のテーマの問題提起に対して分析的に読解を進め、タスクの解答を導き出します。 Unit 6～10 の範囲で二回目の習熟度確認テストを実施します。

◆教科書 丸沼『Q: Skills for Success (Reading & Writing Level 1)』Margot F Gramer 他 Oxford 出版 3,240円（税込）（送料 390円）

◆参考書 英和辞書（電子辞書でも可）は必携です。

◆成績評価基準 全出席を前提に、平常点評価として、総合的に評価します。
テスト1 (40%) + テスト2 (40%) + 課題等授業への取り組み (20%)

◆授業相談（連絡先）：

◆英語学の概略を理解する

【英語学概説】

開講単位：2単位 担当者：山岡 洋

◆学修到達目標 言語学の一分野としての英語学が、どのような学問分野であるか、その全体像を理解する。具体的には、英語学という学問の存在意義やその下位分類としてどのような学問分野が存在するのか、そしてそれぞれの学問分野は概略どのような内容であるのかを、概略で説明する。

◆授業方法 授業形態としては、テキストに沿った教員側からの説明を基本として授業を進めていく。予習をしてくることを原則とする。教員側からの説明を基本とするが、学生側からの積極的な授業参加を期待する。そのため、質疑応答が活発になるように、教員側から常に学生側に質問を投げかけるようにする。

◆準備学修 下記に挙げる教科書に目を通しておくこと。3日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。

◆授業計画【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	ことばの仕組み 音声学・音韻論 形態論
2日目	生成文法 機能的統語論 意味論
3日目	語用論 英語史 自習 試験・解説

◆教科書 丸沼『日英語対照による英語学概論』 西光義弘編 くろしお出版 1999年 2,700円（税込）（送料 390円）

◆参考書 丸沼『ことばの仕組みを探る：生成文法と認知文法』原口庄輔・中島平三・中村捷・河上誓作編 2000 2,700円（税込）（送料 340円）

丸沼『英語学入門』安藤貞雄 澤田治美編 開拓社 2001 2,592円（税込）（送料 340円）

◆成績評価基準 授業参加度 (20%)、最終試験 (80%)

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆新約聖書を英語で読む

(西洋古典)

開講単位：2単位 担当者：大住 有里子

◆学修到達目標 世界で最も読まれている書物、聖書。昨年同じテキストの旧約部分を読みました。今年は新約の部分を読みます。救世主、イエス・キリストが現れます。精読が内容理解への一番の近道に思います。聖書のことを少しでも知り、自分の専門の理解に、社会で生きていく助けになればいいです。

◆授業方法 テキストはエルサレム聖書より抜粋されたものです。授業はテキスト6章から、内容を把握しながら読み進めます。学生の方に一区切り（半ページ程）読んでいただき、その大まかな内容を言っていただきます。質問、疑問はその場で挙げていただき、一緒に考え、読み進めます。

◆準備学修 まず Preface を読んでおいて下さい。そうしてテキスト本文を読み、知らない単語などは辞書で調べ、自分なりに内容を把握するよう努めて下さい。その際に生じた疑問は授業に持参下さい。聖書の内容に矛盾を感じることもあると思います。その矛盾の整理に役立つと私が思うものを下の参考書に挙げました（購入すべきという意ではなく）。実際授業で皆さんとの読み進め方により、計画通りにいかないこともあるかもしれません。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	6. Jesus And His Mother Mary 7. St. John The Baptist And The First Disciples 8. The Teaching And Miracles of Jesus
2日目	9. The Passion And The Resurrection 10. The Coming of The Holy Spirit 11. St. Paul The Apostle And His Letters
3日目	12. The Revelation 試験

◆教科書 丸沼『The Bible-Selections from the Jerusalem Bible』生地竹郎、高田恵利子 編注 英光社 2014 年第14刷発行 2,160円（税込）（送料340円）

◆参考書 『聖書 新共同訳』日本聖書協会

丸沼『旧約聖書を知っていますか』阿刀田高 新潮社 637円（税込）（送料260円）

丸沼『新約聖書を知っていますか』阿刀田高 新潮社 555円（税込）（送料260円）

◆成績評価基準 授業への参加具合と試験から総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆日本史研究の基礎知識を身につける

(日本史入門)

開講単位：2単位 担当者：鍋本 由徳

◆学修到達目標 専門科目として日本史の学修は、高校までの日本史と異なります。本講義は専門分野の導入的講義です。特に、日本近世史・近代（主に明治）史に関する基本史料の紹介（一部、冬期に開講される内容と重複）、調べ方、読解法などの知識を増やし、日本史研究の基礎知識を修得することが本講義の目標です。研究のための入門ですので、史学専攻以外の受講生は「より高度な教養を身につける」意識をもって受講に臨んでください。

◆授業方法 原則として講義形式です。1日目と、2日目の午前はテキストとプリントを中心に進め、2日目の午後は人数によって、都内史跡・旧跡を巡見しながら、講義内容の理解を深めます。3日目は再び講義を進めます。なお、最終試験の他に、単元毎の小テスト（客観式）と巡見レポート（600字程度）を課します。

◆準備学修 まず、「歴史資料」とは何か、また下記授業計画で主に使用する教科書の範囲を予習してください。参考として、報告課題集「史学概論」（分冊1）に掲載されている〈キーワード〉を調べ、下記参考書にも目を通しておくとより理解が深まります。復習は特に念入りにおこない、弱点を補い、且つ実際に史料集を図書館で見てください。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	【トピック】 日本近世史・近代史に関する基本史料集の紹介と実践 1日目は、教科書I-3（53p～67p）を中心に、近世史の史料紹介をおこなう。 【主要キーワード】 幕府関係史料、藩政史料、村方史料、東京大学史料編纂所、大岡政談など
2日目	【トピック】 史料保存機関に保管・展示されている各種史料と活字史料との関係 2日目は、講義は近世・近代を中心します、午後は博物館などを巡見し（課外講義）、展示されている史料と活字史料とのイメージの違いから史料に対する理解を深めます。ただし人数が多い場合は、室内講義とします。 【主要キーワード】 地方自治体刊行史料、史料保存機関（主に近世・近代）
3日目	【トピック】 日本近世史・近代史に関する基本史料集の紹介と実践 3日目は、教科書III-2（141p～154p）を中心に、史料から何が読み取れるのかをより具体的に考えていきます。 【主要キーワード】 領収書、年貢割附、村切り、村請け、地租改正

◆教科書 通材『日本史入門 0095』通信教育部教材（教材コード 000484）3,400円（送料込）
<この教材は市販の『方法教養の日本史』竹内誠他著（東京大学出版会）と同一です>

（当日資料配付）なお、当日プリントもあわせて配布します。

◆参考書 『全集日本の歴史』（全17巻）小学館 ※ 購入する必要はありません

◆成績評価基準 最終試験（60%）、小試験（30%）、課題（10%）の総合評価（全日出席で100%の評価対象となります）。

◆授業相談（連絡先）：（授業期間内に設定する質問時間帯）

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代税法を学ぶ

〔税法〕

開講単位：2単位 担当者：黒川 功

◆学修到達目標 具体的な税金問題を交えながら、税法学の基礎理論を学びます。税法は現代法の中心領域でその理解は今の時代を生き抜く上で不可欠です。短期間で各人が自力で租税問題を法的に理解・判断できるようになることが目標です。

◆授業方法 講義は税に関する情報の整理から始め、理解の深度と確実性を優先します。最初に要点を板書し、できるだけ事例紹介を折り込みながら説明します。短時間ですが、必ず毎回見て、聞いて、整理し、ノートに書き写して、確認しながら理解するという密度の濃い頭の使い方をすることになります。

◆準備学修 予め、北野弘久著『納税者の権利』（岩波新書）を通読しておくことが望ましいです。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	① 現代社会と税法
	② 税法学の特質（1）財政学と税法学
	③ 税法学の特質（2）税務会計学と税法
	④ 税法学の特質（3）行政法学と税法
2日目	④ 租税の法的概念
	⑤ 税法の体系
	⑥ 租税法律主義（1）
	⑦ 租税法律主義（2）
3日目	⑧ 租税法律主義（3）
	⑨ 本来の租税条例主義
	⑩ 実質課税の原則
	⑪ 試験

◆教科書 通材『税法 0173』通信教育部教材（教材コード 000340）6,700円（送料込）

〈この本は市販の『税法学原論』第6版北野弘久著 青林書院と同一です〉

丸沼『納税者の権利』北野弘久 岩波新書 864円（税込）（送料 260円）

◆参考書 丸沼『現代税法講義4訂版』北野弘久編 法律文化社 3,780円（税込）（送料 390円）
『現代税法事典 第2版』北野弘久編 中央経済社

◆成績評価基準 論述式の試験に受講状況を加味。

◆授業相談（連絡先）：

◆王朝文学史と『源氏物語』（「橋姫」巻を読む）

〔国文学史Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：布村 浩一

◆学修到達目標 本講義では、王朝文学の理解のために必要となる、作品の表現・言説を成立させている（あるいは規定している）、作品同士の力学・相関関係に関する知識（つまりは王朝文学史）について教授します。そして、『源氏物語』を具体例としてその力学・相関関係の確認・考察を行うことで、作品をより〈深く〉読む能力の涵養を目標とします。

◆授業方法 文学史に関する講義、および作品の講読形式で行い、状況に応じて討論も行う予定です。1・2日目の授業の最後には、感想・意見等を書いた簡易的なレポートを提出してもらいます。また、3日目には授業内容の確認を行うテストを行い、試験の代わりとします。

◆準備学修 講義形式の授業ですが、予め教科書の現代語訳や注に目を通し、必要に応じて辞典や参考書を用いるなどして、自分なりに問題点・疑問点を見つけておきましょう。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス、王朝文学概説1、テクスト講読1（古典セレクション章段区分〔1〕～〔8〕） ※平安前期物語（『伊勢物語』などの、『源氏』成立以前の散文文学）に関する概説と、前期物語と『源氏』との関わりについて講義します。また、文学研究の手続きや方法論についても教授します。
	王朝文学概説2、テクスト講読2（古典セレクション章段区分〔9〕～〔15〕） ※和歌文学（『古今集』など）・漢文学（勅撰三集や『菅家文草』など）に関する概説と、和歌文学・漢文学と『源氏』との関わりについて講義します。
3日目	王朝文学概説3、テクスト講読3（古典セレクション章段区分〔16〕～〔18〕）、総括、授業内容確認テスト ※平安後期物語（『狭衣物語』などの、『源氏物語』成立以後の散文文学）に関する概説と、後期物語と『源氏』との関わりについて講義します。

◆教科書 丸沼『古典セレクション 源氏物語 12 匂兵部卿・紅梅・竹河・橋姫』阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男 [訳注] 小学館 1,728円（税込）（送料 340円）

◆参考書 特に指定はしませんが、『源氏物語』の入門・梗概書や、文学史に関する参考書などに目を通しておくと、講義を理解するための助けになるかと思います。

◆成績評価基準 「授業後のレポート（1・2日目）」30%、「授業内容確認テスト（3日目）」70%の割合で、総合的に評価します。なお、毎回出席することを前提に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イギリスで活躍した女性像

〔英米文学特殊講義〕

開講単位：2単位 担当者：岩城 久哲

◆学修到達目標 助成が社会的に大きく制限されていた時代にあって、女流作家として自分を表現し、イギリスに大輪の花を咲かせた作家について知り、説明できるようになることを目的とする。

◆授業方法 講義をベースにして、英文・日文の資料のコメントを求めたり、DVDに表現されている世界の意見を求める。

◆準備学修 授業計画に記した内容から、そのキーワード、専門事項などを事前に調べ意味を理解しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	J. オースティン：小説時代が到来した社会を概観しながら、オースティン文学の魅力を探る。
2日目	ブロンテ、G. エリオット：ヴィクトリア時代の社会を概観しながら、ブロンテ姉妹、エリオット文学の魅力を探る。
3日目	V. ウルフ：イギリスが国家を越えて、真に国際性を手にした社会を概観しながら、ウルフ文学の魅力を探る。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布

◆参考書 丸沼「イギリス文学史入門」川崎寿彦 研究社 2,484円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 コメントシート、発表などの授業への取り組み（50%）、小テストなどの試験（50%）

◆授業相談（連絡先）：

◆英語のリズムを学ぶ

〔英語学演習 B〕

開講単位：1単位 担当者：山上 登美子

◆学修到達目標 英文の意味の切れ目と息の切れ目を知り、英語のリズムパターンを身につけることができるようになる。特に、語中では隣り合う音によって聞こえ方が大きく変わるので、単語としての実際の聞こえ方を耳で覚えることができるようになる。単語も文中では前後の単語と融合して発音そのものが変わるので、音の変化について理解できるようになる。

◆授業方法 英語の母音、二重母音、子音、およびアクセントなどの表記方法を学習し、日本語と英語の音声上の特徴を示す。CDを聞きながら、練習問題を解くことによって、発音の要点を学ぶ。個々の単語だけでなく、対話文でも正しく発音できるように練習する。英文の内容理解度も確認する。

◆準備学修 1. 教科書を読み、要点を理解しておくこと。
2. 英文のリズムやイントネーションに注意しながら、CDを聞いておくこと。
3. わからない単語や熟語があれば、発音や意味を辞書で確認しておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第1章 「英語のリズム」(p.1-28) *英語のアクセントの特徴、内容語と機能語の違い、接続詞・前置詞、助動詞・be動詞の弱化について学ぶ。
2日目	第2章 「聞こえなくなる音」(p.29-46) *同じ音や似たような音の連続などにより、聞こえなくなる音や発話があることを学ぶ。さらに、発話末尾の子音によって聞こえにくくなる音や動詞の現在形と過去形の発音が区別しにくい場合について学ぶ。
3日目	まとめとテスト (p.1-46) *学習範囲の総復習をし、試験範囲の質疑応答を行うことによって英語のリズムの要点を確認する。学習終了後、授業内テストを実施する。

◆教科書 丸沼『Perfect Listening』(Revised Edition) Takanori Hayasaka & Hidechika Matsui 朝日出版社 2,100円（税込）（送料340円）

◆参考書 指定しない。

◆成績評価基準 平常点50% 試験50%
授業への取り組み（発表など）・テストにより総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：授業時に伝える。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ T. Hardy の作品を読む

〔英米文学演習 C〕

開講単位：1単位 担当者：山下 登子

◆学修到達目標 イギリス 19 世紀の作家 Thomas Hardy (1840-1928) の小説 *Jude the Obscure* (1896) を読むことで、作品及び作家の理解を深めることを目標とする。

◆授業方法 本文の音読と和訳を受講生が発表する精読形式と、担当箇所をグループで要約し発表する形式で、作品を読み進めながら随時問題点や意見の発言を求める。講読範囲は「Part Sixth – At Christminster Again, i ~ iv」です。

◆準備学修 辞書などを参考にして分からぬ単語などの下調べを行い、事前に講読範囲の理解を行ってください。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	・ガイダンス ・作品講読 ・グループワーク
2日目	・作品講読 ・グループワーク
3日目	・グループ発表 ・まとめ及び質疑 ・最終試験

◆教科書 [事前資料送付] 事前に講読箇所のコピーを配布する。

◆参考書 中型以上の英和辞書（電子辞書可）

丸沼『日陰者 ジュード』（上・下）トマス・ハーディ著 川本静子訳 中公文庫 上 1,234円（税込）（送料260円）、下 1,439円（税込）（送料340円）、2冊一緒に送料340円
『Jude the Obscure』 Thomas Hardy, Oxford World's Classics (Revised Edition)

◆成績評価基準 予習・発表・受講状況・グループワーク（50%）、最終試験（50%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆日本経済の課題を理解する

〔経済政策総論〕

開講単位：2単位 担当者：周藤 利一

◆学修到達目標 経済政策の基礎理論と、現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後あるべき方向を理解することを目標とします。

◆授業方法 講義形式で行います。経済政策の意義、経済体制の選択、経済の成長と安定、国際収支と対外関係等の基礎的理論を理解するとともに、金融政策、財政政策、租税政策、産業政策、貿易政策、企業政策、雇用・労働政策、社会保障政策等の主要な内容を学びます。

◆準備学修 本講義は、初級～中級の理論レベルの内容を取り上げます。そのため、理論的知識に不安のある学生は、事前にマクロ経済理論、ミクロ経済理論の入門レベルの書籍を読むことを推奨します。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1 経済政策序論：経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の分配と所得の分配、価格機構など 2 国民経済論・経済成長論：国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法など 3 国際収支と対外関係：国際収支の構造、資本流入と資本流出、外国為替市場と為替レートなど 4 金融政策論：管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライ、自己資本比率規制など
2日目	5 財政政策論：財政制度の意義、財政投融資、裁量的財政政策、財政赤字問題、財政再建など 6 租税政策論：租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類、日本の税制の課題など 7 貿易政策論：比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、雁行形態モデル馬跳びモデル、経済開発の戦略と交際貿易、輸入代替戦略、WTOルール、ドーハ・ラウンド、FTA、EPA、TPP等の貿易自由化政策
3日目	8 雇用政策論・労働経済論：労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善、職業生活など 9 社会保障政策論：私的保障と公的保障、給付の方式、財源の調達、社会保障と公的扶助など 10 社会福祉政策論：社会福祉の客体、供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係など 11 資源・エネルギー政策論：世界のエネルギー事情、省エネ対策、福島原発事故以後のエネルギー政策

◆教科書 指定なし。〔当日資料配付〕当日プリント配布

◆参考書 授業を紹介します。

◆成績評価基準 平常点（30%）、試験（70%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆国際通貨制度の基礎を学ぶ

〔国際金融論〕

開講単位：2単位 担当者：谷川 孝美

◆学修到達目標 近年、欧州の債務危機問題など国際金融に関する様々な事柄が話題になっています。この講義では、このような国際金融における諸問題を考えるまでの基礎的概念や、国際金本位制、IMF体制などの国際金融制度の歴史的な変遷などを理解することを目的とします。

◆授業方法 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や国際金融制度について平易な解説をする予定です。なお、講義の進捗状況によっては授業計画が前後することもあります。また、為替レート決定などの国際金融理論については基本的に取り扱いませんので注意してください。

◆準備学修 国際金融論は金融論およびマクロ経済学の基本的な理解を前提としています。学習の準備として確認をしておくと良いでしょう。また、講義の理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスについて、参考書などでの予習や、外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	①ガイダンス、②外国為替の仕組み、③外国為替市場と為替レート、④国際収支統計と対外取引。 ※国際金融を理解するための基本的な事柄について解説します。
2日目	①金本位制から国際金本位制、②IMF体制から為替フロート、③経済通貨同盟と欧州単一通貨ユーロ。 ※国際通貨制度の歴史的な変遷について概説します。
3日目	①国際金融市場、②国際協調とBIS規制、③通貨危機と国際通貨制度改革、④講義のまとめ。 ※国際金融市場とその他諸問題について概説します。

◆教科書 指定しない。〔当日資料配付〕当日プリントを配布します

◆参考書 〔通材〕『国際金融論 0833』通信教育教材（教材コード 000432）1,950円（送料込）
〔丸沼〕『国際金融論をつかむ』 橋本優子・小川英治・熊本方雄、有斐閣 2,268円（税込）（送料340円）
その他、授業時に適宜紹介します。

◆成績評価基準 最終試験を基本に授業への取り組み、小テスト等により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆カウンセリング・教育相談について理解する [教育カウンセリング論／教育相談]

開講単位：2単位 担当者：植松 紀子

◆学修到達目標 カウンセリング、教育相談、学校教育相談について学ぶことにより、学校現場において出会う児童生徒の発達課題や適応・不適応状態などについて、判断できる知識を得ることを目的とする。

◆授業方法 『教育相談』のテキストを中心に講義をし、学生への質問や心理テストも実施する。

◆準備学修 指定したテキストを、事前に熟読しておくこと

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス テキスト『教育相談』の1章：カウンセリングとは何か、第2章：カウンセリングの理論と方法、第3章：教育相談とは何か、について学習する。
2日目	テキスト『教育相談』の第4章：学校教育相談の本質、第5章：学校教育相談の理論と実際、第6章：学校教育相談の方法、第7章：進路相談の意義と方法など、学校現場での教育相談すなわち学校教育相談担当の教師が何をどう行っていくかを学ぶ。
3日目	テキスト『教育相談』の第8章：不適応問題と学校教育相談、第9章：特別支援教育に関する理解と学校教育相談、第10章：心理アセスメントとは何かについて学ぶ。 試験実施

◆教科書 〔通材〕『教育相談／教育カウンセリング論』通信教育教材（教材コード 000498）平成26年度新教材
※価格未定（価格は『部報』4月号に掲載）

◆参考書 〔丸沼〕『改訂 生徒指導・教育相談・進路指導』仙崎 武、野々村 新編著 田研出版 2,592円（税込）（送料340円）
〔丸沼〕『学校カウンセリング入門』改訂版 友久雄編著 ミネルヴァ書房 2,592円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 発表（20%） 平常点（30%） 試験（50%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆書法の基礎

【かな書法】

開講単位：2単位 担当者：山本 まり子

◆**学修到達目標** 基本的事項について学習し、それらを踏まえ、創作も行う。後半は漢字についても少しふれる。毛筆による実践を通して体系的に学び、理解を深めたい。

◆**授業方法** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかを中心に講義・実践を行う。それらをもとに、各自、「提出作品」を制作する。「提出作品」の内容は担当者作成のプリントによる。当日は、プリント・教科書等（その他、必要なものはプリントに記載）、忘れ物のないように万全を期するように。

当日は、書道用具一式（仮名用半紙を含む）も用意のこと（当日使用の仮名用半紙の枚数は100枚で十分である）。下記「授業計画」の通り、「1日目」午前中、まず、近くの書道用品店へ全員で出向き、文物を前に学習を行う。その際、用具・用材の購入可能である。

◆**準備学修** 詳細は事前に送付されるプリントに記載。受講前に必ず目を通し、予習を行なっておくように。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	・ガイダンス ・文房四宝（筆・墨・硯・料紙）・印泥等に関する基礎的事項 ・連綿の基本	・書道用品店見学 ・単体の基本
2日目	・散らし書きの基本 ・「寸松庵色紙」の鑑賞と臨書	・創作 ・書簡文
3日目	・午前：各单元における清書を和綴じの上、提出。 ・午後：講義形式の後、筆記試験（教科書・プリント等、持込可）	

◆**教科書** 通材『かな書法手本 0981』 通信教育教材（教材コード 000239） 600円（送料込）

※教科書は必携である。手引内購入方法等を確認し、授業時に必ず持参されたい。

※『かな書法教本 0981』（教材コード 000238）は使用しないため、購入の必要はありません。

◆**参考書** 当日、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況（授業中の課題への取組み方、積極性等）50%、成果物 30%、授業内テスト 20%

◆**授業相談（連絡先）：**

◆未来を拓く生涯学習

【生涯学習論】

開講単位：2単位 担当者：上原 義正

◆**学修到達目標** 生涯学習は、まだまだ若い分野であります。わたしたちは、身近な施設たとえば生涯学習センターやミュージアムその外に接し、日ごろの行為・行動・精神活動もまた生涯学習に該当するとはあまり気づいてないかもしれません。日常生活・非日常生活で生涯学習は潤いをもたらす学習形態なのです。絵を見る・描く、本を読む etc. ちょっとした身近な学習形態から生涯学習を学ぶ姿勢を涵養し、生涯学習を継続的に実践するモチベーションを高めます。

◆**授業方法** 指定テキストを順次参考することをフェーズ1とし、何がポイントかを探ります。フェーズ2では、生涯学習施設、実践、実際行われている生涯学習の事業について紹介を行います。また、プレゼンテーションの準備を行います。

◆**準備学修** 指定テキストを必ず予習してくること。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	1. 生涯学習、社会教育、生涯教育の区分についての概要を説明します。 2. 生涯学習の形態…生涯学習の概念を整理した上で、生涯学習の形態に関する知識を深めます。
2日目	1. 生涯学習政策と計画立案・事業展開…生涯学習政策を具体的に推進する手法を学びます。
3日目	1. グループで計画する生涯学習…グループで生涯学習に関する企画立案をしてもらいます。 2. プrezentation…上記1でまとめた計画案をグループで発表してもらいます。 3. テスト

◆**教科書** 通材『生涯学習論 2001』 通信教育教材（教材コード 000436）3,100円（送料込）

〈この教材は市販、『生涯学習論』佐藤晴雄著（学陽書房）と同一です〉

◆**参考書** 特に指定しない。

◆**成績評価基準** 試験 50%、態度 30%、プレゼンテーション 20%

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京	日 程	授業時間	備 考
第3期	5月 3日 土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
	5月 4日 日	9:00~18:30	
	5月 5日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意			
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件	
C1	心理 学	陶山 智	0035	心理 学		1年			
C2	英 語 C	天野 晓子	0041	英 語 I		1年	・I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III		2年			
			0044	英 語 IV					
C3	東洋史入門	綿貫 哲郎	0096	東洋史入門	×	2年			
C4	国際法	渡部 茂己	0124	国際法		2年			
C5	民法 V	石川 信	0137	民法 V		2年			
C6	外交史	佐渡友 哲	0222	外交史		2年			
C7	国文学講義VI(現代)	水野 岳	0339	国文学講義VI(現代)		2年			
C8	アメリカ文学史	鈴木 孝	0414	アメリカ文学史		2年			
C9	放送英語	アレックス ブラウン	0471	放送英語	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
CA	英米文学演習 D	岡田 善明	0486	英米文学演習 I		3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0487	英米文学演習 II					
			0488	英米文学演習 III					
CB	英米文学演習 E	太田 美智子	0486	英米文学演習 I		3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0487	英米文学演習 II					
			0488	英米文学演習 III					
CC	東洋思想史 I	本間 直人	0516	東洋思想史 I		条件参照		・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
CD	日本史特講 II	鈴木 哲	0662	日本史特講 II		2年			
CE	西洋経済史	上村 能弘	0724	西洋経済史		2年			
CF	商品学	鄭 舜玉	0821	商品学		2年			

注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目 コード	科目名		配当 学年	カリ キュ ラム	受講条件
CG	特別活動の研究／ 特別活動論	関川 悅雄	0942	特別活動の研究	×	2年		・本誌4ページを参照 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。
			0943	特別活動論				
CH	経済地理学	田村 和彦	0973	経済地理		2年		・商学部のみ申込可。 ・法・文理・経済学部のみ申 込可。
			0974	経済地理学				
CJ	自然地理学概論	柴原 俊昭	0977	自然地理学概論		2年		・法学部・史学専攻・経済 学部のみ申込可。
CK	国語科教育法Ⅱ	品川 利幸	0992	国語科教育法Ⅱ	×	2年		・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。
CL	英語科教育法Ⅰ	市川 泰弘	0996	英語科教育法Ⅰ	×	2年		・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。
CM	博物館教育論	岡部 幹彦	2015	博物館教育論	×	2年	D	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆心理学の見方・考え方

〔心理学〕

開講単位：2単位 担当者：陶山 智

◆学修到達目標 心理学は、人間のこころの動きを科学的に研究する学問である。この講義では、次の二つを主なねらいとして掲げる。1. 心理学は、時々の時代思潮からの影響を受けながら分化、発展してきた。そこで心理学の歴史をたどることにより、現代の心理学をよりよく理解する。2. 四つの領域（感覚と知覚、学習、記憶、思考）を取り上げ、現代の心理学を理解するにあたって基礎となる知識を獲得し、心理学的な見方・考え方を身につける。

◆授業方法 専ら講義の形式を取るが、おりおり簡単な実験やデモンストレーションを交えて説明し、体験を通した理解を目指したい。また、図や表を多く含んだプリントを適宜配布する。授業計画にある1～14の数字は、取り扱う内容の順番程度と理解して欲しい。

◆準備学修 「提示された理論やデータについてともに思考する」という態度を大切にしてほしい。心理学の入門書を読み、事前に専門用語に触れておくことが望ましい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 心理学とは何か—導入と俯瞰 3. 連合主義 5. 感覚・知覚（2）—精神物理学	2. 心理学の方法 4. 感覚・知覚（1）—知覚系の外的適応性ほか
2日目	6. 心理学の独立 8. 比較心理学 10. 行動主義とは？	7. 構成心理学と機能心理学 9. 学習
3日目	11. ゲシュタルト心理学とは？ 13. 認知心理学とは？	12. 記憶 14. 思考

◆教科書 〔当日資料配付〕当日プリントを配布する。

◆参考書 授業の中で紹介する。

◆成績評価基準 平常点、最終試験により総合的に評価する。授業の内容は連続的なところがあるので、欠席をしないように注意してください。

◆授業相談（連絡先）：

◆リスニングからコミュニケーションへ

〔英語 C〕

開講単位：1単位 担当者：天野 晴子

◆学修到達目標 DVD教材を視聴し、聴き取りやShadowingなどリスニングを主とするタスクを通して、いつ、どこで、誰が、何をという5W1Hの英文を読む、書く技能も高めます。使える英語力を向上させることを目指します。

◆授業方法 各課は‘Introduction’と‘Documentary’に分かれています。‘Basic Facts’ ‘Collocation’、‘Questionnaire’は予習を前提とします。DVDを視聴し、内容把握問題、スクリプトの空欄補充問題に取り組みます。Shadowingやロールプレイでの発表、グループワークや、各章毎の小テストも行います。積極的に授業に参加しましょう。

◆準備学修 中学・高校の参考書等を事前に復習しておいて下さい。テキスト各章の語彙などを予め予習し、調べておきましょう。音読は有効です。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイドンス（進度は受講生の習熟度・要望により変更する場合もあります）小テスト・発表 Unit 1 Los Angeles Introduction, Unit 2 Los Angeles Documentary Unit 3 Scotland Introduction
2日目	各Unit 小テスト・発表 Unit 4 Scotland Documentary Unit 5 Canada Introduction Unit 6 Canada Documentary
3日目	Unit 7 Review Section 1 小テスト・最終発表 試験

◆教科書 丸沼『World Wide English on DVD-Volume 1- (世界で輝く若者たちの英語)』成美堂 2,592円（税込）
(送料 340円)

◆参考書 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の携帯辞書等（PC含む）の使用は不可とします。その他は必要に応じて提示します。

◆成績評価基準 平常点 50%（小テスト、音読、ロールプレイ等授業への積極的な参加を含む）、筆記試験 50%とし、総合的に評価します。無遅刻、無欠席が前提です。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日清戦争と中国人観の形成

【東洋史入門】

開講単位：2単位 担当者：綿貫 哲郎

◆学修到達目標 同じ東アジアに位置する中国と日本との間には、現在でもわだかまりが存在することは否定できない。その形成期とされる日清戦争前後の両国の政府・民間の交流について、当時の資料を直接読みつつ、受講生個人がもつ中国観・中国人観の淵源をたどることを目的とする。

◆授業方法 以下の授業計画に沿って講義形式（一部は実習形式）でおこなう。講義の理解を深めるため、視覚資料を適宜併用する。また授業時間内外でレポートを課す予定である。

◆準備学修 高校までに学んだ通史やキーワードの理解を前提として講義を進める。復習は隨時おこなってもらいたい。

◆授業計画 【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	ガイダンス（講義の進め方・成績評価基準・最終試験の方法など） 近代における日中交流と中国人認識
2日目	明治初期の日中関係に関する新聞を読む（※漢和辞典持参のこと） 近代における日中交流
3日目	福澤諭吉と「脱亜論」 日清戦争と中国人観の形成 試験

◆教科書 使用しない。【当日資料配付】プリントを配布する。

◆参考書 漢和辞典。手持ちの辞典・電子辞書で可（Web接続は不可）。もし購入する場合は『角川新字源：改訂版』（角川書店、1994年）が廉価で使いやすい。

◆成績評価基準 試験（60%）、平常点【授業態度・課題への取り組み・レポートなど】（40%）。毎回出席することを前提として総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆国際社会の法規範

【国際法】

開講単位：2単位 担当者：渡部 茂己

◆学修到達目標 国際法は国際社会を規律する法規範であり、国際社会は、一面では同じ「社会」として国内社会と共通し、他面では異なる特徴を有する。異なる面では、国際社会の特徴を理解することが国際法を理解する上で重要である。また国際法主体である「国家」について、国際交渉機関、国家責任、領域などの基本事項を理解する。

◆授業方法 教科書のほか、パワーポイント作成の教材のスクリーン投影を板書の代わりとし、また、視聴覚教材（DVD）、配布レジュメや資料プリントに基づいて多角的に、かつ、なるべく平易に解説したい。質疑等を歓迎する。

◆準備学修 通信教育教材の『国際法』を事前にひと通り目を通し、理解しておくことが望ましい。

◆授業計画 【1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分】

1日目	国際社会の特質と国際法の基本構造	[教科書（以下、同様）の第1章]
	国際法の諸分野と現代国際法の位置付け	[第1章]
	国際法の法源	[第2章]
	国際法と国家	[第3章]
2日目	国際法と国家・統	[第3章]
	国家の国際責任	[第5章]
	国家の領域	[第6章]
3日目	国家の領域・統	[第6章]
	海洋法	[第7章]
	国際広域	[第8章]

◆教科書 丸沼『国際法 第2版』渡部茂己・喜多義人編 弘文堂 2014年 2,376円（税込）（送料340円）
※『国際法 0124』（通信教育教材）は第1版に当たるものであり、それでも可。

◆参考書 ※授業内で、必要に応じて適宜紹介する。

◆成績評価基準 授業への参加・貢献（平常点）（50%）、論述試験（参考書・ノート等の参考可）（50%）。
スクーリングは、毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆家族法を学ぶ

〔民法V〕

開講単位：2単位 担当者：石川 信

- ◆学修到達目標 1. 民法・家族法の学修をとおして、「家族の現状と課題」を考える
2. 民法の立場から、家族のトラブル（人間関係＆財産関係）を解決する基準を知る
3. 思考し学修したことを日常生活のなかで実践する覚悟（心がまえ）を養う

- ◆授業方法 1. 指定教材と講義ノート（事前配布）に即して、家族法の体系的知識を解説する
2. 家族の問題に関する【総合事例問題】を紹介し、各論点について意見交換する
3. 初日と二日目の授業終了時に「小テスト」を実施する（合計2回）

- ◆準備学修 指定テキストを事前に通読し、不分明な箇所について質問事項を用意し、自主的に学修するための問題意識を備えておくこと

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第1講：家族法序説 ～家族法の意義、基本原理、家族関係の公示（戸籍と氏名） 第2講：夫婦関係 ～婚姻の意義、婚姻の成立・効果・解消、婚約と内縁 第3講：親子関係 ～実子（嫡出子、非嫡出子）、養子（普通養子、特別養子） 第4講：扶養関係 ～親権、後見・保佐・補助、扶養
2日目	総合事例問題検討 ～夫婦関係＆親子関係 第5講：法定相続 ～法定相続人、法定相続分、相続財産 第6講：遺産分割 ～遺産分割、相続人の不存在、相続回復請求権 第7講：遺言相続 ～遺言の有効性、遺言の種類、遺言の効力
3日目	総合事例問題検討 ～法定相続＆遺言相続 補講：家族法の課題 ～家族法の改正にむけて 成績評価試験

- ◆教科書 **通材**『民法V 0137』通信教育教材（教材コード 00059）2,400円（送料込）
私製の「家族法」講義ノート 尚文堂（現在作成中）受講生確定次第、丸沼書店にて販売予定（定価未定）

- ◆参考書 教室で適宜に紹介する

- ◆成績評価基準 平常点（40%、小テスト2回）と筆記試験（60%）の合計点

- ◆授業相談（連絡先）：連絡メールアドレスを初回の授業時に伝える

◆原典で読み解く20世紀の国際政治史

〔外交史〕

開講単位：2単位 担当者：佐渡友 哲

- ◆学修到達目標 ①歴史研究の分析枠組みが理解できているか。
②協定、条約、憲章、声明などの原典を読み取ることができるか。
③歴史の出来事を現代の目で主体的に評価できるか。

- ◆授業方法 歴史研究は「暗記するもの」ではなく、また一方的に教わるものでもなく、「過去と現代の対話」（E.H. カー）の中から真実を見つける作業である。したがって一方的な講義ではなく、あらかじめ資料を読み、討論する「参加型学習」の授業方法をとる。また、時々映像により時代背景を理解し、Quiz（小テスト）に答えることになる。受講生は主体的に授業に参加することを要求されている。

- ◆準備学修 受講生は、講義で取り上げられる内容について「資料プリント」、教科書、参考書をあらかじめ読んで、授業に備える必要がある。その内容については発言し、討論ができるようにしておくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(1) ガイダンス：歴史をどう学ぶのか (3) 概説：20世紀における世界秩序の形成 (5) 映像：「第二次世界大戦へ向かうヨーロッパ」	(2) 国際秩序としての国際システム (4) 映像：「ヒトラーとムッソリーニ」
2日目	(6) ヴェルサイユ・システムの崩壊過程 (8) 原典：「ヤルタ協定」の分析 (10) 討論：ヤルタ会談は「世界の分割」だったのか？	(7) 映像：「第二次世界大戦の余波」 (9) ヤルタ会談での3首脳の思惑と国益
3日目	(11) 原典：「ソ連の対日参戦に関する協定」「ポツダム宣言」 (13) 冷戦時代の米ソ関係 (15) 最終試験	(12) 映像：「東西冷戦の始まり」 (14) まとめ：「冷戦の時代」とは何だったのか？

- ◆教科書 **通材**『外交史 0222』通信教育教材（教材コード 000085）1,950円（送料込）
〔当日資料配付〕資料プリント

- ◆参考書 講義の際に文献リストを配布する。

- ◆成績評価基準 レポート・小テスト・グループ討論・授業への取り組み [50%]、最終試験 [50%]

- ◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆昭和の文学

〔国文学講義VI（現代）〕

開講単位：2単位 担当者：水野 岳

◆学修到達目標 戦争を含め混乱期であった昭和初年代（20年間）の文学を考える。

参考文献の収集法に関しても、時間を見つけて案内する予定である。

◆授業方法 適宜プリントを配付する。

◆準備学修 あらかじめ授業で取り上げる事項を調べたり作品を読んだり、といった受講生の主体性に期待する。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	プロレタリア文学の消長 中野重治「雨の降る品川駅」
2日目	モダニズム—さまざまなレトリック 横光利一「蠅」
3日目	既成作家の復活 志賀直哉「暗夜行路」

◆教科書 特に指定しない

◆参考書 『昭和文学全集』別巻（1990・9） 小学館

◆成績評価基準 レポート（締切は3日目終了後7～10日ほど）70%，受講状況30%

*上記の割合は目安である。

*具体的な締切日や課題に関しては授業内で告知する。

◆授業相談（連絡先）：授業の前後に声をかけてほしい。

◆アメリカ文学をより楽しむための基礎知識

〔アメリカ文学史〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 孝

◆学修到達目標 16世紀後半から20世紀初頭までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキストを利用しながら概観し、その流れを把握していくことを目標とします。

(2013年度東京スクーリング（春期第3期）受講者は同一内容のため受講不可。)

◆授業方法 テキストで扱われている作家について、生い立ちや作品の特徴などに関する講義を、配付資料も利用しながら行ったあと、その理解度を確かめる小テストを随時行います。テキストのしっかりした予習だけでなく、その読解から生まれる旺盛な好奇心を期待します。

◆準備学修 講義中心の授業となるので、事前に配付される資料、並びにテキストに記載された引用文については必ず前もって目を通しておいて下さい。また、可能であれば、テキスト巻末にある「例文の翻訳書」の中で入手しやすいものについては、それらを通しておいて下さい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	*植民地時代から Nationalism へ 2. [Captain] John Smith 3. William Bradford 4. Anne Bradstreet 5. Jonathan Edwards 6. Benjamin Franklin 7. Charles Brockden Brown 8. Washington Irving 9. James Fenimore Cooper 10. William Cullen Bryant 11. Edgar Allan Poe 12. Ralph Waldo Emerson (13. Henry David Thoreau)
2日目	*Romanticism (American Renaissance) から Realism, Naturalism へ 13. Henry David Thoreau 14. Nathaniel Hawthorne 15. Herman Melville 16. Walt Whitman 17. Emily Dickinson 18. Mark Twain 19. Henry James 20. Stephen Crane 21. Theodore Dreiser (23. Sherwood Anderson)
3日目	*Chicago Renaissance, Modernism, Lost Generation 他 23. Sherwood Anderson 22. Carl Sandburg 24. Robert Frost 25. Langston Hughes 26. William Carlos Williams 27. F. Scott Fitzgerald 28. Ernest Hemingway *試験

◆教科書 丸沼『An Outline of American Literature (アメリカ文学概観)』井上謙治編著 南雲堂 1,296円（税込）（送料260円）

*『アメリカ文学史 0414』通信教育教材とは別の教科書ですのでご注意下さい。

◆参考書 教科書47ページ参照。その他授業中に紹介します。

◆成績評価基準 平常点（50%）、試験（50%）の総合評価。但し欠席、遅刻のない学生のみを対象とします。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Broadcast English

(放送英語)

開講単位：2単位 担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 Students will improve listening and speaking skills by watching short news reports and discussing the content and issues of the news reports.

◆授業方法 Students will develop listening skills by listening to CNN news reports from the CNN web site (www.cnn.com) (other materials may be used). Students will also learn vocabulary and expressions related to the news topics and discuss and give their opinions about the topics.

◆準備学修 This course is open to all students. There are no pre-requisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	Orientation News Report #1 News Report #2 News Report #3
2日目	Vocabulary Quiz #1 News Report #4 News Report #5
3日目	Vocabulary Quiz #2 News Report #6 News Report #7 Final Examination

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆参考書 Please bring a dictionary to class.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, two written tests, vocabulary quizzes and 2 presentations.

◆授業相談（連絡先）：There are no pre-requisites for this course.

◆エマソンの *Nature* から人間の nature のあり方を学ぶ [英米文学演習 D]

開講単位：1単位 担当者：岡田 善明

◆学修到達目標 エマソンの *Nature* (『自然論』) を講読し、人間の nature (性質) のあるべき姿を学び、特に近代以降、機械のように扱われてきた「自然」観を改め、自然と共存した精神と自然が nature という語で示されているように、本来は共通の要素を持ち、自然は人間に真の生きる哲学を与えまた未来の世界も心の nature が創造する働きがあることを学習する。

◆授業方法 エマソン *Nature* を読み、ワークシートの問題をグループごとに討論し、その内容を全体にレポートする。また各自の鑑賞内容を英語で発表する。特に自然との共存により、人間がどのように生きるべきかを考える授業にしていきたい。文学の内容であるので、難解な部分は日本語を使用する場合もある。

◆準備学修 テキストの英文を自宅で熟読し、ワークシートの問題を英語で答えて、授業に臨む。また作品を鑑賞した後、試験での英文のエッセイを課すのでその準備学習もする。3日間の講座であり、事前の予習が大切で、内容を難しいと感じる学生は、訳本等も参考にして内容をよく理解することが、授業での討論の理解と英語での発表に役立つ。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	1. エマソンの自然哲学についての講義 2. テキストの以下の項目の内容の討論 Nature「自然」について、人間の nature (心の内宇宙) と nature (外自然) について学ぶ Beauty「美」は自然の美から心の美すなわち善に通じることを学ぶ
2日目	Language「言葉」には言霊があり、心と自然を結び付けるものであることを学ぶ Discipline「自然」には人間を「教育」する力があることを学ぶ Idealism「自然」は人間の心の反映したものであるという「観念論」を学ぶ。
3日目	Spirit「自然」は人間の「精神」とかつては同一の起源をもっていたことを学ぶ。 Prospects 未来は人間の精神が「予想」したものとして具現される可能性がある。 試験 (内容についての英文のエッセイを書く)

◆教科書 事前資料送付 Emerson の *Nature* の授業で扱う箇所は事前にプリントを送付するが、どの版でも良いので、実際の英文の作品を購入しておくことが望ましい。

◆参考書 授業で紹介するが、できればカントの「純粹理性批判」を読んでおくと授業の理解につながる。

◆成績評価基準 試験での成績を中心に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Jane Austen を読む

〔英米文学演習 E〕

開講単位：1単位 担当者：太田 美智子

◆学修到達目標 イギリスで最も愛されている作家のひとりである Jane Austen を取り上げます。原作に触ることによって、彼女の描いた世界のみならず彼女が生きた時代や背景の理解を深めることを目的とします。

◆授業方法 受講生の音読と和訳による精読を中心とします。初日は積極的に発表して下さい。二日目以降は予め担当箇所を決めます。毎回、最後に確認テストを実施します。

◆準備学修 辞書を引きながら丁寧に予習して下さい。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス <i>Pride and Prejudice</i> を読む テスト
2日目	<i>Pride and Prejudice</i> を読む テスト
3日目	<i>Pride and Prejudice</i> を読む テスト

◆教科書 〔当日資料配付〕プリントを配布します。

◆参考書 適宜、授業中に紹介します。

◆成績評価基準 発表と授業への取り組み方（約60%）、試験（約40%）。全出席が前提です。

◆授業相談（連絡先）：

◆孔子の思想を考える

〔東洋思想史 I〕

開講単位：2単位 担当者：本間 直人

◆学修到達目標 孔子の人物像を明らかにすることを学習目標とします。孔子、その人の言葉は国を超えて、時代を超えて、現代に生きる我々に、生きるまでのヒントを与えてくれることでしょう。

また、哲学思想の有機的な連関を重視しつつ、中国思想を概観し、孔子の思想をより深く理解します。

さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。

◆授業方法 孔子の思想の特質をつかむことに留意しながら、発表形式で授業を行います。また、レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが、漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し、無理のないように進めています。したがって、東洋思想に興味を持ちながら、漢文に対する抵抗感から、今まで本格的な学習を思いどまっていた方の受講も歓迎します。

◆準備学修 孔子についての参考書は、数多く出版されています。図書館、または書店で実際に手に取り、気に入った本を読んでみて下さい。すんなりと頭に入る事柄もあれば、すぐには理解できない事柄もあることでしょう。しかしながら、そのことについて、じっくりと時間をかけ、自分の頭で考えることは、これから学習に特に重要なことなのです。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス（研究の意義、必要性について）、レポートの書き方について①（司馬遷「任少卿に報するの書」を題材として）孔子の人物・生涯 ※研究の意義、必要性について理解した後、レポートの書き方について、実践的に学びます。また、孔子の人物像について考えます。
2日目	レポートの書き方について②（前回のレポートの講評などを中心として） 『論語』、孔子の宗教観（殷周革命、『論語』に見える孔子思想の宗教性）、儒教—孔子思想の学統一 ※レポートの書き方についてのまとめの後、孔子の思想を、その宗教観を中心に考えていきます。
3日目	『詩経』における運命論の問題、宿命論と定命論、孔子の運命観、孟子の思想との比較 まとめ、小テスト ※孔子の思想とその淵源について、孟子の思想と比較しながら考えます。さらに、孔子の哲学的思惟が、中国思想史上、重要な位置を占める理由を学びます。

◆教科書 通材『東洋思想史 I 0516』通信教育教材（教材コード000392）1,900円（送料込）
〔当日資料配付〕プリントを配布する。漢和辞典を用意してください。

◆参考書 使用しません。

◆成績評価基準 平常点（30%）・小レポート（30%）・小テスト（40%）で評価します。

◆授業相談（連絡先）：初回の授業時に伝えます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆歴史上の知識人たち

(日本史特講Ⅱ)

開講単位：2単位 担当者：鈴木 哲

◆学修到達目標 「文」の時代としての平安時代と、「武」の時代としての鎌倉時代の両時代における知識人に焦点をあててみます。各時代の知識人たちの歴史への関わり方を見詰めながら、知識人たちの果たした役割、特に平和的・安定的社会の構築への貢献の在り方を考えることが主眼です。

◆授業方法 平安・鎌倉の各時代に、それぞれ異なる立ち位置から活躍した知識人たちを取り上げ、彼らの残した著作物や日記、そして、彼らの学識が反映された政策について考察します。さらには、関与した事件などの検討を通じて、各自の個性溢れる「知識人振り」に注目し、その歴史的存在価値に言及します。

◆準備学修 平安・鎌倉の両時代を代表する知識人たちの人物像に対する基礎的知識などを、指定の参考書を通して理解しておいて下さい。

◆授業計画 (1日目: 480分, 2日目: 510分, 3日目: 360分)

1日目	(1) 小野篁と遣唐使問題 (2) 藤原保則と「良吏」の時代 (3) 菅原道眞の政治改革と挫折 (4) 三善清行と「意見封事十二箇条」
2日目	(1) 大江匡衡と尾張学校院 (2) 紫式部の闘争 (3) 慶円の時代観 (4) 文覚と源平争乱
3日目	(1) 大江広元と鎌倉幕府 (2) 北条重時の家訓 (3) 北条泰時と文武の世界

◆教科書 (当日資料配付) 授業時にプリントを配布します。

◆参考書 丸沼『日本文化の歴史』尾藤正英著 岩波書店 864円(税込)(送料260円)

◆成績評価基準 試験70%と平常点(質疑応答等)30%により、総合的に評価します。

◆授業相談(連絡先)：

◆「産業革命」期における世界通商と決済の仕組み

(西洋経済史)

開講単位：2単位 担当者：上村 能弘

◆学修到達目標 「産業革命」期における世界通商や決済は、主に委託荷販売制度(ファクター制度)を通じて行われていました。この授業では、同制度の起源や、その後の展開・衰退の過程を探ることを通じて、世界資本主義経済の歴史的意義を再考察し、これを論じることができるようになることを目的とします。

◆授業方法 主に講義形式で授業を進めます。最終日の「まとめ」のなかで質疑と討論を行う予定です。

◆準備学修 受講にあたっては、高等学校の「世界史」の授業で扱われるような知識を、ごくおおざっぱにでも持っていると便利です。お手許の「世界史」の教科書や参考書のうち、特に16世紀から19世紀にかけての部分を、もう一度読んでおくことをお勧めします。

◆授業計画 (1日目: 480分, 2日目: 510分, 3日目: 360分)

1日目	世界「産業革命」の展開 ・世界商品市場 ・世界金融市场
2日目	委託荷販売制度(ファクター制度) ・起源と展開 ・制度的な意義と欠陥、衰退
3日目	売ることから買うことへ：荷為替信用制度への転換 まとめ：世界資本主義経済の歴史的意義に関する再考察 ・質疑と討論

◆教科書 使用しません。

◆参考書 講義の進捗にあわせ、適宜紹介します。

◆成績評価基準 試験(100%)。毎回出席していなければ解答できないような問題を出題します。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商品の基本概念を学ぶ

〔商品学〕

開講単位：2単位 担当者：^{チヨン} 鄭 舞玉

◆学修到達目標 「商品の洪水」の現代において、我々は毎日数多くの商品を選択し使用している。今日の商品は従来のように物理的特性を提供するだけではなく、イメージや感動も提供するようになっている。本講義では、このように我々の生活に密着している商品について、基礎概念やその役割を学び生産、流通、消費の段階にわたる商品の意義を知ることができる。

◆授業方法 パワーポイントを用いた講義形式で、毎回スライド内容をプリントで配布する。プリントは重要箇所がブランクになっており、講義を聴きながら講義内容のメモーとブランクを埋める形式をとる。また、授業開始時の復習・授業中の質疑応答への積極的な発言は平常点として反映される。

◆準備学修 授業計画に沿って指定参考書を事前に読んでおくことと、学習した講義内容は配布されたプリントをベースに必ず復習しておくこと。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス、商品学の領域、商品学の誕生、商品の概念、製品・商品の違い、商品の適性、製品および商品の構成要素、製品および商品の分類、商品分類の必要性および基準。 ※商品学はどのようにして誕生したのか、製品と商品の違いは何かを確認し、商品の概念を明らかにすると共に、その構成要素および分類など商品の最も基礎的な知識を学ぶ。
2日目	商品の品質、商品の表示、商品の検査、商品の評価、商品の標準化、ネットワーク外部性、商品の安全性、トレーサビリティ、PL法。 ※商品を評価する際の品質や評価基準、また商品供給の効率化を実現した商品の標準化により商品の価値がどのように変化するのかを学ぶ。さらに商品の安全性についてその関連知識を学ぶ。
3日目	商品のパッケージ、消費者の権利・責任、総括、筆記試験 ※商品パッケージの機能を確認した上で、授業全体の内容と結びつけながら我々消費者の権利および、責任について学ぶ。そして、講義全体の復習と補足説明を行う。

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 当日プリント配布

◆参考書 (※予習時に使用) **通材『商品学 0821』** 通信教育教材 (教材コード 000401) 2,450円 (送料込)
<この教材は『現代商品論(第2版)』見目洋子他著(白桃書房)と同一です>
丸沼『商品学と商品戦略』 (KGU叢書) 石持悦史著 白桃書房 3,672円 (税込) (送料 390円)

◆成績評価基準 平常点(授業への参加態度・発言) 30%, 筆記試験 70%

◆授業相談(連絡先)：

◆特別活動の意義と指導について考える

〔特別活動の研究／特別活動論〕

開講単位：2単位 担当者：関川 悅雄

◆学修到達目標 学校教育における教科外活動について、その教育課程上の位置づけや教育的意義を基本的に理解し、その上で現行の学習指導要領における特別活動、すなわち学級活動・生徒会活動・学校行事などの各目標・内容・指導法について体験的に理解できるようにすることを目標とする。

◆授業方法 テキストを中心とした講義形式で行う。随時、リポートを課す。なお、少人数の受講者数であれば、ゼミ形式で行うこともある。

◆準備学修 受講者が学校教育の中で教科学習以外に、どんな楽しい活動—学校行事・部活動などを体験したかを想起し、それが自分自身にとってどのような意味や人生上の潤いをもっていたのかを考えてよう。その気持ちでテキストに一通り目を通して下さい。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス。課外活動の体験に関するアンケート調査とその集計分析。教育課程の意味と定義。教育課程と課外活動の関係
2日目	課外活動における教育的価値の認められた実例①—遠足・運動会・学芸会。課外活動における教育的価値の認められた実例②—相談会・課程外指導・修練課程など。課外活動の教育課程化とその条件。自由研究の新設とその後の特別活動成立の歩み。
3日目	2008年の学習指導要領の改訂と施行。特別活動の改訂と目標。学級活動・生徒会活動・学校行事の各目標・内容・指導法など。まとめ試験

◆教科書 **通材『特別活動の研究 0942／特別活動論 0943』** 通信教育教材 (教材コード 000443) 2,550円 (送料込)

<この教材は市販の『最新 特別活動の研究』関川悦雄著(啓明出版)と同一です>

◆参考書 授業時にあれば指示する。

◆成績評価基準 リポート作成(30%)・授業内試験(70%)の総合的評価。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆転換期の産業と経済を考える

〔経済地理学〕

開講単位：2単位 担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 経済のサービス化・ハイテク化が進行している産業の立地展開について解説をする。グローバル化の進展が続いている。国内産業の空洞化も進行している。アジア諸国の経済力が増加しつつある現在、国際的・国内的にも空間的な経済格差が問題となっている。この点に言及してみたい。経済の成熟化の観点から論じてみる。

◆授業方法 講義方式。専門科目なので上記の産業・経済の動向は既に了解しているという前提で講義を進める。したがって、教科書の進行は早い。

◆準備学修 中華人民共和国が日本を抜いて世界で GDP 2位となった。先進資本主義諸国は BRICs への投資や資本の参入を進めている。産業の流動化である。経済情報の収集に注意を払い、最新の情報と経済の動向に注目すべきである。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	『経済地理テキスト』。I. 経済地理学の意義と定義について。成熟社会について。I. 第1章—第3章。
2日目	I. サービス化・情報化社会の定義について。I. 第3章—I. 第4章。
3日目	サービス化・情報化社会の定義（後半）。ソフト化・ハイテク化の定義について。II. 第4章—第5章。試験。

◆教科書 通材『経済地理 0973 / 経済地理学 0974』通信教育教材（教材コード 000233）2,000 円（送料込）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験：100%。ただし、授業は毎回出席することを前提とする。

◆授業相談（連絡先）：授業終了前 15 分間を充当する。または、オフィスアワーで受け付ける。

◆大地の歴史を探る

〔自然地理学概論〕

開講単位：2単位 担当者：柴原 俊昭

◆学修到達目標 人間社会をとりまく自然環境を構成する要素にはさまざまなものがある。ここでは、その中から人間の生活舞台となっている土地に注目し、土地の形成や日本列島の地形特徴などについて学んでいく。

◆授業方法 前半は配布プリントをもとに講義形式で行い、後半は地形図読図などの演習を取り入れていく。地形図読図では色エンピツ（赤色、橙色、黄色、水色、青色）を使用するため、必ず持参してください。

◆準備学修 高校の教科書「新詳地理B」（帝国書院）1章自然環境と生活 1節生活舞台としての地形 2節世界の地形および、「詳解地理B」（二宮書店）第1章自然環境第1節地形からみた世界など高校の教科書を読んでおくこと。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	地理学の定義・目的／プレート運動と日本列島の特徴 1. 変動帯のタイプ 2. プレート分布と日本列島の特徴 3. 火山活動—マグマの性質と火山地形 4. 地震現象と活断層 5. 断層地形（演習：地形図から断層抽出）
2日目	日本列島の地形特徴 1. 日本の山地 2. 日本の河川 3. 日本の平野 4. 日本の海岸 土地の形成を考える 1. 氷河性海面変動 2. 台地の形成 3. 低地の形成
3日目	平野の地形の形成とその特徴 1. 扇状地 2. 自然堤防・後背低地など 3. その他の地形（演習：地形図の土地利用などの色塗り） 4. 空中写真判読 5. 試験

◆教科書 教科書は使用しない。当日資料配付 必要に応じて当日プリントを配布する。

◆参考書 通材『自然地理学概論 0977』通信教育教材（教材コード 000236）2,600 円（送料込）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に評価する。評価方法は試験（70%）、地形図演習などの提出物（30%）の総合点で評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆求められる指導力とは

〔国語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：品川 利幸

◆学修到達目標 「求められる指導力とは」をテーマに、関係法規を照合しつつ『国語科教育法Ⅱ』などに説かれる内容を、具体的に『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。春期は初日の理論を基に2日目から模擬授業を取り入れ、具体的な展開例から議論を重ね、指導法の適否について論じることとする。学習指導の実際を想定した具体的な内容から国語科教師として求められる指導力について確認していく。また、教育実習を想定した取り組みについても取り上げたい。

◆授業方法 理論面として巻末の「学習指導要領」などから国語教育の実際にについて把握する。併せて学習計画、学習指導案の実際にについて考察する。『国語総合』に於ける各ジャンルの指導を現場に即応した内容を基軸に、国語科指導の核となる、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの事柄を確認して行きたい。具体的には、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その適否について議論を重ね考察を加える。

◆準備学修 事前課題として『国語総合』192頁～193頁「児のそら寝」を2時間で配当する前提で、本時を第1時間目とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、2日目から取り上げる『国語総合』教科書の各ジャンル教材の指導法について割り当てられた6作品の展開例を考え、各回毎の学習指導案の作成など模擬授業に対応して欲しい。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(1) ガイダンス・国語科教育の目標 (2) 学習指導要領の歴史と課題 (3) 学習計画・年間計画の立案、学習指導案の作成について (4) 古典授業の展開例 (ビデオ視聴) (5) 教育実習を想定して
2日目	(1) 現代文 評論文「水の東西」の展開 (2) 古文教材 徒然草「龜山殿の御池に」 (3) 漢文教材 漢詩「香炉峰下新ト山居～」 (4) 現代文短歌・俳句教材 大岡 信「折々のうた」 (5) 現代文の指導について (6) 事前課題「児のそら寝」指導案の検討
3日目	(1) 古文教材の指導 伊勢物語「芥川」 (2) 漢文教材の指導 十八史略より「死諸葛走生仲達」 (3) 文語文法と訓点・訓読、句型の指導について (4) 教材開発 (ビデオ視聴) (5) まとめテスト (60分)

◆教科書 通材『国語科教育法Ⅱ 0992』通信教育教材 (教材コード 000444) 3,100円 (送料込)

〈この教科書は市販の『新訂 国語科教育学の基礎』森田信義、山元隆春 (渋水社) と同一です〉

丸沼 高校1年教科書『国語総合』(教育出版 17教出 国総309)

※価格及び送料については受講許可通知書同封文書でお知らせします。

◆参考書 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提に、受講状況(30%)、提出物(20%)、試験(50%)により総合的に評価します。

◆授業相談(連絡先)：

◆新しい英語教員をめざして

〔英語科教育法Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：市川 泰弘

◆学修到達目標 本講義では英語を教える目的を見据え、日本の英語教育の現状を踏まえながらさまざまな角度から英語教育の目標と課題を学習していきます。

◆授業方法 グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆準備学修 講義では事前に学習し、理解した内容に踏まえ、新たな資料等を用いて、テーマディスカッションをしてもらうことになります。従って、教科書は事前にそれぞれのテーマに関わる部分を読み、自分でまとめてみてください。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	オリエンテーション、英語教育の目的とは：英語教育の目的・練習方法／教材、教育機器 Listening：聞くことの指導・Pronunciation：発音の指導・Speaking：話すことの指導・Reading：読むことの指導 テーマディスカッション
2日目	Alphabet/spelling：アルファベット／スペリングの指導・Writing：書くことの指導・Grammar/Vocabulary：文法／語彙をどう教えるか・Integration/Lesson Plan：スキルの統合／レッスンプラン作成 テーマディスカッション
3日目	小学校～高校の英語教育・授業の運営／教育実習に向けて レポート作成 テーマディスカッション

◆教科書 通材『英語科教育法Ⅱ 0997』通信教育教材 (教材コード 000490) 3,200円 (送料込)

〈この教材は、市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会(三修社)と同一です。〉

※講座名は「英語科教育法Ⅰ」ですが、「英語科教育Ⅱ」の教材を使用します。

◆参考書 丸沼『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』 金谷 憲著 大修館書店 1,944円 (税込) (送料 340円)

丸沼 Brown, H.D. "Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (3rd Edition)" Longman 5,227円 (税込) (送料 390円)

◆成績評価基準 受講状況・発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館で学ぶ

〔博物館教育論〕

開講単位：2単位 担当者：岡部 幹彦

◆**学修到達目標** 博物館教育とは何か。教育と学びの意味を探り、博物館教育の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得します。また、各地の博物館における多様な教育・学習活動、学校教育との連携事業などの優れた事例を通じて、様々な手法と博物館ならではの学びやその成果の社会還元などについて学習し、博物館教育の社会的機能を理解し基本的能力を養います。

◆**授業方法** 毎回、資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進めることを基本としますが、積極的な学習とより深い理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求めます。また、各地の博物館で作成・活用されている教育・学習ツールなども用いて実践的に理解を深めます。

◆**準備学修** 館種を異にする身近な博物館施設（美術館を含みます）を訪れ、館案内パンフレットやリーフレット、講座等の案内入手し、少なくとも利用者として博物館を理解しておいてください。また、インターネットなどをを利用して、各地の博物館がどのような教育・学習活動を実施しているか調べてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	《学びの意義と博物館》をテーマに以下の項目を学習します。 博物館の機能と教育。博物館体験の教育的意義。博物館教育の歴史と今日的意義。博物館教育の理念と理論。目標の設定、達成のプロセス、評価の方法と自由な学び。モノ・コトを学ぶ。モノ・コトから学ぶ。利用者・参加者と市民参画。博物館教育の双方向性。
2日目	《博物館教育の実際》をテーマに以下の項目を学習します。 博物館における教育プログラムの開発と実践。教育プログラムの評価方法。各地の事例に学ぶ多様なプログラムと手法。自由な学びの支援と博物館。学習ツールとしての博物館。博物館を学ぶプログラム。
3日目	《地域社会と博物館教育》をテーマに以下の項目を学習します。 博物館と学校教育との連携（博学連携）事業の現状と課題。子どもたちと博物館。生涯学習と博物館。博物館ならではの教育。博物館教育の成果と地域社会。市民の学習活動と博物館。地域アーカイブズ・地域を学ぶ核として。まとめ（博物館教育の可能性と学芸員の果たすべき役割）。試験。

◆**教科書** 使用しない。〔当日資料配付〕授業時に資料プリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『新時代の博物館学』 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版 2,052円（税込）（送料 390円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組みと試験により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京

第4期

日 程	授 業 時 間		備 考
5月24日	土	13:00~18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。
5月25日	日	9:00~16:30	
5月31日	土	13:00~18:30	
6月 1日	日	9:00~16:00 <試験も含む>	

※以下の第4期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意			
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件	
D1	美 術 史	森下 和貴子	0019	美 術 史		1年	D		
D2	英 語 D	桑山 啓子	0041	英 語 I		1年		・ I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III		2年			
			0044	英 語 IV					
D3	英 語 E	上島 美佳	0041	英 語 I		1年		・ I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III		2年			
			0044	英 語 IV					
D4	英 米 文 学 概 説	北原 安治	0086	英米文学概説		条件 参照		・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	
D5	哲 学 基 础 講 読	宮原 琢磨	0091	哲学基礎講読		条件 参照		・ 哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	
D6	民 法 IV	根本 晋一	0135	民 法 IV		2年			
D7	労 働 法	新谷 真人	0171	労 働 法		2年			
D8	漢 文 学 I	丸山 茂	0371	漢 文 学 I		2年			
D9	英 文 法	真野 一雄	0445	英 文 法		条件 参照		・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	
DA	異文化間コミュニケーション概論	岡田 善明	0478	異文化間コミュニケーション概論	×	2年		・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
DB	考 古 学 概 説	野中 和夫	0679	考 古 学 概 説		2年			
DC	経 済 史 総 論 A	飯島 正義	0720	経 済 史 総 論		条件 参照		・ 経済学部のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
DD	財政学総論	野田 裕康	0741	財政学総論	2年		・文理・経済・商学部のみ申込可。	・法学部のみ申込可。
			0742	財政学				
DE	観光事業論	服部 伊人	0897	観光事業論		2年		

注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆名品でたどる日本美術史

〔美術史〕

開講単位：2単位 担当者：森下 和貴子

◆学修到達目標 飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術について学びます。各時代を代表するような彫刻や絵画の名品を取り上げ、作品の技法や様式、作品が生み出された時代背景などを知ることにより、日本美術史の流れを理解することを目的とします。

◆授業方法 講義形式で行います。取り上げた作品が作られた時代の歴史を概説した上で、スライドで作品を映写しながら鑑賞のポイントを解説します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で指摘したポイントを自分自身の目で確認し理解することが重要です。

◆準備学修 飛鳥時代から鎌倉時代までの代表的な彫刻作品や絵画作品を、あらかじめ写真図版で確認しておくことが望ましい。『美術史 0019』(通信教育教材)掲載の図版はいずれも代表的作品です。よく観察しておいて下さい。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

1日目 (土)	日本美術鑑賞のための基礎知識（時代区分、仏像のみかた、用語解説など） 飛鳥時代の歴史と美術（法隆寺釈迦三尊像、中宮寺天寿国繡帳、法隆寺伝救世観音像、法隆寺四天王像など） 白鳳時代の歴史と美術（野中寺弥勒菩薩像、法隆寺伝夢達觀音像、興福寺仏頭、高松塚古墳壁画など）
2日目 (日)	天平時代前期の歴史と美術（法隆寺五重塔塔本塑像、興福寺八部衆像、薬師寺薬師三尊像など） 天平時代盛期の歴史と美術（東大寺法華堂不空羈索観音像、東大寺戒壇院四天王像、正倉院宝物など） 天平時代後期の歴史と美術（唐招提寺鑑真和上像、聖林寺十一面観音像、唐招提寺金堂盧舍那仏像など）
3日目 (土)	平安時代前期の歴史と美術（神護寺薬師如来像、東寺講堂梵天像、仁和寺阿弥陀三尊像など） 平安時代後期の歴史と彫刻作品（同聚院不動明王像、平等院阿弥陀如来像、平等院雲中供養菩薩像など） 平安時代後期の絵画作品（源氏物語絵巻、平家納経、信貴山縁起絵巻、伴大納言絵巻など）
4日目 (日)	鎌倉時代の歴史と彫刻作品（興福寺無著像、金剛峰寺八大童子像、西大寺觀音像など） 鎌倉時代の絵画作品（一遍聖絵、建長寺蘭溪道隆像、神護寺源頼朝像、高山寺明惠上人像など） 南北朝時代以降の日本美術史の流れ

◆教科書 〔当日資料配付〕当日プリント配布。

◆参考書 〔通材〕『美術史 0019』通信教育教材（教材コード 000310）2,500 円（送料込）
<この教材は市販の『カラー版 日本美術史』辻 惟雄監修（美術出版社）と同一です>

◆成績評価基準 4日間を通じて出席することを前提とし、平常点と筆記試験により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆英語の読解力につける

〔英語 D〕

開講単位：1単位 担当者：桑山 啓子

◆学修到達目標 今までに養成した英語の読解力をさらに高めるのを目的とする。

一文ずつ正確に英文を読むのと同時に英文全体で著者がどのようなことを言いたいのかを考えることが出来るようになるのを目標とする。

◆授業方法 授業は演習形式で行う。履修した学生全員が英文を音読して和訳する。その後で間違ったところや難しい英文を解説する。また内容を深くとらえなくてはならないところは著者がどのような問題を読者に出しているのか、著者がどのような意味でその文を書いたのか、等を考える。授業の中で予習状況をチェックする小テスト、復習の小テストを行う予定。

◆準備学修 テキストは一般的の書店でも注文すれば購入できるので手に入れた後で「授業計画」に指定された箇所は必ず予習をしておくこと。分からぬ単語を辞書で良く調べ、英文を一文ずつ和訳しておくこと。CDが付いているので1回は聴いて音読してほしい。授業の中で予習をどのくらいしてあるのかチェックするので予習は必ずしておくこと。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

1日目 (土)	ガイダンス Unit 01 ~ Unit 02 : 本文の和訳・文法的なことの説明・その他 / Exercises C,D,A,B
2日目 (日)	(午前) 第1日目の復習 / Unit 03 ~ Unit 04 : 本文の和訳・文法的なことの説明・その他 / Exercises (午後) Unit 04 / Unit 06 ~ Unit 07 本文の和訳・文法的なことの説明・その他 / Exercises C,D,A,B
3日目 (土)	Unit 06 ~ Unit 07 の復習 / Unit 08 : 本文の和訳・文法的なことの説明・その他 / Exercises
4日目 (日)	(午前) Unit 09 : 本文の和訳・文法的なことの説明・その他 / Exercises (unit 10 : 予備一時間があれば unit 10 の本文を読む) (午後) 総まとめ、質問受け付け、試験

◆教科書 〔丸沼〕『Cross Stream』 松尾秀樹・藤本温・森下浩二・Stephen E. Rife 共著 三修社 2,052 円（税込）
(送料 260 円)

◆参考書 〔丸沼〕『英文法解説』 江川泰一郎著 金子書房 1,836 円（税込）(送料 390 円)

◆成績評価基準 授業内の発表（30%）、平常点（授業内小テスト、予習確認小テストなど）（20%）、試験（50%）
毎回出席することを前提として、上記の項目を総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：授業中の質問の時間、休み時間、授業後に質問を受け付けます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆エミリー・ブロンテの『嵐が丘』を読む

〔英語 E〕

開講単位：1単位 担当者：上島 美佳

◆学修到達目標 英国十九世紀の女性作家、エミリー・ブロンテの『嵐が丘』を読みます。精読することによって読解力を身につけます。また、作品のDVDを鑑賞することによって、当時の生活、社会を理解すること、及び内容把握に役立てます。

◆授業方法 演習形式で行います。分担を決め、音読・和訳をしてもらいます。必要に応じて、解説を加えます。

辞書は必ず各自で用意してください。
受講者の様子を見ながら進行します。

◆準備学修 事前に郵送されたプリントについては、訳しておいてください。（1日目に使いますので、持参してください。）テキストはこちらで当日配布いたします。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	・ガイダンス ・テキスト講読・発表 ・解説
2日目 (日)	・テキスト講読・発表 ・解説 ・DVD鑑賞
3日目 (土)	・テキスト講読・発表 ・解説
4日目 (日)	・テキスト講読・発表・解説 ・まとめ ・試験

◆教科書 事前資料送付（当日資料配付）事前及び当日にプリントを配布いたします。

◆参考書 英和辞書（電子辞書可）を必ず持参して下さい。

◆成績評価基準 受講状況・発表・試験により、総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆シェイクスピアの基本を学ぶ

〔英米文学概説〕

開講単位：2単位 担当者：北原 安治

◆学修到達目標 シェイクスピアの基本理解。シェイクスピアの作品に親しみ、時代背景や文化などを総合的に学習する。

◆授業方法 通信のテキストを使い、シェイクスピアの章（pp.163～199）を解説しながら進めていくが目安としてpp.163～177まで読めば良いと思う。尚最後の部分の『アントニーとクレオパトラ』は省略の予定。その代わり代表作『ハムレット』を併読する。優しい現代英語に書き直したものではなく原典を読む。『ハムレット』は講義中にプリント配布予定。『ハムレット』は通信のテキストと関係のあるところを読む。

◆準備学修 四大悲劇の『ハムレット』『リア王』『マクベス』『オセロ』はどの翻訳本でも良いので読んでおくこと。新訳は角川文庫の河合祥一郎の訳本である。ビデオ、DVD、パソコンからの映像を使い、当時の劇場や、衣装などを見せる。500円のDVDで『ハムレット』が出ているので参考にすればよい。またケネス・ブランバーの1996年2枚組のDVD『ハムレット』は完全版なのでおすすめ。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	通信のテキストのシェイクスピアの章
2日目 (日)	通信のテキストのシェイクスピアの章
3日目 (土)	通信のテキストのシェイクスピアの章
4日目 (日)	通信のテキストのシェイクスピアの章および筆記試験（持ち込み無し）。

◆教科書 通材『英米文学概説 0086』 通信教育教材（教材コード 000041）2,750円（送料込）

〈この教材は市販の『英文学入門 English Literature』L.D. ラーナー著（英宝社）と同一です〉

◆参考書 (講義では使いません)

『シェイクスピア遊学』小田島雄志著 白水社

『英文学をどう読むか』（1969年）L.D. ラーナー（著）、深瀬 基寛（翻訳） 英宝社

〈上記の本は絶版のため、図書館等を利用して下さい〉

◆成績評価基準 小テストなどの総合評価。試験は英文和訳や論述などを混ぜたものになる予定。辞書やノートの参照はできません。皆出席すること。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆デカルトとアルノーを読む

〔哲学基礎講読〕

開講単位：2単位 担当者：宮原 琢磨

◆学修到達目標 デカルトとアルノーの主要テクストの講読を通じて「近代ヨーロッパの合理的思考法がどのように成立したか」を考える。

◆授業方法 デカルトの『方法序説』・『省察』とアルノーの『論理学、別名思考の技法』を講読することによって「近代ヨーロッパの合理的思考法」の特質を理解する。またアルノーがデカルトの問題点をどのように克服したのかを考察する。

◆準備学修 上述のテクストを予め予習しておく。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	I. デカルト『方法序説』『省察』の講読を通じて、デカルトの思考法を理解する。 II. デカルトの思考法の特質と問題点を明らかにする。
2日目 (日)	デカルトとアルノーの論争。デカルトの『方法序説』『省察』をめぐるアルノーの反論とデカルトの答弁をテクストによって理解し、両者の対立点について討議する。
3日目 (土)	I. 前回の授業内容の再検討と反省 II. アルノー『論理学、別名思考の技法』の読解と討議。
4日目 (日)	I. 前回の授業内容の再検討と反省 II. 『論理学、別名思考の技法』第4部の方法論のテクスト読解と討議。 アルノーの思考法の歴史的意義についての討議。 III. 全授業の総括。

◆教科書 通材『哲学基礎講読 0091』通信教育教材（教材コード 000042）3,650円（送料込）

〔丸沼〕『方法序説』デカルト 岩波文庫 518円（税込）（送料 260円）

〔丸沼〕『省察』デカルト ちくま学芸文庫 1,080円（税込）（送料 260円）

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 提出レポートと平常点の総合評価

◆授業相談（連絡先）：

◆債権各論の体系と基本論点

〔民法IV〕

開講単位：2単位 担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 1 民法学における債権各論の体系的な位置付を理解する。

2 債権各論の体系（全体像）を理解する。

3 1. 2. の理解・修得を前提として、債権各論に関する基本論点を理解する。

◆授業方法 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡その目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「民法IV」スク2単位+根本「民法IV」スク2単位=「民法IV」1科目（4単位）完成は不可である。

◆準備学修 前回講義における板書事項を、しっかりと読み直していくこと。それが本講義における予習であり、準備学修である。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	民法の全体像（民法と広義の商法・財産法と家族法）・財産法の概要（物権法と債権法） ・契約総論の体系と基本論点
2日目 (日)	契約総論の体系と基本論点・契約各論の体系と基本論点（主に典型契約・非典型契約）
3日目 (土)	契約各論の体系と基本論点（主に事務管理・不当利得・不法行為）
4日目 (日)	契約各論の体系と基本論点（主に事務管理・不当利得・不法行為）・調整と補遺・筆記試験（ただし、レポート試験の場合には実施しない）

◆教科書 指定しない。

◆参考書 通材『民法IV 0135』通信教育教材（教材コード 000355）2,800円（送料込）

〔丸沼〕『じつは身近な債権法―知って得する！ 契約、損害賠償制度 etc…の「基礎知識」』山川一陽著 日本加除出版株式会社 3,456円（税込）（送料 340円）

◆成績評価基準 筆記試験またはレポートの成績（80%）・授業態度等（20%）を、総合的に考慮する。

◆授業相談（連絡先）：オフィス・アワーの時間に研究室まで来てください。ただし、先着の学生がいる場合など、お待ちいただくことや、機会をあらためる場合がありますので、ご了承ください。なお、質問票を利用していただいても構いません。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆職場の法的ルールを学ぼう

〔労働法〕

開講単位：2単位 担当者：新谷 真人

◆学修到達目標 労働法は、生まれながらにして労働者保護を目的とした法律である。しかし、現実の労使関係においては、賃金未払い、長時間労働、不当な解雇などのトラブルが絶えない。本講義では、労働法の基礎を学ぶことによって、労使双方が守るべき労働法のルールを理解することを目標とする。労働契約法、労働者派遣法、高年法などの最新の改正の動向についても言及したい。

◆授業方法 労働法は、労働基準法を中心とする個別の労働法と、労働組合法を主体とした集団的労働法に分かれる。この両分野を教科書に沿って講義をするが、一部省略する場合がある。授業開始時に新聞記事等の資料を配付する。またDVD等の映像を活用して理解の手助けとする。

◆準備学修 下記の授業計画を参考に、教科書の該当箇所を一読してほしい。関連条文は六法で確認しておく。六法は小型でよいが、2012年に労働契約法などの大きな改正があり、新しいもの用意するのが望ましい。毎年10月に最新版が発売されている。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	①労働法の生成と展開、②労働契約の締結と雇用の成立、③労働基準法と労働条件決定のしくみ
2日目 (日)	④雇用の展開と労働契約、⑤賃金の保護、⑥労働時間、休憩、休日、年次有給休暇
3日目 (土)	⑦労働災害の予防と補償、⑧雇用における男女平等、⑨雇用の終了
4日目 (日)	⑩労働基本権の保障、⑪不当労働行為制度、⑫労働組合の組織と活動、⑬試験

◆教科書 丸沼『労働法』新谷眞人編 弘文堂 2,160円(税込)(送料340円)

◆参考書 丸沼『労働法第2版』林和彦編著 三和書籍 3,672円(税込)(送料390円)
丸沼『労働判例百選第8版』ジャリスト増刊 有斐閣 2,674円(税込)(送料340円)

◆成績評価基準 論述式の試験によって評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆中国古典の世界

〔漢文学I〕

開講単位：2単位 担当者：丸山 茂

◆学修到達目標 漢字で記された中国古典の思想・歴史・文学の名作を漢字1文字の原義を踏まえた上で、語と語の関係や句と句の関係、更には作品全体の構成や対句等の技法へと、1字1句、1文1作品をていねいに解読しながら作者の人の魅力を探り、彼らが生きた時代の文化を理解する方法を修得する。

◆授業方法 「中国文化の特色」「辞書・参考書等の使い方」を概説したあと、発表形式で原文を訓読・解釈する。毎回、随時DVD等の視聴覚教材を用いて「中国古典の世界」を立体的に紹介する。試験は最終日の午前中に実施し、午後に模範解答を提示して4日間の成果を確認する。

◆準備学修 できるだけ早い時期に『史記』『世説新語』『文章軌範』『古文真宝』『唐詩選』『唐詩三百首』等の古くから我が国の先人に親しまれてきた中国古典を最寄りの図書館で探し、各自の好みに合った作品を探しながら多読しておくこと。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	前半 「中国文化の特色」「辞書・参考書等の使い方」「漢文訓読法」について中国・台湾製のDVD教材を用いて概説する。 後半 『論語』『莊子』などの思想や『詩經』などの歴代の名詩を例に簡単な訓読法の練習をする。
2日目 (日)	前半 中国古典詩を読む（孟浩然の「春曉」を読んだあとと李白・杜甫・王維の作風を比較しながら解説。） 後半 中国古典散文を読む（『史記』『世説新語』を中心に歴代の散文を解説。）
3日目 (土)	前半 唐宋八大家を紹介したのち、韓愈・柳宗元や欧阳修・蘇軾の代表作を解説。 後半 日本の古典に大きな影響を与えた白居易に言及したのち、日常生活を知る上で貴重な作品を鑑賞する。
4日目 (日)	前半 筆記試験 後半 模範解答の紹介と4日間のまとめ

◆教科書 通材『漢文学I 0371』通信教育教材（教材コード000437）1,800円(税込)

丸沼『社会人のための漢詩漢文小百科』田部井文雄（主編）大修館 1,080円(税込)(送料340円)

◆参考書 『唐代の文化と詩人の心』丸山茂 池古書院

『中国名文選』岩波新書、『論語』『莊子』『中国名詩選（上・中・下）』岩波文庫ほか

明治書院『新釈漢文大系』、集英社『漢詩大系』、講談社『学術文庫』所収の関連図書。

（※高額図書は必要に応じて図書館で必要箇所をコピー。文庫や新書を古書店で探すことも準備学習として評価する。）

◆成績評価基準 ①毎時間5～10分程度で課した小論文30%、②発表・質疑などの積極性10%、③最終日午前中の筆記試験60%を総合して評価。

◆授業相談（連絡先）：【注意】必ず「タイトル」と「通信・氏名」を明記し、パソコンで送信すること。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英文法をより深く

〔英文法〕

開講単位：2単位 担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文学専攻の学生として必要な英文法知識を全般的により深く修得します。

◆授業方法 原則、3回の授業で1章を見ていきます。

テキスト本文の解説、補足説明を行います。設問、練習問題、応用問題も行います。必要に応じて別途、練習問題を行うこともあります。

◆準備学修 毎回、テキストを読み、練習問題の解答を用意しておいてください。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	第1章 基本文型
2日目 (日)	第2章 文の構造 第3章 動詞
3日目 (土)	第4章 否定 第5章 助動詞
4日目 (日)	第6章 受動文 試験

◆教科書 丸沼『大学生のための現代英文法』開拓社 2,376円(税込)(送料340円)

◆参考書 丸沼『現代英文法講義』安藤貞雄 開拓社 7,128円(税込)(送料500円)

◆成績評価基準 試験(100%)で評価します(試験は途中退出なしです)。毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談(連絡先)：

◆異文化における深層精神の英語理解 〔異文化間コミュニケーション概論〕

開講単位：2単位 担当者：岡田 善明

◆学修到達目標 英語による異文化間コミュニケーション能力を身に着けるために、日本文化を再確認し、宗教や風習の違いからくる英語における精神文化との違いを学び、国際的に活躍するための英語運用能力を養う。

◆授業方法 ワークシートを用いて、グループでワークシートの内容を英語で討論し、その内容をグループごとに英語で発表し、異文化間コミュニケーションに必要な知識と能力を学び取る。また英語スピーチにより生きた英語運用能力を身に着ける。

◆準備学修 事前に郵送されるワークシートの問題にテキストを読んで英語で答えを準備して臨む。またテキストの各章のExerciseも事前に予習しておく。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	Orientation for intercultural communication 討論1. Cultural Patterns 討論3. Politics	討論2. Religion
2日目 (日)	討論4. Authority 討論6. Sexual Issues	討論5. Diversity 討論5. Housing
3日目 (土)	討論6. Shopping and Business 討論8. The New Student	討論7. The New Family
4日目 (日)	英語によるスピーチ 試験	

◆教科書 通材『異文化間コミュニケーション概論 0478』通信教育教材(教材コード000415)2,400円(送料込)
<この教材は市販の『Exploring Hidden Culture 日本とアメリカ深層文化へのアプローチ』(金星堂)と同一です>◆参考書 丸沼『英語教育の精神と実践』岡田善明著 春風社 1,944円(税込)(送料340円)
(特に10章「異文化理解と言語精神文化の指導」参照)

◆成績評価基準 英語によるスピーチと試験で評価する。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆考古資料と文字資料との接点を探る

【考古学概説】

開講単位：2単位 担当者：野中 和夫

◆学修到達目標 「魏志倭人伝」から古代の金石文資料を取上げ、まずは文字資料を読む。その上で、時代背景を考えながら考古資料とを対比し、史実の追及の方法を学ぶ。

◆授業方法 講義形式。理解を深めるために東京国立博物館の資料を見学する予定。

◆準備学修 弥生時代末から古代にかけての概要について、参考書などをを利用して目を通しておくこと。

◆授業計画 [1日目・3日目：各300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目 (土)	「魏志倭人伝」の概要を説明し、その上で史料を読み考古資料と照会する。文献史料と考古資料との整合性と限界性を学ぶ。
2日目 (日)	引き続き史料を読み考古資料と照会する。弥生時代の集落の特徴や鏡についても学ぶ。埼玉稻荷山古墳の概要について説明。
3日目 (土)	埼玉稻荷山古墳出土の金象嵌鉄剣の銘文を読み、時代背景を交えて理解する。同列上の熊本県江田船山古墳出土の銀象嵌太刀や千葉県稻荷台1号墳出土資料とも比較・検討を行う。また、副葬品についても特徴を考える。
4日目 (日)	川崎市影向寺跡出土の「无射志国荏原評」銘古瓦について、資料のもつ製作技法上の特徴を指摘するとともに、国評の文字が使用された歴史的背景を考え、あわせて出土状況等にも触れる。 東京国立博物館で金石文資料を見学する予定。

◆教科書 教科書は使用せず。〔当日資料配付〕プリント配布

◆参考書 〔丸沼〕『川崎・たちばなの古代史—寺院・郡衛・古墳から探る』 村田文夫 有隣新書 1,080円（税込）（送料260円）
〔丸沼〕『同型鏡とワカタケル』 川西宏幸 同成社 10,260円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 平常点30%, 試験70%

◆授業相談（連絡先）：

◆前近代の経済社会—封建制から資本制へ

【経済史総論 A】

開講単位：2単位 担当者：飯島 正義

◆学修到達目標 講義では、近代資本制社会に先立つ原始社会・貢納制社会・奴隸制社会についても簡単に学んでいくが、特に西欧の封建制社会から資本制社会への移行期について重点的に学んでいきます。西欧の封建制社会から資本制社会への移行について理解を深めていくことを目標とします。

◆授業方法 講義形式。当日配布するプリントを中心に授業を進めていくが、授業時における理解を確認するために「確認プリント」を何回か実施する予定である。

◆準備学修 通信教育部のテキストをはじめ、高校の「世界史」の参考書なども含めて他の書籍で予め関係するところを読んでおくと授業の理解が一層深まると思われる。

◆授業計画 [1日目・3日目：各300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目 (土)	・経済史分析の視角と方法 ・前近代社会（原始社会・貢納制社会・奴隸制社会・封建制社会） *経済史分析の方法と前近代社会の特徴について学びます。
2日目 (日)	・西欧封建社会の形成 ・中世ヨーロッパにおける農業・土地制度 ・中世都市と遠隔地貿易 *西欧封建社会の経済構造について学びます。
3日目 (土)	・十字軍の遠征と遠隔地貿易の発展 ・地理上の発展と商業革命・価格革命 *西欧封建社会の経済構造の変容について学んでいきます。
4日目 (日)	・絶対王政と市民革命 ・産業革命 ・筆記試験 *資本主義の成立過程について学んでいきます。

◆教科書 〔当日資料配付〕授業時にプリントを配布します。

◆参考書 授業時に随時紹介します。

◆成績評価基準 平常点（取り組み、確認プリント等）：30%, 筆記試験：70%

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆政府の経済活動を考える

〔財政学総論〕

開講単位：2単位 担当者：野田 裕康

◆学修到達目標 財政学の歴史、理論、政策の各局面について総論的に理解できるようになることを目的とする。すなわち、スミス、ワーグナー、ケインズ、マスグレイブによる財政学の歴史的な意義を知り、基礎的な財政理論としてIS/LM分析の意味と、財政政策による経済上の効果を習得し、我が国の歳入としての租税・公債制度、及び歳出としての予算編成を正確に把握できるようになることが目標である。

◆授業方法 基本的に講義形式により、時限毎にテーマを定めた授業を進めていくが、受講者の関心や現状の財政政策の動向も適宜取り入れ、多角的な学習を心がけたい。また、必要に応じて財務省などの公表資料に基づいた最新の情報やデータも適宜配布して行く予定である。

◆準備学修 政府の経済活動たる財政学は、多様な関心を有する国民のあらゆる視点からの関連づけが可能である。我が国の財政政策の理解においては各府省のホームページなども事前に積極的に利用されたい。また、授業時に配布した資料や講義ノートから敷衍して、自分に合った財政学のテキストを復習用として参照しておくこと。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	財政学の意義、財政の3機能、古典学派、重商主義と自由主義。 ※まず、財政学の社会科学における意義とその機能を基本から学び、今日の財政学の役割を理解する。 続いて、財政学の歴史的な生成・発展段階を重商主義から考察していく。
2日目 (日)	歴史学派と帝国主義、市場の失敗と公共財、フィスカルポリシーと財政政策の理論。 ※財政学の歴史的な発展段階と、今日の財政学の世界的な特徴を学び、その基礎となる国民所得の決定理論をサミュエルソンの45度分析から理解する。
3日目 (土)	IS曲線の導出とLM曲線の導出、流動性の罠とクラウディングアウト。 ※ケインズ財政学の伝統的な基礎理論として、IS/LM分析を用いて財政政策と金融政策の効果を数学的、視覚的に理解する。
4日目 (日)	予算機能、予算原則、一般会計、補正予算、プライマリーバランス、予算循環。 ※予算の持つ意義や日本の予算策定の問題点を具体的に指摘しつつ、歳入における租税制度と公債制度、及び、歳出におけるスリム化や財政再建と東日本大震災後の日本財政の現状について学ぶ。

◆教科書 特に使用しない。〔当日資料配付〕授業で用いる資料がある場合には当日配布する。

◆参考書 特に使用しない。〔当日資料配付〕授業で用いる資料がある場合には当日配布する。

◆成績評価基準 最終試験 50%，授業中のミニテスト（3回）30%，平常点 20%の割合で、毎回出席を前提として評価する。

◆授業相談（連絡先）：授業終了時に教壇で質問を受ける。

◆観光と地域の活性化

〔観光事業論〕

開講単位：2単位 担当者：服部 伊人

◆学修到達目標 地域の活性化策として観光振興が注目されている。そこには観光によって地域への交流人口を増やすことにねらいがある。そのためには適切な誘客戦略が求められる。しかし観光者の多様化した志向、流行の変化の激しさ、情報機器の普及によるメディアの影響力の大きさを考えると観光者を操作することは簡単ではない。いすれにせよ訪れたい地域として選択されるためには観光的な魅力が必要であり、そのための観光戦略の立案ができる一歩を目指す。

◆授業方法 この授業は講義形式で行います。観光事業は、人々の観光行動および社会の観光活動を支援し活発にするための種々の行為便益を組織的・継続的に提供するのが目的である。本講義では、まず観光の基礎知識や形態の変化、観光の人間や社会への効果や影響、国や自治体の観光政策の変化を学び、観光の発展を導く観光産業について学ぶ。さらに観光立国を目指して観光振興はますます重要なテーマとなっており、地域の具体的な観光戦略について学ぶ。

◆準備学修 2004年の「観光立国宣言」以降、観光による地域おこしが全国各地で進められている。その地域おこしも限られた予算のもとで行われており舵取りはなかなか厳しく、そのため地域の自己分析、他地域との差別化、誘客戦略などによる客観的な判断が必要である。その地域おこしや観光まちづくりでは住民の主体的な取り組みが求められている。ご自身の居住する地域の地域おこしや観光まちづくりについて資料を収集して現状と課題を事前に整理しておく。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	観光とは、観光の効果、観光の歴史、観光政策と観光行政、観光のしくみ、観光資源と観光対象 ※観光の語源や意味と観光に関わる言葉の理解、観光が学問の対象とされる観光が人間や社会の様々な面への効果、わが国の観光の変遷と観光政策・観光行政の仕組みについて理解、観光の構成要素や観光事業の意味・しくみについて理解、観光資源・観光施設について学ぶ。
2日目 (日)	観光ビジネスの意義・特性、観光ビジネスの機能・種類、旅行業・旅行業とは、旅行業の商品と形態、宿泊業・宿泊業の歴史と発展、宿泊業の種類 ※観光ビジネスの概念を説明し、観光の発展を導く観光ビジネスの領域、現状と課題を学ぶ。観光ビジネスの代表である旅行業の役割や提供する商品、地域との関わりを学ぶ、宿泊業では宿泊施設の機能や業務を学ぶ。
3日目 (土)	交通業・鉄道・自動車・バス・飛行機、イベント・コンベンション業・イベント・コンベンションとは・MICE市場、土産品業 ※交通手段の発達が旅行や観光地に与える効果、観光交通ビジネスの特性などを学ぶ、イベント・コンベンションの意義や文化社会的、経済的効果、MICE市場の意義などを学ぶ、土産品生産・販売の特性や開発を学ぶ。
4日目 (日)	地域活性化の核としての観光振興、観光振興の方向性、観光振興戦略・観光地戦略 ※地域活性化のための観光振興とは何か、観光振興の主体・目的・方法・手段、また観光振興の方向性、観光振興戦略などについて事例を解説しながら学んでいく。

◆教科書 使用しない。

◆参考書 指定しない。

◆成績評価基準 授業への取り組み・テストにより総合評価します。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の授業時に伝える。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京	日 程	授業時間	備 考
第5期	6月14日 土	13:00~18:30	
	6月15日 日	9:00~16:30	
	6月21日 土	13:00~18:30	
	6月22日 日	9:00~16:00 <試験も含む>	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。 ※「体育実技」は授 業時間及び会場が 異なります。本誌 6ページを参照し てください。

※以下の第5期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
E1	経済学	田村 和彦	0024	経済学		1年		
E2	英語 F	八木 茂那子	0041	英語 I		1年	・ I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英語 II		1年		
			0043	英語 III		2年		
			0044	英語 IV		2年		
E3	英語 G	中村 則子	0041	英語 I		1年	・ I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英語 II		1年		
			0043	英語 III		2年		
			0044	英語 IV		2年		
E4	考古学入門	山本 孝文	0098	考古学入門		条件参照		・史学専攻のみ1学年申込可。 ・その他は2学年申込可。
E5	民事訴訟法 B	小田 司	0160	民事訴訟法		2年		
E6	地方自治論 A	代田 剛彦	0226	地方自治論		2年		
E7	国語学講義	加藤 陽子	0314	国語学講義		2年		
E8	イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子	0411	イギリス文学史 I		条件参照		・英文学専攻のみ1学年申込可。 ・その他は2学年申込可。
E9	西洋思想史 I	杉山 晃太郎	0511	西洋思想史 I		条件参照		・哲学専攻のみ1学年申込可。 ・その他は2学年申込可。
EA	金融論	谷川 孝美	0746	金融論		2年		
EB	貨幣経済論	続橋 孝行	0747	貨幣経済論		2年		
EC	保険総論	蟻川 滋	0825	保険総論		2年		
ED	簿記論 I	林 徳順	0854	簿記論 I		条件参照		・商学部のみ1学年申込可。 ・その他は2学年申込可。
EE	道徳教育の研究／道徳教育の理論と方法	杉森 知也	0940	道徳教育の理論と方法		×	2年	・本誌4ページを参照。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
			0941	道徳教育の研究				

注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
EF	英語科教育法Ⅳ	岡田 善明	0962	英語科教育法Ⅳ	×	2年		・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
EG	体育実技	吉本 俊明	0077	体育実技Ⅰ	×	1年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
			0078	体育実技Ⅱ				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆経済学【マクロ】

【経済学】

開講単位：2単位 担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 経済に関する知識は日常生活に不可欠となっている。経済について考えるための基礎知識を提示する。各自、経済ニュースには関心を持ってこの講義に臨んで欲しい。経済のグローバル化が進行し、アジア諸国の経済発展が著しい。同時に、国内的には経済における格差が大きな問題となっている。この点に言及してみたい。国民所得の観点からこれらの諸問題を考えてみたい。

◆授業方法 *この講座は田村和彦師「経済学 ミクロ」と積み重ね受講ができます。ただし、「経済学 マクロ」との積み重ね受講はできません。

◆準備学修 各自、現在の経済事象に関心を持ち、各種メディアから情報を収集すること。テキスト以外にも言及する。

◆授業計画 [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目 (土)	イントロダクション 経済学とは何か
2日目 (日)	現代資本主義経済とは何か
3日目 (土)	国民所得概念について
4日目 (日)	国民所得の決定 ケインズ経済学的手法 試験

◆教科書 丸沼『経済学』瀬川浩・田村和彦共著 桜門書房出版部 3,024円（税込）（送料340円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験（100%）ただし、授業は毎回出席することを前提とする。

◆授業相談（連絡先）：授業終了前15分間を充当する。または、オフィスアワーにて受け付ける。

◆楽しくエッセイを読んでリーディング力をアップさせましょう [英語 F]

開講単位：1単位 担当者：八木 茂那子

◆学修到達目標 初中級レベルにある対象者の読解力向上を図ることを学習目標とします。

平易な英文で書かれた読み物を後戻りせずに文脈に沿って読む主にSlush ReadingやSkimming, Scanningといった速読スキルトレーニングにより英文を読むスピード力アップに勤める。

◆授業方法 ユニットごとにやや易しめの英文を速読し、語彙チェックと内容理解を図ります。次にCDによるリスニングの演習、でトピックセンテンスの把握、スキミングなどの練習を通して英語の文章構造パターンを学習、理解を深めるタスクを行います。できるだけ多くpair workやgroup activityの時間をつくり楽しく学習を進めたいと思います。

◆準備学修 短期集中講座のため一回に進む進度が速いので各回の学習範囲の下調べをしっかりやって来て下さい。準備学修としては1. CDチェック（テキストは見ない）でCDを聴き、大まかな内容を掴む。2. Notesを参考に本文を默読する。未知語は意味の見当をつけてから辞書を引く。3. Practiceの問題を2度解く。（1度目は参照物無しで、2度目はペンの色を変え、辞書や文法書など、参照物を使って問題を解きます。）以上を毎回指定された箇所の範囲をやって来て下さい。

◆授業計画 [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目 (土)	Unit 1 A Penguin Story (スージーのペンギン物語) 基本5文型：第1, 2, 3 Unit 2 A Serial Killer (連続殺人事件) 基本5文型：第2, 3, 4, 5 Unit 3 A Genius Dog (天才的な犬) 基本5文型：There is, 第2, 3, 4, 5
2日目 (日)	午前：Unit 4 Food Champ (チャンプ、アイルランドの料理) 命令文、動詞 Unit 5 Different, But The Same (二人のミュージシャンの類似点) 名詞、形容詞、副詞 午後：Unit 6 Comparison Letter (セイシェル Vs. モルディブ) 形容詞、比較級と最上級、比較級の強め Unit 7 Halloween (ハロウイーン) 主述、時制の一一致 Unit 8 Neighbour's Talk (アンと隣人の不思議な話) 時制
3日目 (土)	Unit 9 A Fish Tale (寒い日の魚釣り) 動名詞、to不定詞、分詞 Unit 10 Hurling (ハーリング、アイルランドのスポーツ) to不定詞、動名詞 Unit 11 Sleep (「ねむり」の効用) いろいろな構文 (as ~ as, the same ~ as, it ~ to, not ~ but)
4日目 (日)	午前：Unit 12 Superstition (西洋の迷信) (allow ~ to + 動詞, it ~ to, to不定詞 Unit 13 Valentine's Day (バレンタインデーのはじまり) 時制、受動態 午後：Unit 14 Future Food (未来の食べ物) 助動詞 Unit 15 Jack O'Lantern (ジャックと悪魔) 分詞、助動詞 Review, Oral Test 筆記試験

◆教科書 丸沼『It's Time to Read! (楽しく読んで学ぶ基礎英語)』八木茂那子・町田純子・Siobhan Ryan 共著
(株) 南雲堂 CD付き 1,404円（税込）（送料260円）

◆参考書 中英和辞典（電子辞書可）

◆成績評価基準 筆記試験50%+平常点（提出物、小テスト、発表、Oral Test他）50%による総合評価（受講者のレベルにより調整を加えることがあります。）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語で読む環境や健康について

〔英語 G〕

開講単位：1単位 担当者：中村 則子

◆学修到達目標 環境問題や健康問題について書かれている英文を読むことで、英語の読解力を養い、最終的には各自の専門分野の英語の文献が読めるようにしたい。

◆授業方法 テキストに沿って、本文や演習問題を授業内で発表してもらう。授業では付属のCDで本文の発音等の「読み」を確認しながら進めていく。シラバス通りに進まないことがあるかもしれないことをお断りしておく。

◆準備学修 テキストを入手したら、わからない単語を辞書で調べ、設問の指示に従い、充分に予習しておくこと。授業ではリスニングに関する演習問題も行うので、CDを何度も繰り返し聴いておくこと。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	ガイダンス（授業の進め方、辞書・参考書の紹介、自習について） Unit 1 (Sources of Happiness) Unit 2 (This Is Not In)
2日目 (日)	Unit 2 (This Is Not In) Unit 3 (Plauts as a Source of Health) Unit 4 (The Path to a Healthy Lifestyle)
3日目 (土)	Unit 4 (The Path to a Healthy Lifestyle) Unit 5 (Keep the Brain Young) Unit 6 (Friendship Is Good for…)
4日目 (日)	Unit 6 (Friendship Is Good for…) 復習 テスト

◆教科書 丸沼『Think Positive-Healthy Living in Today's World』 園城寺康子他著 南雲堂 1,836円（税込）
(送料260円)

◆参考書 授業内で指示する。中型の辞書（電子辞書可）は必ず持参すること。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）、テストにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆考古学はどんな学問か

〔考古学入門〕

開講単位：2単位 担当者：山本 孝文

◆学修到達目標 歴史学を学ぶにあたっての一手段であり、また独立分野として位置付けられることもある考古学の研究領域や研究方法の基礎を理解し、学問としての考古学の役割を学ぶ。文献史学との違いを認識し、歴史研究の多様な方法を学ぶ。また、近代学問として考古学が発展してきた経緯を理解する。

◆授業方法 実際の研究・調査例や方法を紹介するとともに、日本を中心とした世界各地の具体的な資料を提示しながら授業を行う。授業は講義形式とし、画像資料を多く用いて説明する。出席カードにより質問を受け付け、質問内容を講義に反映する。

◆準備学修 受講生各自が居住する地域（都道府県や市町村）や近隣地域にどのような遺跡や考古資料展示施設（博物館や資料館など）があるのか調べておく。また、実際に訪れてみると授業の理解の幅が広がる。考古学一般について気になる点、質問事項等を考えておく。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	考古学の研究対象と目的 一何を明らかにするのか 「遺跡学」としての考古学 一何が残されているのか
2日目 (日)	考古学の種類 考古学と発掘調査 一どのようにして資料を集めのか 考古学における資料論 一何を作り、使ったのか
3日目 (土)	考古学による時代区分 一何を基準にした時代か 考古学における年代論 1 一新旧の順序を決める
4日目 (日)	考古学における年代論2 一モノの年代を決める 考古学における年代論3 一モノの年代を測る 試験

◆教科書 使用しない。

◆参考書 授業中に随時紹介する。

◆成績評価基準 試験 70%、質問・課題 20%、受講姿勢など 10%
毎回出席することが前提。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆民事裁判はどのように行われるか

〔民事訴訟法 B〕

開講単位：2単位 担当者：小田 司

◆学修到達目標 民事訴訟の基礎を学ぶための講義です。まず、民事訴訟の全体像について把握した上で、民事訴訟の基本構造と基本理論について理解し、訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの過程、勝訴した際の権利実現の方法（強制執行）などについて、基礎的知識を習得することを目標とします。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、民事訴訟について具体的なイメージが描けるよう、貸金返請求訴訟、売買代金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟、土地・建物明渡請求訴訟など、日常生活と深く関係する紛争事例を用いて進めることにします。

◆準備学修 講義の最後に次回に取り上げる内容を予告しますので、教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習して講義に出席してください。また、次回の講義は前回までの内容が理解できていることを前提としますので、講義で取り上げた事項については、学習内容を振り返り、各自で内容について整理しておかなければなりません。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

1日目 (土)	民事紛争の解決方法、民事訴訟の流れと基本構造（貸金返請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟などを例に）、裁判所（裁判所の構成、裁判管轄）、当事者（当事者能力、訴訟能力、当事者適格） *ここでは、主に民事訴訟以外の紛争解決の方法、民事訴訟の流れとその基本構造、どこの裁判所へ訴えを提起すべきか、という問題などについて学びます。
2日目 (日)	訴訟の審理（本案と訴訟要件、裁判資料の収集など）、口頭弁論（審理の基本原則、当事者の訴訟行為）、証拠調べと証拠調べの手続、証拠の評価（自由心証主義、証明責任） *ここでは、主に民事訴訟の基本原則である处分権主義、弁論主義とはいかなるものか、どのようなものが証拠となるか、誰が証明責任を負わなければならないか、という問題などについて学びます。
3日目 (土)	当事者の行為による訴訟終了（訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解）、終局判決による訴訟終了（判決の種類、判決の成立）、確定判決の効力（既判力の時的限界、既判力の客観的範囲・主観的範囲） *ここでは、主に確定判決の効力について、既判力とは何か、いつの時点を基準にして既判力という効力が生じるのか、何に対して、また誰に対して既判力が生じるのか、という問題について学びます。
4日目 (日)	多数当事者訴訟（共同訴訟、訴訟参加、訴訟承継など）、不服申立手続（控訴、上告、抗告、再審）、略式訴訟手続（少額訴訟手続、督促手続）権利実現の方法（金銭執行、非金銭執行） *ここでは、主に判決に対する不服申立の方法、少額紛争を簡易迅速に処理するための訴訟手続、勝訴判決を得た際の権利実現の方法などについて学びます。

◆教科書 丸沼『民事訴訟法』小田司編 弘文堂 2,376 円（税込）（送料 340 円）

講義には、必ず六法（出版社は問いません）も持参してください。

◆参考書

◆成績評価基準 筆記試験（80%）、受講状況・講義中の発言など（20%）の割合で評価しますが、講義に毎回出席することを前提とします。

◆授業相談（連絡先）：

◆身近なことから自治を考えよう

〔地方自治論 A〕

開講単位：2単位 担当者：代田 剛彦

◆学修到達目標 従来の中央集権的な国・地方の政治・行政の仕組みやその運用の改革が求められ、地方分権改革などの諸改革がなされた。その成果として地方自治論の大幅な改正がある。このことを踏まえ、日本の地方自治制度の歴史、仕組み、機能、課題を通して地方自治を身近なものとして理解できるようにしたい。

◆授業方法 講義形式を基本とするが、必要に応じて資料の配布を予定している。講義中に板書をするのでノートは必ず持参してメモを取るように心がけてください。

◆準備学修 日々の新聞などに取り上げられる自治体に関する記事を注意深く読みましょう。その中から地方自治を考える糸口を発見できるかもしれません。また、参考書の該当箇所をあらかじめ読んでおくと理解を深めることができるでしょう。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分〕

1日目 (土)	地方自治の意義、地方自治と住民生活、日本の地方自治の歴史、地方自治グローバルスタンダードなどを学ぶ。
2日目 (日)	地方自治の本旨（住民自治と団体自治）、自治立法権、自治財政権などを学ぶ。
3日目 (土)	自治体の執行機関、議決機関、首長と地方議会の関係などについて学ぶ。
4日目 (日)	自治体の種類、地方分権改革の背景・成果・課題、市町村合併と道州制などについて学ぶ。

◆教科書 特になし。

◆参考書 通材『地方自治論 0226』通信教育教材（教材コード 000349）1,900 円（送料込）
丸沼『地方自治論』山田光矢・代田剛彦編 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 340 円）

◆成績評価基準 ペーパー試験の成績を基本とし、これに平常点を加味して総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆文章と談話

【国語学講義】

開講単位：2単位 担当者：加藤 陽子

◆学修到達目標 日本語の最大単位である文章と談話について、文章・談話を構成する要素、その構造や機能を学びます。また、文章・談話の中で働く文法規則や、語用論の規則などについて実際の例をもとに検討します。さらに、日本語学習者が書いた文章や日本語学習者が話した談話を観察することにより、普段、日本語を母語とする者が気づかない文章・談話の姿を捉えることを試みます。

◆授業方法 講義が中心となります。討論や、課題についての小発表なども行い、双方向のやりとりを重視します（ただし、受講生の人数により、講義と、討論や発表などの演習的要素との割合を適宜変更します）。教師の発問に対して自発的に回答や発言をすることを求めます。また、受講者同士が自らの語感や言語直観に基づいて意見を述べ、討論によりそれを一般化、深化していくことを希望します。

◆準備学修 下記の参考書を入手し、一読しておくことをすすめます。また、読んで得た知識や気づきに基づき、自らの、レポートやメールなどの日々の文章の書き方、会話などのコミュニケーションのあり方を意識的に観察してみてください。適宜出される課題は、翌日または次週の予習となるので、課題をしっかりして授業に臨んでください。

◆授業計画 【1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分】

1日目 (土)	1. 言語の単位と文章・談話について 4. 文章の構造	2. 文章・談話を成立させるもの 5. 文章の文法	3. 文章の種類
2日目 (日)	1. 話し言葉と書き言葉の特徴 4. 談話の文法	2. 談話の種類 5. 会話分析、物語文法など	3. 談話の構造
3日目 (土)	1. 文章・談話と語用論の規則 3. 発表	2. 外国語としての日本語の観点から見た文章・談話の諸問題	
4日目 (日)	1. 外国語としての日本語の観点から見た文章・談話の諸問題 3. 講義のまとめ	2. 発表 4. 試験	

◆教科書 指定しません。授業用プリントを当日配付します。

◆参考書 丸沼『文章・談話のしくみ』佐久間まゆみ他編 おうふう 1997年 2,160円（税込）（送料 340円）
丸沼『談話表現ハンドブック』の第2・3・5・6章 泉子・K・メイナード著 くろしお出版 2005年 3,240円（税込）（送料 390円）

◆成績評価基準 課題の提出（15%）、発表等を含む授業への積極的参加（20%）、試験等の最終課題（65%）
毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の授業時に伝えます

◆イギリス文学を辿る—黎明期～17世紀後半 【イギリス文学史Ⅰ】

開講単位：2単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆学修到達目標 黎明期から17世紀後半までの時代背景と思潮を辿り、それぞれの時代を代表する作家について学び、その作品を鑑賞することによって、イギリス文学の基本的な知識を身につけます。また、文学とその時代のイギリス文化と社会との関わりについて理解を深め、最終的にはイギリス文学の魅力を知ってもらうことを目標としています。

※2013年度夏期スクーリングで受講した方はほぼ同じ内容になりますので、受講しないよう注意して下さい。

◆授業方法 基本的には下記授業計画に沿って、テキストを中心に時代の背景と思潮を学びます。その後、代表的作家と作品をジャンル別（詩・散文・劇）に概観していきます。講義で重点的に扱う作家と作品についてはプリントを適宜配布し、映像なども利用して補足説明を行い、作品の抜粋部分を原文で鑑賞します。なお、鑑賞した作品について発表してもらう、あるいはコメントを提出してもらいます。

◆準備学修 黎明期から17世紀後半までのイギリス文学史を4日間という短い期間で駆け抜ける講座なので、準備学習が非常に大切になります。授業で扱うテキストの章は熟読し、全体的な流れをつかんだ上で、各時代の特徴を把握し、その時代の代表的作家にはどのような人物がいるのかジャンル別に頭に入れてきて下さい。不明な用語は『英米文学事典』にあたるなどして調べておくようにしましょう。

◆授業計画 【1日目・3日目：各 300 分、2日目：390 分、4日目：360 分】

1日目 (土)	ガイダンス イギリス文学への誘い（イギリス文学の特徴、魅力について、表記などの説明） プロローグ イギリス文学の黎明期 第1章 チョーサーの時代 時代思潮と代表的作家と作品の概観：King Arthurについて
2日目 (日)	第2章 シェイクスピアの時代 エリザベス時代の演劇について時代思潮と代表的作家、作品の概観、William Shakespeareの演劇と代表的作品の鑑賞、ソネットについて時代思潮と代表的作家と作品の概観：William Shakespeareの詩を鑑賞
3日目 (土)	第3章 ミルトンの時代 宗教と文学について時代思潮と代表的作家、作品の概観：John Milton, Robert Herrick, Andrew Marvellの作品を中心に ※映画と英詩①（授業で鑑賞した詩の出てくる映画を部分的に鑑賞し、映画のテーマと詩の関連性を考える）
4日目 (日)	第3章 ミルトンの時代 John Donne, George Herbertの作品を中心に鑑賞 ※映画と英詩②（授業で鑑賞した詩の出てくる映画を部分的に鑑賞し、映画のテーマと詩の関連性を考える） 全体のまとめと試験

◆教科書 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学史』神山妙子編著 ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料 390円）
【当日資料配付】プリントなど

◆参考書 丸沼『英米文学事典』ミネルヴァ書房 4,860円（税込）（送料 500円）

丸沼『映画で英詩入門』平凡社 1,404円（税込）（送料 340円）

◆成績評価基準 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。4日間の集中講座なので無遅刻が望ましいです。
授業に対する取り組み・積極性・発表（20%）・コメント（20%）・試験（60%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆古代ギリシアの思想とキリスト教

〔西洋思想史Ⅰ〕

開講単位：2単位

担当者：杉山 晃太郎

◆学修到達目標 欧米人の考え方の基礎には、紀元前6世紀の古代ギリシアで誕生した学問と、約2000年前に誕生したキリスト教があります。この授業では、前半では古代ギリシアの合理的思考、後半では初期キリスト教について、それぞれどのように生まれ、展開したか、基本的な知識を身につけることにより、その両者が、私たちの生きている現代社会とどのような関わりがあるのか、理解することを目標とします。

◆授業方法 授業は、配布するプリントに沿って、講義形式で行ないます。講義の中では、専門用語（ギリシア語、英語、日本語など）が出てきますが、その意味や由来などは、その都度説明します。プリントには、思想家が書き残した言葉をできるだけ紹介します。また、授業テーマに関する深い参考文献については、プリントで紹介します。

◆準備学修 〈予習〉 特に必要ありませんが、下記の文献を読んでおくとよいでしょう。

— ◆参考書」に挙げた文献

— 『新約聖書』特に『マルコによる福音書』（新共同訳『聖書』日本聖書協会のものが最も入手しやすい）

〈復習〉 配布プリントを見直して、重要な事項を復習してください。また、関心を持ったテーマについては、プリントに挙げた参考文献、特に思想家の著作に挑戦してみてください。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	ガイダンス、古代ギリシアの風土と歴史、哲学・思想・学問、哲学の誕生、最初の哲学者たち1——ミレトス派、ピュタゴラス、ヘラクレイトス、エレア派、一元論から多元論へ ※授業についてのガイダンス。古代ギリシアとは。哲学（フィロソフィア）という言葉の意味。学問はどのように誕生したか。最初期の哲学者たちは何を探求したか。一元論から多元論へ。〈小レポート〉
2日目 (日)	最初の哲学者たち2——多元論者、原子論、ソフィストと相対主義、ソクラテスと不知の自覚（無知の知）、プラトンとイデア論、アリストテレスと4原因 ※多元論者たち。ソフィストとその主張。ノモスとフュシス。相対主義。ソクラテスとソクラテス裁判。不知の自覚（無知の知）、プラトンのイデア論。イデアとは何か。アリストテレスの原因論。〈小レポート〉
3日目 (土)	ヘレニズム時代——ストア派とエピクロス派、ギリシア哲学とキリスト教、中世の神学と哲学、イエス・キリスト、『聖書』 ※ヘレニズム時代とはどういう時代か。ストア派とエピクロス派の哲学思想——禁欲主義と快楽主義。 ※ギリシアの学問とキリスト教では何が違うのか。理性と信仰。イエス・キリストとは。『聖書』とその内容。〈小レポート〉
4日目 (日)	「旧約聖書」、「新約聖書」、4つの福音書、共観福音書とその成立、共観福音書間の違い、ユダヤ教からキリスト教へ、パウロと愛（アガペー） ※「旧約聖書」と「新約聖書」。福音と福音書。Q資料と2資料説。ユダヤ教からキリスト教へ——民族宗教から世界宗教へ。パウロと「キリスト教」の成立。キリスト教と愛。〈試験〉

◆教科書 教科書は使用しません。〔当日資料配付〕テーマごとに重要な事項や思想家の言葉などを記載したプリントを配布し、そのプリントに沿って講義していきます。

◆参考書 参考文献はプリントで紹介します。以下は全般的な参考書です。

丸沼『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書）、岩田靖夫著、岩波書店 885円（税込）（送料340円）

丸沼『ソフィーの世界』、ヨースタイン・ゴルデル著、池田香代子訳、NHK出版 2,621円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 小レポート3回（50%）と試験（50%）により総合的に評価します。小レポートと試験の具体的な方法・内容については、初回のガイダンスの際に説明します。

◆授業相談（連絡先）：メール・アドレスは初回の授業時に伝えます。

◆日本銀行の機能と金融政策の基礎を学ぶ

〔金融論〕

開講単位：2単位

担当者：谷川 孝美

◆学修到達目標 最近では、日本銀行によるデフレ脱却に向けた異次元の金融緩和政策が話題になっています。この講義では中央銀行である日本銀行がどのような機能、役割を果たしているのか。また、日本銀行による金融政策について、基礎理論と共に理解することを目的とします。

◆授業方法 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進捗状況によっては授業計画が前後することもあります。また、経済学概論を履修しておくことがのぞましいでしょう。なお、この講義では、金融市場や金融機関の詳細については取り扱いませんので注意してください。

◆準備学修 金融政策の影響などを理解するためには、マクロ経済学の基礎が重要になります。事前準備として確認をしておくと良いでしょう。また、理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスについて、参考書などで予習をしておくとよいでしょう。

◆授業計画 〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	①ガイダンス、②貨幣の定義、③金利と債券価格の関係、④金融仲介機関と信用創造。 ※金融政策などを理解するための前提として、貨幣の定義や金利の決定など基礎的な事柄を確認します。
2日目 (日)	①中央銀行としての日本銀行、②金融政策の主な手段（オペレーション、基準割引率および基準貸付利率の変更、預金準備率操作）、③金融政策決定会合と金融調節、④最後の貸し手。 ※日本銀行は、物価の安定と金融システムの安定を目的としています。その目的を果たすための役割、機能について概説します。
3日目 (土)	①ゼロ金融政策、②量的緩和政策、③時間軸効果、④強力な金融緩和の推進、⑤デフレ脱却に向けた取組、⑥異次元の金融緩和政策。 ※近年のデフレ経済下における日本銀行の金融政策について概説します。
4日目 (日)	①貨幣数量説、②IS-LM分析、③テーラー・ルール、④講義のまとめ。 ※金融政策に関する経済理論を概説します。

◆教科書 指定しない。〔当日資料配付〕当日プリント配布。

◆参考書 丸沼『はじめて学ぶ金融のしくみ』家森信善、中央経済社 2,592円（税込）（送料390円）

丸沼『日本銀行の機能と業務』日本銀行金融研究所編、有斐閣（日本銀行のホームページに掲載あり） 2,592円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 最終試験を中心に授業への取り組み、小テスト等により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆黒田・日銀総裁と異次元金融緩和

〔貨幣経済論〕

開講単位：2単位 担当者：続橋 孝行

◆学修到達目標 学修の到達目標は2013年4月に採用した黒田日銀総裁の大胆な金融量的緩和の効果について評価し、理解することにあります。この課題を取り組んでいくにはミクロ経済学とマクロ経済学の基礎知識が必要です。しかし、これらを十分に理解している学生は少ないので、まずミクロ経済学とマクロ経済学を平易に解説し、課題に取り組んでいきます。

◆授業方法 板書を中心とした授業ですが、教員が一方的に説明することは避けたい。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教員が学生に質問したりして、課題の理解を深めていきたいと思っております。

◆準備学修 (1) 新聞の経済・政治面を読んでおきましょう。(2) 経済上の統計的数字を把握しておきましょう。(3) 数学(中学・高等学校)を毛嫌いしないようにしましょう。(4) 図やグラフに親しんでおきましょう。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	まず財・サービス市場を取り上げ家計の需要曲線と生産者の供給曲線の交点で均衡価格と数量が決まり、生産者及び家計ともに満足するということを理解する。次に、労働市場、金融市場を取り上げる。
2日目 (日)	(1) GDP(国内総生産)とは何か (2) GDPの大きさはどのようにして決まるのか (3) GDPが低下する原因は何かについて考察する。キーワードは有効需要、不完全雇用均衡、デフレ・ギャップ
3日目 (土)	財・サービス市場と貨幣市場の相互関係を通じて非自発的失業を伴ったGDPの大きさが決まるというのを議論する。キーワードはIS・LMモデル、流動性トラップ、金融政策の有効性
4日目 (日)	日銀による貨幣供給と生産者による取引貨幣需要の関係からGDPの大きさが決まるというのを考察する。キーワードは貨幣数量説、買いオペレーション、マーシャルのk

◆教科書 通材『貨幣経済論 0747』通信教育教材(教材コード000440)1,500円(送料込)

◆参考書 [当日資料配付] 必要に応じて資料(日本経済新聞の記事、日銀短期経済予測、内閣府のGDP速報値など)を配布します。

◆成績評価基準 筆記試験、授業への取り組みで評価します。

◆授業相談(連絡先)：授業終了後に質問を受けます。

◆保険を基礎から学ぶ

〔保険総論〕

開講単位：2単位 担当者：蟻川 滋

◆学修到達目標 保険の基本・本質を学ぶとともに社会経済環境の激変の中で保険業界が変貌を遂げようとしている姿を学びます。併せて、少子高齢社会にあって、民間生命保険、損害保険と年金、医療などの公的保険との関係についても学びます。この講義において学んだ保険の基礎知識をもって保険業の現状を理解する際の一助とすること、保険をより身近なものとすることを目標にしています。

◆授業方法 講義を中心とします。受講者数にもよりますが、受講者の質問を受けたり逆に質問をしたり、双方向の授業を行います。また、課題をまとめる力を養うため、新聞等メディアの記事などを要約するレポート作成を行います。さらにテーマを決めて具体的にレポートの書き方を学びます。

◆準備学修 保険についての予備知識は一切必要ありませんが、保険・年金・医療に関する新聞等の情報は日頃から関心を持つように心がけてください。なお、指定した参考書や手持ちの参考書を事前に読んでおけば理解が深まります。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	・ガイダンス(保険に関して知っていることのアンケートを含む) ・保険を理解するための視点 ・なぜ生保と損保に分かれているのか	・保険の仕組み ・レポートの書き方(例一資産運用)	・保険の役割
2日目 (日)	・保険の生成と発展 ・生保の普及背景と概要 ・マスメディアの報道を読み解く(要約レポート提出)	・自助努力と生保 ・金融機関としての生保	
3日目 (土)	・損保の基本 ・会社経営形態・コンプライアンス等 ・レポートの書き方(例一販売チャネル)	・損保の概要	
4日目 (日)	・少子高齢社会と生損保 ・企業年金(拠出型)と個人年金保険 ・基本的保険用語の確認	・公的保険と私的保険 ・テスト	

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント等を配付

◆参考書 『保険の知識』真屋尚生著 日本経済新聞出版社

◆成績評価基準 テスト、授業への取組み(レポート提出)により総合的に評価

◆授業相談(連絡先)：授業終了後に教室

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆簿記の基本的な仕組みを学びましょう

〔簿記論Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：林 徳順

◆学修到達目標 簿記論Ⅰの学修到達目標は、「初心者が複式簿記の基本的な仕組みを習得すること」、「商工会議所主催の簿記検定3級試験内容の一部を習得すること」である。複式簿記は、企業活動及びその結果を貨幣額で記録・計算する技術である。また、企業の一定時点の財政状態を表す計算書（貸借対照表）及び一定期間の経営成績を表す計算書（損益計算書）を作成する前提でもあるため、複式簿記の基本構造を理解することは重要である。

◆授業方法 講義形式で授業計画に沿って授業を進める。授業中、講義した内容に関する練習問題を解くので、毎回電卓を持参する必要がある。一回でも授業に出席しない場合、理解できなくなるため、毎回必ず出席することが必要である。

◆準備学修 ①授業計画に基づき、各自予習する必要がある。具体的には、テキストにおける該当箇所を熟読し、例題を解くことを薦める。②各自に適した簿記に係る書物を読むことは、簿記の理論構造及びその仕組みを理解するのに有益である。そのため、「簿記論」、「現代簿記」、「簿記講義」など多くの書物のなかで、各自に適した書物も選んで読むことを薦める。

◆授業計画 [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目 (土)	簿記の基礎（テキスト1頁～12頁）について学修する。簿記の概要（第1章）、複式簿記の構造（第2章）の内容を学修し、①簿記の目的及び種類、②貸借対照表及び損益計算書の構成、資産、負債、純資産、収益及び費用の意義、③損益法及び財産法等について学修する。授業内容について理解を深めるため、練習問題を解きながら授業を進めていく。また、小テストを1回実施する。
2日目 (日)	複式簿記の一巡の手続き（テキスト13頁～28頁・163頁～166頁）について学修する。具体的には、簿記上の取引及び種類、勘定、仕訳、転記、仕訳帳、総勘定元帳、決算及び帳簿決算等について学修する。仕訳、転記、仕訳帳への記入、総勘定元帳への記入及び試算表等の作成について練習問題を解きながら授業を進めていく。また、小テストを1回実施する。
3日目 (土)	①商品売買取引（第4章）、②現金・預金に関する取引（第5章）、③貸倒損失の処理（第6章の一部）、④有形固定資産の減価償却（第9章）、⑤売掛金・買掛金以外の債権・債務（第6章の一部）、⑥有価証券（第7章）、⑦手形（第8章）、⑧伝票（第10章）の順に学修する予定である。①～④を習得することを目標に講義し、⑤～⑧受講生の理解度を確認しながら講義を進める。また、小テストを2回実施する。
4日目 (日)	決算（第11章）について学修する。具体的には、決算の意味及び手順、決算整理の意義及び決算整理事項の会計処理、精算表の作成について学修する。決算整理事項のうち、現金過不足の処理、売上原価の算定、固定資産の減価償却、売上債権の貸倒引当金の設定を中心に講義し、これらの内容に基づき、精算表を作成する予定である。

◆教科書 通材『簿記論Ⅰ 0854』通信教育教材（教材コード000454）1,800円（送料込）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 平常点を40%、期末テストを60%で評価する。平常点は、授業中に実施する4回の小テストで評価する。

小テストは、当日学修した内容を中心とする。

◆授業相談（連絡先）：授業時に伝える。

◆「魅力ある」道徳教育の実践力を身に付ける〔道徳教育の研究／道徳教育の理論と方法〕

開講単位：2単位 担当者：杉森 知也

◆学修到達目標 道徳教育の基礎的な理論について、その周辺領域の広がりを含めて理解する。

また、模擬授業やグループディスカッションを通して、明確な「ねらい」をもった魅力的な道徳の時間を構想し、実践するための基礎を培う。

◆授業方法 原則的に、講義形式による概説と模擬授業・グループワークでおこなう。模擬授業（45分）は、全員が必ず1回実施する。受講人数等によっては、若干、計画を変更する可能性がある。また、現職教員がこの授業に参加できるようであれば、その方との意見交流・情報交換等も設定する予定である。

◆準備学修 事前に、指定教科書を必ず通読して授業に臨むこと。また、指定教科書p.44〈1～(5)〉かp.49〈2～(5)〉のいずれか内容でテーマを設定し、模擬授業をおこなうので、1時間分のより具体的なテーマを各自で策定し、その授業遂行に必要な資料を数多く収集しておくこと。

◆授業計画 [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目 (土)	ガイダンス—道徳の授業を振り返る— 指導案の書き方と「読み方」—よりよい授業を創るために— 道徳の時間の授業DVDを観て考える
2日目 (日)	授業づくりの方法について—授業の様式とあわせて考える— 道徳教育の歴史からみる道徳教育のあり方 平成20年版学習指導要領改訂の要点と24の内容項目 読み物資料を読む・規範と道徳
3日目 (土)	道徳教育の実践にむけて—授業構想のプレゼンテーションと意見交換— 道徳教育の新たな広がり—シティズンシップ教育、キー・コンピテンシー、キャリア教育—
4日目 (日)	道徳教育の実践—模擬授業と批評会—

◆教科書 丸沼『中学校学習指導要領（平成20年9月）解説—道徳編一』文部科学省 日本文教出版 142円（税込）（送料340円）

〔当日資料配付〕この他、プリントを授業開始時に配布する。

◆参考書 授業時に、適宜、指示する。

◆成績評価基準 模擬授業・指導案（70%）、平常点（30%）で、総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：件名に通信教育部の学生である旨を明記すること。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆第二言語習得研究理論からの英語指導

〔英語科教育法Ⅳ〕

開講単位：2単位 担当者：岡田 善明

◆学修到達目標 岡田善明著「英語教育の精神と実践」及び Rod Ellis 著 *Second Language Acquisition* を基にして、第二言語習得研究の観点から、中学・高校の英語教育における指導法を考え、指導法を確立する。特に英語指導を学習者の中間言語の発展的育成として捉え、コミュニケーション能力の指導の在り方を考えていく。

◆授業方法 予習として各章を読み、授業ではグループ学習を通して順番に学生が内容を発表し（英語か日本語）、内容に関して討論を行う。また模擬授業を行い、学習した内容を踏まえた実際の指導法を身に着ける。

◆準備学修 事前に教科書を購入し、ワークシートにより、授業で行うページを必ず予習し授業での討論に備える。（ワークシートは事前に郵送します）

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	オリエンテーション『英語科教育の精神と実践』 1. Introduction: describing and explaining L2 acquisition
2日目 (日)	2. The Nature of Lerner Language 3. Interlanguage 4. Social aspect of interlanguage
3日目 (土)	5. Discourse aspects of interlanguage ビデオによる授業研究（担当者の高校での授業） 模擬授業準備
4日目 (日)	模擬授業（学習した中間言語の進化を促すための授業実践を行う） 試験（学習した内容の論述試験）

◆教科書 丸沼「英語教育の精神と実践」岡田善明著 春風社 1,944円（税込）（送料340円）

丸沼「*Second Language Acquisition*」Rod Ellis著 Oxford ISBN: 9780194372121 2,332円（税込）（送料260円）

教科書を事前に購入し予習をしておくこと。

◆参考書 スクーリングで紹介

◆成績評価基準 模擬授業、試験等で総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆運動・スポーツに親しむ

〔体育実技〕

開講単位：1単位 担当者：吉本 俊明

◆学修到達目標 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性は益々重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣にまで発展させることをねらいとしています。

◆授業方法 天候に左右されない体育館での授業とし、小グループでいろいろなスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解してもらうようにします。また、体力測定を通して体力の現状を自覚し、維持増進についての認識を高めてもらうようにします。

◆準備学修 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心掛けてください。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目 (土)	ガイダンス、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定、体力の維持増進についての解説
2日目 (日)	班別スポーツ種目の展開（1） 班別スポーツ種目の展開（2）
3日目 (土)	班別スポーツ種目の展開（3）
4日目 (日)	班別スポーツ種目の展開（4） 班別対抗ソフトバレーボール大会

◆教科書 特になし

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 授業への取り組み及び自己の体力に合った運動への理解によって総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

※他の講座と会場及び授業時間が異なります、詳細は本誌6ページを参照してください。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

Ⅲ 地方スクーリング

1 開催地及び開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
第1期	仙 台 大 阪 福 岡	7日 (土)	9:30~18:30
		6月 8日 (日)	9:00~18:30
		9日 (月)	9:00~16:00 <試験も含む>
第2期	札 幌	19日 (土)	9:00~18:30
		20日 (日)	9:00~18:30
		21日 (月)	9:00~15:30 <試験も含む>
	名古屋	19日 (土)	9:30~18:30
		20日 (日)	9:00~18:30
		21日 (月)	9:00~16:00 <試験も含む>

※ いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※ 各期から1開催地1講座のみの申込みです。

※ 札幌会場のみ授業時間が他会場と異なるため注意してください。

2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
 - ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
 - ・各自、ゴミは持ち帰ってください。
- その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会 場	会場案内
第1期	仙 台	ショーケー株式会社	61 ページ
	大 阪	近畿大学東大阪キャンパス	64 ページ
	福 岡	パピヨン24	67 ページ
第2期	札 幌	かでる2.7	70 ページ
	名古屋	愛知県産業労働センター ウインクあいち	73 ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方
(第1期)

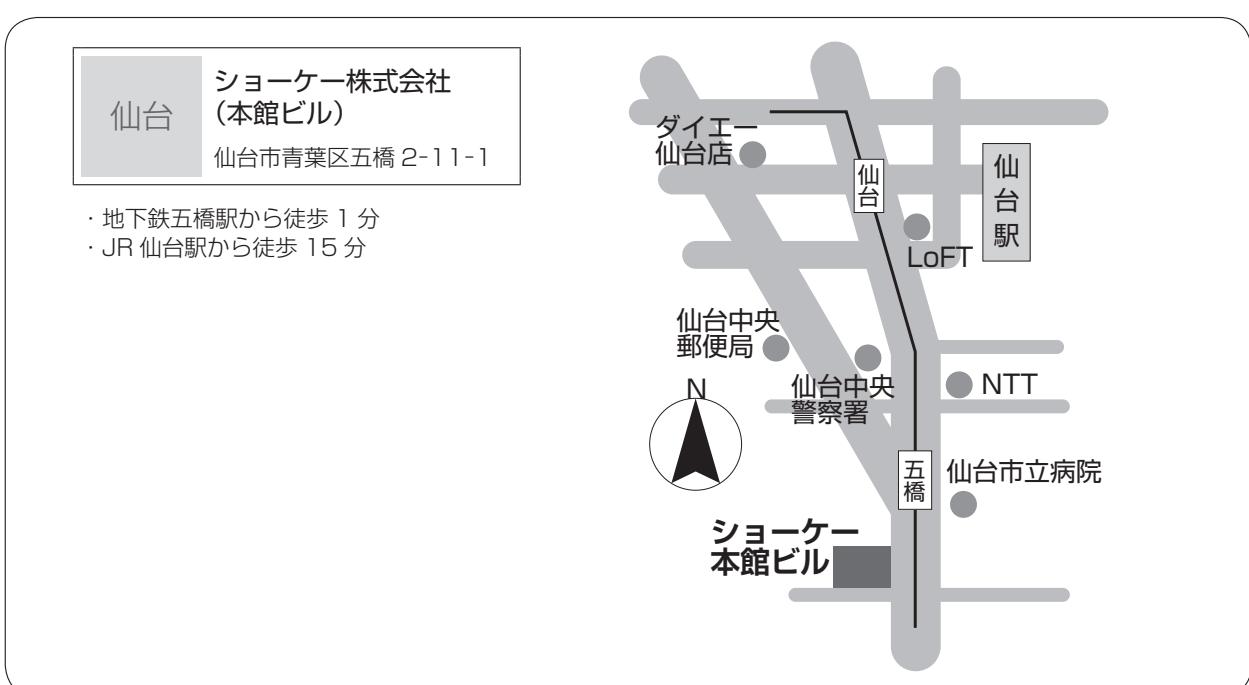
仙 台

日 程		授 業 時 間		備 考		
6月 7日	土	9:30 ~ 18:30			※時間内に昼休みを設けます。	
6月 8日	日	9:00 ~ 18:30				
6月 9日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>				

※開講式を初日の9時20分から行いますので参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地 コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用 配当 学年	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件	
60	F1	哲 学 B	三箇 文夫	0011	哲 学	1年			
	F2	国 文 学 概 論	近藤 健史	0321	国 文 学 概 論	条件 参照		・国文学専攻のみ1学年 以上申込可。 ・その他は2学年以上申 込可。	
	F3	マーケティング	佐藤 稔	0823	マーケティング	2年			



注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆ Philosophieren への誘い

〔哲学 B〕

開講単位：2単位 担当者：三箇 文夫

◆学修到達目標 哲学は、「哲学とは何か」を知る事にある。この「何か」と問う事が哲学の根源である。この「問い合わせ」が問いかけてくる原体験の諸相の理解を容易にするため時代区分に沿って捉える。本年は、ギリシャ時代の自然・人間・環境の三概念を中心に展開したい。ただ哲学は、この「問い合わせ」を通して哲学・思想史的知識を持つ事を求めるのではなく、自ら Philosophieren する態度を養う事を目的としたい。

◆授業方法 私が考えています理想的な授業は、一般に「ソクラティック・メソッド」と呼ばれているものである。一般的な講義であっても、出来るだけこの方法論に沿った形式で講義するように心掛ける。

◆準備学修 特に準備する必要なし。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 哲学の可能性と語義 2. 時代区分 3. 古代哲学の区分 4. 前ソクラテス期の哲学 Mytos 的世界観から logos 的世界観へ
2日目	1. ピュタゴラスの形相的世界観 2. エレア学派の世界観 3. 多元論の世界観と自然哲学の行説・思説 4. ソフィストの世界観 5. アッティカ地方の哲学 ソクラテスの世界観
3日目	1. プラトン的世界観とアリストテレス的世界観 2. 古代哲学の終焉 3. その後の哲学の展開 4. アラビア・イスラムの世界観とヨーロッパ的世界観

◆教科書 当日資料配付 プリントを配布します。

◆参考書 必要に応じて適宜指示する。

◆成績評価基準 受講状況及びディスカッションと試験により総合的に評価します。

集中講義であるため最終日の試験のみの評価となる事が残念である。本来、哲学は自ら思考する事に喜びを見出す学問である。哲学は、頭上にある学問ではなく、常に己の中に存在するものである。評価は自ずと伴ってくるものである。評価を目的としてはいけません。

◆授業相談（連絡先）：

◆ 現地で学ぶ杜の都仙台の文学

〔国文学概論〕

開講単位：2単位 担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 古くは和歌の歌枕「宮城野」として文学に登場し、明治には学都「仙台」として多くの文学を志した若者や文学者が集った杜の都仙台。その地ゆかりの文学を概観し、特徴を学ぶことを目標とする。

◆授業方法 講義形式で進める。また「仙台文学館」を訪れて理解を深めたい。

◆準備学修 仙台ゆかりの文学者たちの作品を少しでも多く読んでおいて欲しい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 東北の国土と文学 2. 明治以前の文学 3. 新しき詩歌の時代
2日目	1. 学都と若き文学者たち 2. 「仙台文学館」（校外学習）
3日目	1. 学都に集う文学者たち 2. 学都に集う歌人・詩人たち 3. 仙台ゆかりの現代作家たち

◆教科書 丸沼『みやざの杜の文学者たち』仙台文学館 1,800円（税込）

*郵送により購入する場合は、郵便小為替または現金書留で1,800円を下記の住所まで送付すること。その際に必ず日本大学通信教育部のスクーリングで教科書として使用する旨を記載すること。

〒981-0920 仙台市青葉区北根2-7-1 TEL 022-271-3020 仙台文学館

◆参考書 授業中プリント配布

◆成績評価基準 リポート試験 100%

◆授業相談（連絡先）：オフィスアワー、授業内で質問を受け付ける。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

□現代マーケティングの特性

〔マーケティング〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 稔

◆学修到達目標 現代マーケティングは企業のマーケティングが中心ですが、この授業ではマーケティングの考え方について、体系的に理解することを目的とします。僅かに3日間ですのでマーケティングの全貌を講義することは不可能ですので、主要なマーケティング・ミックスの理解を目標とします。

◆授業方法 授業方法は講義形式を中心とするものの、必要と考えられる資料を配布し可能な限り実学的に進めていく予定である。

◆準備学修 テキストを熟読しておくことはもとよりのこと、関連する経済学、社会学、統計学などについても学修しておくことが必要です。

◆授業計画 〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	生成期のマーケティング、マーケティングの研究視点・方法の展開過程、多様なマーケティング領域 マーケティングは多様な意味を有していますが、この講義においてはマーケティングの生成史を中心に多様なマーケティングについて学びます。
2日目	マーケティング環境（消費者行動、経済的、法律的、社会的環境など）の意義、マーケティング情報の意義、調査方法、販売予測の方法 マーケティング環境はマーケティング行動の根幹であるが、本講義ではかかるダイナミックな環境について学びます。また、マーケティング情報はマーケティング意思決定の基礎となるものであり、情報の役割と情報収集方法を中心に学びます。
3日目	製品計画の主要な領域、製品ミックスの構成、副次的製品計画 製品計画はマーケティングの中核的な活動であり、本講義においては製品計画の領域、製品ミックスの構成、基本的製品計画、副次的製品計画について学びます。

◆教科書 通材『マーケティング 0823』通信教育教材（教材コード 000182）2,200円（送料込）

◆参考書 講義の中で必要に応じて指示します。

◆成績評価基準 授業への参加と最終試験によって評価します。
平常点 30%，試験 70%，全出席を前提とします。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の授業で伝えます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

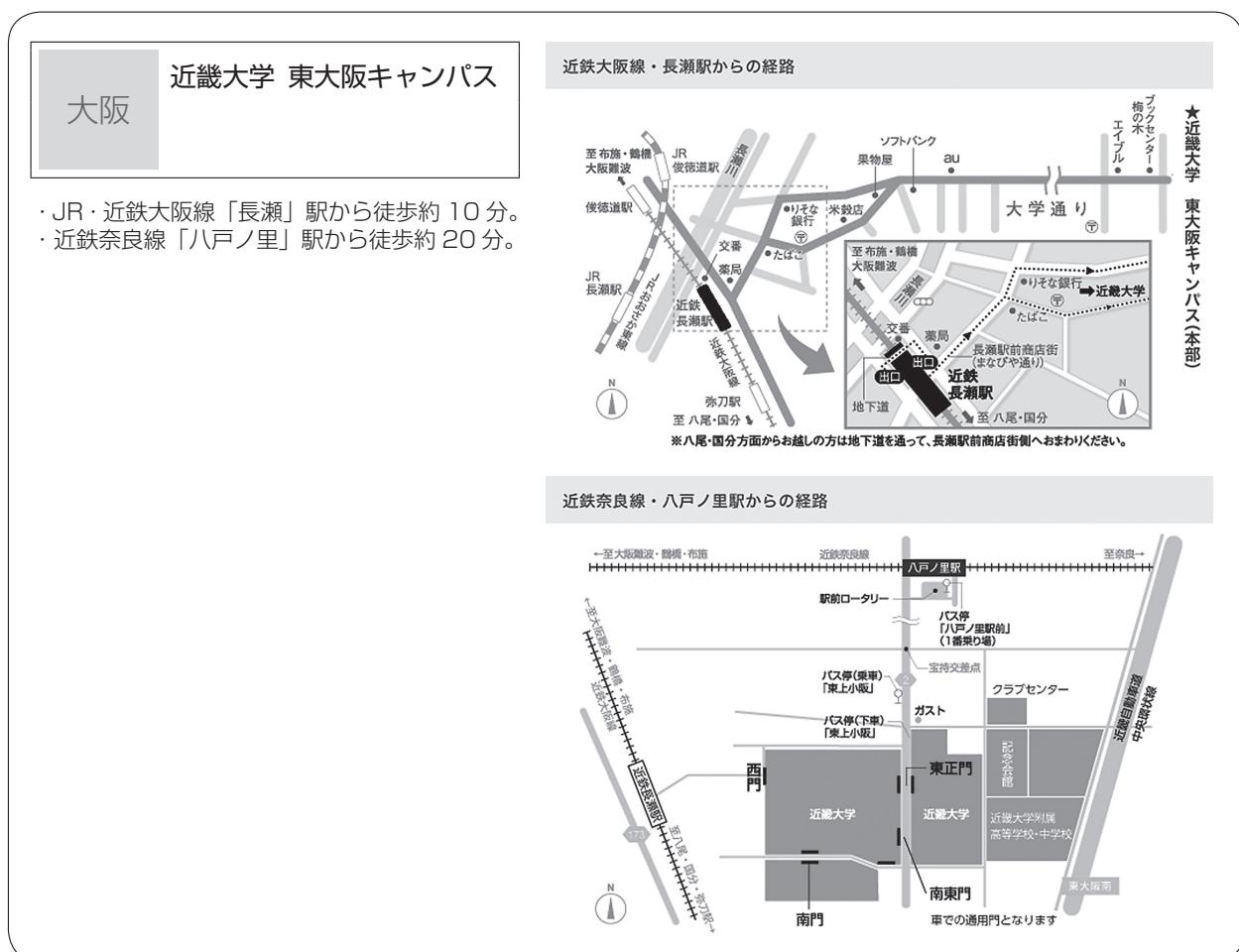
◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地 方 (第1期)	日 程	授 業 時 間	備 考
大 阪	6月 7日 土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
	6月 8日 日	9:00~18:30	
	6月 9日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地 コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
				科 目 コード	科 目 名		配当 学年	カリ キュ ラム	受 講 条 件
97	F4	英 米 事 情 I	茂木 健幸	0476	英 米 事 情 I	×	2年		・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
	F5	倫 理 学 概 論	上野山 晃弘	0533	倫 理 学 概 論		2年		
	F6	英 語 科 教 育 法 III	吉 良 文 孝	0961	英 語 科 教 育 法 III	×	2年		・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。



注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆アメリカ多文化主義に触れる

〔英米事情Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：茂木 健幸

◆学修到達目標 現代のアメリカ文化の特徴の一つに、多文化主義（multiculturalism）があります。多民族国家であるアメリカでは、異なる文化が共存しています。本授業では、様々なバックグラウンドを持つ作家たちが書いたエッセイを読むことを通して、その特徴の一端に触れ、その理解を深めることを目標としています。

◆授業方法 基本的には、教科書に沿って進行していきます。初めに、単語や段落ごとの意味を聞いたり、質問をしたりしながら、教科書の本文の意味の確認などを行います。そして、その文章の意味、イメージなどについての説明などを加えます。

◆準備学修 短期の授業ですので、以下の授業計画にあるチャプターの本文を読んでくることが必要です。教科書は、小説家や詩人などが書いたエッセイですので、多少難しい表現などが出てくるかもしれません、文章には目を通しておいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	chapter 1 "An American Milk Bottle" by Charles Johnson chapter 2 "This Crutch that I Love" by Naomi Shihab Nye chapter 3 "For Life's Sake" by Linda Hogan
2日目	chapter 5 "I, Too, Sing America" by Julia Alvarez chapter 6 "A Provincial Sense of Time" by Robert Pinsky chapter 9 "How Does Being an American Inform What I Write?" by Richard Ford
3日目	chapter 10 "Just off Main Street" by Elmaz Abinader まとめ 試験

◆教科書 丸沼『読解総合：多民族のアメリカ』Multiethnicity In America 2,052円（税込）英宝社 送料340円

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 試験60%、平常点40%

◆授業相談（連絡先）：

◆公共性に関する倫理学説を学ぶ

〔倫理学概論〕

開講単位：2単位 担当者：上野山 晃弘

◆学修到達目標 近・現代西洋の学者を中心に、公共性に関する主要な倫理学説を概観し、その現代的意義について考察します。そのことにより、公共性の倫理学に関する基礎的な知識を獲得し、その理論的な可能性や現実の諸問題に対する考察を深めるとともに、みずから公共的に思考するための能力を習得することが、この授業の学修到達目標です。

◆授業方法 講師作成の資料を授業時に配付し、主に講義形式にて授業を行います。公共性に関する倫理学説の基礎的な知識について講師が解説を行った後、その思想の現代的意義について受講者とともに考えていきます。受講者同士の議論なども適宜行い、受講者がみずから考えて理解を深めることができるように授業を進めています。

◆準備学修 授業計画に記された学者の思想や時代背景について、（図書館などを利用して）一般的な知識を各自で調べておいて下さい。また、その思想が現代に生きる私たちにとってどのような意義をもたらすのかについて考察した上で授業に出席することが望ましい。各回の授業内容については復習を行い、各自の思索をさらに深めて下さい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	公共性の倫理学（1）カント、（2）J.S.ミル、（3）アーレント ※カントの「啓蒙とは何か」、J.S.ミルの「功利主義」、アーレントの「人間の条件」に関する思想を中心に、公共性の倫理学の基礎的な理論とその応用可能性について学びます。
2日目	公共性の倫理学（4）ハーバーマス、（5）ロールズ、（6）サンデル ※ハーバーマスの「コミュニケーション的行為」、ロールズの「正義論」、サンデルの「公共哲学」に関する思想を中心に、公共性の倫理学の基礎的な理論とその応用可能性について学びます。
3日目	公共性の諸問題、総括 ※公共性の倫理学の基礎理論をふまえた上で、その現代的意義を考察します。現実に生じている応用倫理的な諸問題を視野に入れた上で、公共的な思考の可能性を探究し、各自の思索をさらに深めます。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリントを配布します。

◆参考書 授業中に提示します。

◆成績評価基準 試験（100%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆読み解きのための英文法指導

〔英語科教育法Ⅲ〕

開講単位：2単位 担当者：吉良 文孝

◆**学修到達目標** 文法の知識を身につけることの重要さを理解し、同時に、身についた知識を実際の授業で生かすことの難しさを実感し、来たるべく教育実習に備えること、それを本講座の到達目標とします。

◆**授業方法** 前半と後半の2部構成です。前半部（初日）は、資料を配付の上、文法の知識がいかに英語を読むうえで重要、かつ、助けになるのかを実感するための講義形式の授業です。いくつかの文法トピックスを用意し、配付資料をもとに授業が展開されます。後半部（2日目と3日目）は、受講生による模擬授業（授業を行なうのは10名程度の予定）です。積極的な授業参加（教師役のみならず、生徒役としての積極的参加）を期待しています。

◆**準備学修** 模擬授業の材料となるテキスト（教科書）を受講者宛に事前に送付します。どの部分が自分の担当（模擬授業）になってもよいように事前の予習準備が求められます。模擬授業の内容は、「リーダー」と「文法」の授業を予定しています。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	時間の限り多くの文法現象をとりあげ、開講当日の配付資料をもとに、英文読解のためにいかに文法が重要であるのかを再確認します。
2日目	模擬授業、ならびに授業内容に関する補足解説指導と受講者との意見交換。
3日目	模擬授業、ならびに授業内容に関する補足解説指導と受講者との意見交換。 試験（60分）。

◆**教科書** 丸沼『英文法解説（改訂三版）』 金子書房 江川泰一郎 1,836円（税込）（送料390円）
[授業で頻繁に使用しますので、持参願います。]

◆**参考書** 授業中に、適宜、紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への参加態度、ならびに試験。

◆**授業相談（連絡先）：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第1期)

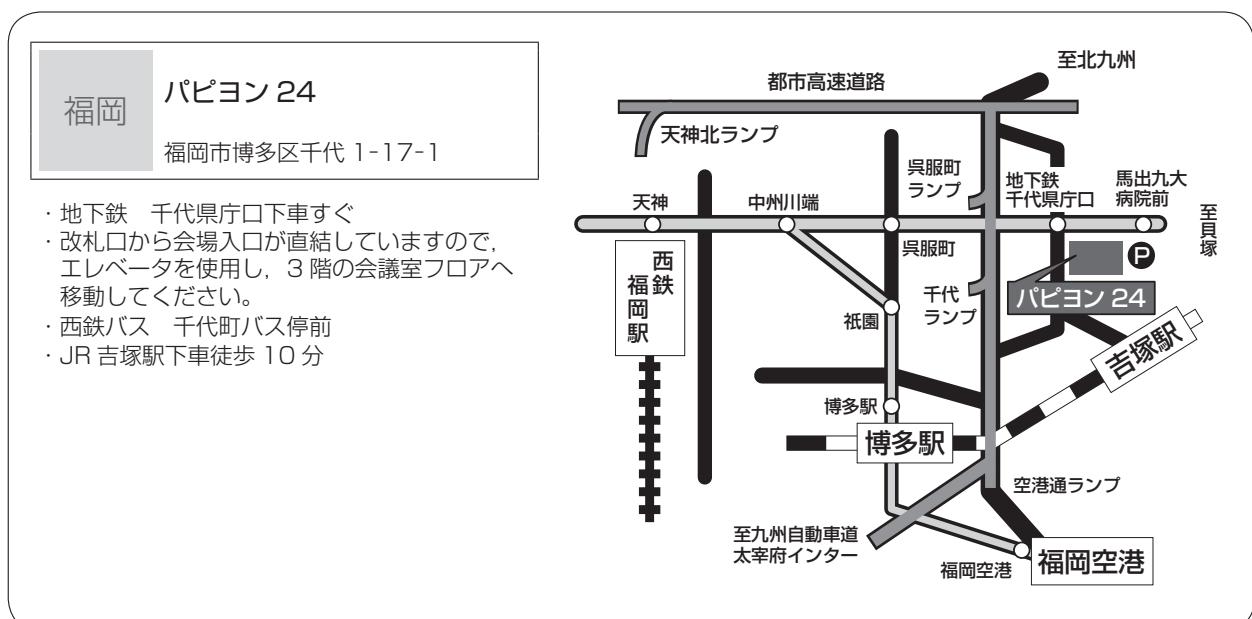
福岡

日 程	授 業 時 間	備 考
6月 7日	土 9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月 8日	日 9:00~18:30	
6月 9日	月 9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地コード	講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制限・注意						
				科 目 コード	科 目 名		配当学年	カリキュラム	受講条件				
99	F7	英 語 H	前島 洋平	0041	英 語 I	1年			・I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
				0042	英 語 II								
				0043	英 語 III	2年							
				0044	英 語 IV								
	F8	民 法 III A	根本 晋一	0134	民 法 III	2年							
	F9	英米文学演習 F	高橋 利明	0486	英米文学演習 I	× 3年			・英文学専攻のみ申込可。 ・I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
				0487	英米文学演習 II								
				0488	英米文学演習 III								



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆英文読解のトレーニング

〔英語 H〕

開講単位：1単位 担当者：前島 洋平

◆学修到達目標 英語をモノにしようと志す場合、まずは書かれた英語の（表面的な）意味を正しく把握しなければならない。

その次のレベルとして、書かれた英語の裏の意味を理解する解釈力が存在する。

本講座では、文学作品からの英文を相手に思考のトレーニングを積むことで、最終的に「本物の英文読解力」を身につけることを目標とする。

◆授業方法 受講者による発表・議論が中心の演習講座である。具体的には以下の手順を踏む。

1. 英文の音読と和訳（予習時の文法事項や熟語の解説も）

2. 課題（Post-Reading）に関する意見の提示、議論

*広告、戯曲、詩、小説、自伝など、扱う英文は多様である。場合により、視聴覚資料を利用するかもしれない。

*講義科目ではないので、担当者は司会役に徹する。

◆準備学修 テキストを読み、分からぬ個所は辞書等で可能な限り調べておくことが望ましい。

受講者は授業時にコメントを求められる。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス Session 1 — Introduction; Session 2 — Language of Humor Session 3 — George Bernard Shaw, <i>Pygmalion</i> ; Session 4 — Japanese Stories in Translation: Kenji and Ryunosuke; Session 5 — Suzanne Vega, "Luka"
2日目	Session 6 — Two Autobiographies: Martin Luther King and Ellen Glasgow; Session 7 — Graham Greene, <i>A Sort of Life</i> Session 8 — Raymond Carverの短編小説; Session 9 — Haiku and Japanese Poems
3日目	Session 10 — Four Types of Poetry; Session 12 — Benjamin Franklin, "Thirteen Virtues" and "Poor Richard's Maxims" Session 15 — Charles Dickens, <i>Great Expectations</i> *Session 11, 13, 14は授業で扱わない予定 試験

◆教科書 丸沼『文学で学ぶ英語リーディング』斎藤兆史 中村哲子編注 研究社 2,052円（税込）（送料340円）

◆参考書 英和辞典または英英辞典

◆成績評価基準 発表等の授業への取り組み、試験により総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆要説 債権総論

〔民法III A〕

開講単位：2単位 担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 1 民法学における債権総論の体系的な位置付を理解する。

2 債権総論の体系（全体像）を理解する。

3 1. 2. の理解・修得を前提として、債権総論に関する重要論点を理解する。

◆授業方法 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡その目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「民法III」スク2単位+根本「民法III」スク2単位=「民法III」1科目（4単位）完成は不可である。

◆準備学修 前回講義における板書事項を、しっかりと読み直していくこと。それが本講義における予習であり、準備学修である。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス、民法の体系と全体像、債権総論の体系と全体像、債権の発生原因など
2日目	（昨日の続き）債権の目的、債権の効力、多数当事者の債権債務関係など
3日目	（昨日の続き）債権譲渡、債権の消滅、調整と補遺、 筆記試験（ただし、レポート試験を実施する場合には行わない）

◆教科書 指定しない。

◆参考書 通材『民法III 0134』通信教育教材（教材コード000354）2,600円（送料込）

丸沼「じつは身近な債権法—知って得する！ 契約、損害賠償制度etc…の「基礎知識」山川一陽著 日本加除出版株式会社 3,456円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 筆記試験またはレポートの成績（80%）・授業態度等（20%）を、総合的に考慮する。

◆授業相談（連絡先）：オフィスアワーの時間に研究室まで来てください。ただし、先着の学生がいる場合など、お待ちいただくことや、機会をあらためる場合がありますので、ご了承ください。なお、質問票を利用してくださいとも構いません。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ホーソーン・ワールドへの誘い—“Wakefield”の「新しい髪」とは何か [英米文学演習 F]

開講単位：1単位 担当者：高橋 利明

◆学修到達目標 Nathaniel Hawthorne (1804-64) の “Wakefield”(「ウェイクフィールド」) [1835]において、なぜ Wakefield は「新しい髪」をつけて妻の元から 20 年間も失踪していたのだろうか。その年月をまるで「一日の不在」("a day's absence") であったかのように彼は我が家に帰宅し、死ぬまで「誠実な配偶者」("a loving spouse") であったというのである。この物語をアルゼンチンの作家・詩人であるボルヘスは『緋文字』(1850) を超えるホーソーンの最高傑作とみなしているが、その本質的かつ現代的な魅力を探りたい。

◆授業方法 輪読形式で学生諸君に次々と原文の音読と読解を提示してもらい、さらには各自の精読に基づいて提起された問題点などを議論したい。最後の試験では、英文解釈（和訳）と 2,000 字程度のエッセイ（テーマを付けて）を課す。

◆準備学修 指定したテクスト（作品コピー）を事前に辞書を丹念に引き文脈にあった最適な語義を当てはめつつ、熟読玩味しておくこと。

◆授業計画 [1日目：480 分, 2日目：510 分, 3日目：360 分]

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・ホーソーン関連ビデオ鑑賞 (Great Books シリーズ『緋文字』) ・“Wakefield” 精読と議論 (1) [p.149 ~ p.151 下から 1.3] ・Audiobook (リスニング) による作品鑑賞
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・“Wakefield” 精読と議論 (2) [p.151 下から 1.2 ~ p.156 下から 1.10] ・Audiobook (リスニング) による作品鑑賞 ・ホーソーン関連ビデオ鑑賞 (ホーソーンの短篇作品等)
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・“Wakefield” 精読と議論 (3) [p.156 下から 1.9 ~ p.158] ・Final : 英文解釈問題とエッセイ (2,000 字程度) の完成

◆教科書 事前資料送付 『Selected Tales and Sketches』 Nathaniel Hawthorne, Penguin Classics
上記テクストのコピーを事前に配布します。

◆参考書 授業時に適宜指示する予定です。

◆成績評価基準 授業への取組み（発表・参加度等）・最終試験により総合的に評価します。出席は大前提です。

◆授業相談（連絡先）：授業終了後に教室で質問を受けます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

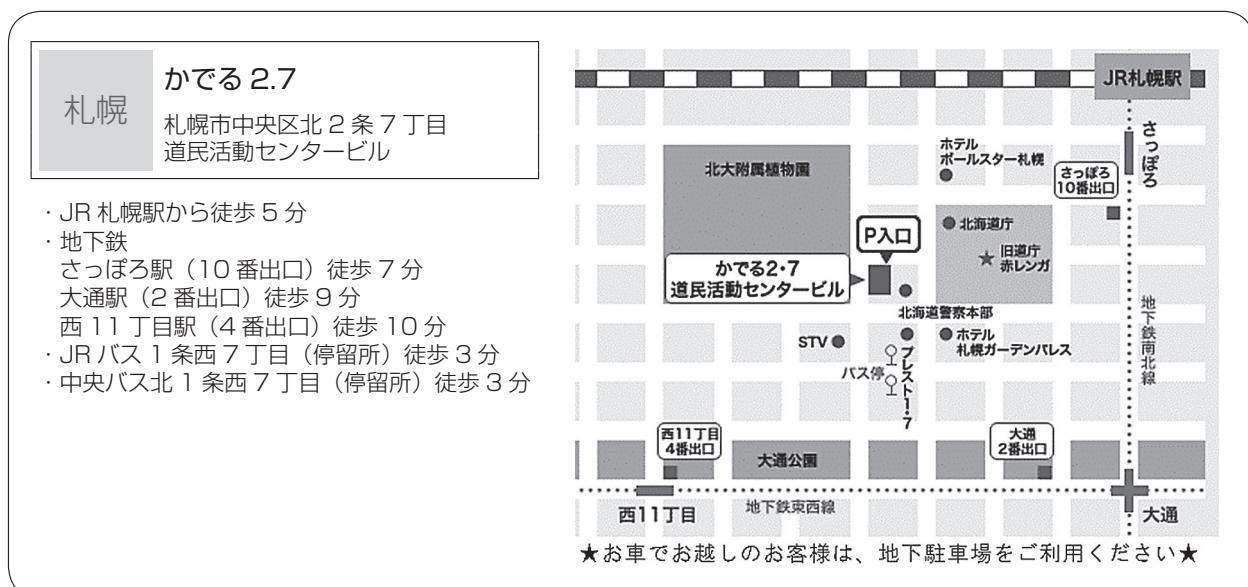
◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地 方 (第2期)	日 程	授 業 時 間	備 考
札 幌	7月19日	土 9:00~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
	7月20日	日 9:00~18:30	
	7月21日	月 9:00~15:30 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の8時50分から行いますので、参加してください。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地 コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学年	カリ キュ ラム	受 講 条 件
50	G1	英 語 音 声 学	山岡 洋	0450	英 語 音 声 学		2年		
	G2	宗 教 学 概 論 A	合田 秀行	0532	宗 教 学 概 論		2年		
	G3	東 洋 史 概 説	高綱 博文	0623	東 洋 史 概 説		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	
				0627	東 洋 史 概 論		2年	・法学部のみ申込可。	



注 意
 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
 その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆英語と日本語の音声を学ぶ

〔英語音声学〕

開講単位：2単位 担当者：山岡 洋

◆学修到達目標 英語学の一分野としての英語音声学と英語音韻論がどのような学問分野であるかを学んだ上で、英語と日本語の音声がどのような点で異なり、どのような点で共通しているかを学ぶ。具体的には、最初に音声学と音韻論の違いを学び、その後で、単位の細かい順に、音素・音節・アクセント・リズム・イントネーションについて学んでいく。

◆授業方法 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻繁に学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストには目を通しておくこと。

◆準備学修 下記に挙げる教科書・参考書に目を通しておくこと。3日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる

◆授業計画 〔1日目：510分、2日目：510分、3日目：330分〕

1日目	ことばの仕組み 発声の仕組み 音素・ミニマルペア	音声学・音韻論 母音と子音
2日目	音節とモーラ 聞こえ度・成節子音 アクセント 強弱アクセントと高低アクセント 語のアクセントと句のアクセント (CSR, NSR, CAR, ダウンステップ) 内容語と機能語	閉音節言語と開音節言語 焦点
3日目	リズム イントネーション 試験・解説	強勢拍リズムと音節拍リズム 自習

◆教科書 丸沼『音声学・音韻論』日英語対照による英語学演習シリーズ1 窪薙晴夫 くろしお出版 1998 2,160円（税込）（送料340円）

◆参考書 丸沼『現代の英語音声学』佐藤寧・佐藤努（1997）金星堂 東京 2,592円（税込）（送料340円）
『英語の発音と英詩の韻律』英語学入門講座7 窪薙晴夫・溝越彰（1991）英潮社 東京

◆成績評価基準 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

◆授業相談（連絡先）：

◆世界の多様な宗教を理解する

〔宗教学概論 A〕

開講単位：2単位 担当者：合田 秀行

◆学修到達目標 世界の諸宗教に関しての幅広い知識を習得することを目的とする。失われた古代の宗教についての理解も含むが、とりわけ世界三大宗教（仏教・キリスト教・イスラーム教）に加えて、日本固有の宗教である神道については、より詳しく知識を得ることを目指す。また、宗教学の方法論やその意味、さらに宗教学に関連する基本文献についての情報も学ぶ。

◆授業方法 指定した教科書に基づいて、講義形式で進めますので、必ず下記のテキストを用意して下さい。序章から第二章までは、テキストに従って進めていきますが、第三章・第四章の宗教学用語解説と第五章の基本文献の紹介については、随時、具体的な宗教の概説と関連づけて取り上げます。また、世界の諸宗教についてまとめられたDVDの映像資料も適時、活用して理解を深めます。また、担当者が執筆したプリントも配布して、部分的にはテキストの内容を補足します。

◆準備学修 予め指定した教科書に目を通して講義に臨んで下さい。特に講義の軸となる第一章「世界の諸宗教」と第二章「宗教をどう見るか」については、重点的に予習しておくこと。

◆授業計画 〔1日目：510分、2日目：510分、3日目：330分〕

1日目	序章・現代人と宗教、第一章・世界の諸宗教（前半） 第一節「古代の宗教」～第五節「先住民の宗教」 ※前半部では、セム系一神教と言われるユダヤ教・キリスト教・イスラーム教に関する理解を深めます。それぞれの映像資料も活用します。さらには、失われた古代宗教と世界各地の先住民の宗教についても取り上げます。特に北海道と関係の深いアイヌ民族の宗教についても、補足資料を用いて理解を深めます。
2日目	第一章・世界の諸宗教（後半） 第六節「インドの宗教」～第十四節「新宗教・ニューエイジ」 ※日本人と関わりの深い東洋の諸宗教について学びます。とりわけ、インド思想・仏教思想に関しては、担当者の専門領域でもあり、少し掘り下げる概説したいと考えています。また、映像資料も豊富にありますので鑑賞してもらいます。また、日本の民族宗教である神道の思想や現代人にとって接觸する機会のある新宗教についても知識を得ます。
3日目	第二章・宗教をどう見るか、質疑応答、試験 ※宗教理解をめぐる二つの研究方法（規範的方法・記述的方法）について理解した上で、宗教学の方法とその意味について考察します。これについては担当者が『21世紀の学問方法論』（日本大学文理学部叢書）に寄稿した論考も踏まえて、宗教学が有する多面性と現代における新たな動向についても言及し、宗教学固有の特徴について学びます。

◆教科書 丸沼『宗教学入門』棚次正和・山中弘編著 ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料340円）

◆参考書 講義内で指示します。また、教科書の各節の末尾にある「参考文献」も参照のこと。

◆成績評価基準 平常点（30%）、試験（70%） 講義に取り組む姿勢と最終日の試験とで総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆人物・映像で見る一現代中国の歴史

〔東洋史概説〕

開講単位：2単位 担当者：高綱 博文

◆学修到達目標 中国4000年の歴史において、20世紀の戦争と革命、近代化で何が変わり、何が生まれたのかを考える。

◆授業方法 はじめに中国の歴史と社会、風土と民族などについて概観します。近現代中国の政治指導者である孫文・張学良・蒋介石・毛沢東・鄧小平に関する映像を視聴し、それを踏まえて中国近現代史を講義します。なお、本講義は、平成24・25年度の地方・東京春期スクーリングの東洋史概説と内容が同じであるため、すでに同スクーリングで単位を修得した場合は受講できません。

◆準備学修 孫文・張学良・蒋介石・毛沢東・鄧小平について世界史辞典または人物辞典などで、その生涯・政治活動・政治思想などに調べておくことが望ましい。

◆授業計画〔1日目：510分、2日目：510分、3日目：330分〕

1日目	テーマ1：中国の概観（地理・風土・民族など） テーマ2：中国史と中国の歴史書 テーマ3：中華帝国の誕生と繁栄（ビデオ視聴を含む） テーマ4：中華帝国の動揺と解体
2日目	テーマ5：辛亥革命と孫文（ビデオ視聴を含む） テーマ6：満洲事変・西安事変と張学良（ビデオ視聴を含む） テーマ7：日中戦争と蒋介石（ビデオ視聴を含む）
3日目	テーマ8：中華人民共和国と毛沢東（ビデオ視聴を含む） テーマ9：改革開放と鄧小平

◆教科書 当日資料配付 授業中に配布します。

◆参考書 丸沼『シリーズ 中国近現代史』岩波新書①～④、2010～2011年刊
①～③ 886円（税込）（送料260円）
④ 864円（税込）（送料260円）

◆成績評価基準 試験（70%）、小テスト・リポート（30%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第2期)

名古屋

日 程	授 業 時 間	備 考
7月19日	土 9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
7月20日	日 9:00~18:30	
7月21日	月 9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地コード	講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意		
				科 目 コード	科 目 名		配当学年	カリキュラム	受講条件
80	G4	英語基礎 A	秋葉 倫史	0046	英語基礎		1年	D	・英文学専攻は申込不可。
	G5	商 法	根田 正樹	0140	商 法		2年		
	G6	英米文学演習 G	野呂 有子	0486	英米文学演習 I	×	3年		・英文学専攻のみ申込可。
				0487	英米文学演習 II				・I~IIIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。
				0488	英米文学演習 III				

名古屋

愛知県産業労働センター
ワインクあいち
名古屋市中村区名駅4-4-38

名古屋駅より

- ・JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ・ユニモール地下街5番口 徒歩2分
- ※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆基礎から始める英文読解

〔英語基礎 A〕

開講単位：1単位 担当者：秋葉 倫史

◆学修到達目標 本授業では、自分の力で英文を確実に読む能力を養うことを目標とする。文型や品詞を中心に文構造を理解し、問題演習を通して、英語の構造を分析する方法を学習する。また、読解に必要な基本文法についても並行して確認していく。これから大学での英語を読み始める初級レベルの学習者を対象として授業を展開する。

◆授業方法 授業の序盤では、文構造の分析方法について講義し、英文解釈の基礎を学習する。その後、受講者が問題演習、発表を行う形式をとる。演習問題は、様々な分野の内容に関する単文から100語程度の英文を主として扱う。また、英文読解と並行して、適宜プリント等を用いて解説に必要な基本文法の導入も行う。なお、受講者の状況に合わせて進度を調整する予定である。

◆準備学修 事前に配布されたプリントに目を通し、わからない単語を自分なりに調べておくこと。また、英文法について、指定した参考書等の文法書を用いて、基本の用法を確認しておくことが望ましい。なお、授業内で使用するため、辞書は必ず持参すること。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. ガイダンス 2. 品詞の働きと文の構造 3. 文構造の確認問題
2日目	1. 1日目の内容確認（小テスト） 2. 英文解釈の問題演習と発表
3日目	1. 英文解釈の問題演習と発表（2日目の続き） 2. 試験

◆教科書 事前資料送付 事前にプリントを配布します。

◆参考書 丸沼『総合英語 Forest [7th Edition]』 石黒昭博 監修 桐原書店 1,641円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 試験（50%）、小テスト（10%）、授業への取り組み（40%）を総合的に評価する。ただし、全出席を前提とする。

◆授業相談（連絡先）：

◆株式会社と法規制

〔商法〕

開講単位：2単位 担当者：根田 正樹

◆学修到達目標 わが国で実際に活動している会社の数は250万位ありますが、このうち株式会社が大部分を占めています。株式会社制度は国民経済にとって大変有益な経済主体ですが、ときに大きな問題も投げかけています。この授業では実際のニュースなどを取り上げながら、株式会社をめぐる法的諸問題を検討します。

◆授業方法 シラバスに従った講義形式となります。できるだけ具体的な事例を挙げながら考える勉強にしたいと思います。

◆準備学修 テキスト『商法』の第3編および第4編を事前に2、3回読んでスクーリングに臨んでください。内容が理解できなくても差し支えありません。飛ばして最後まで読んでください。その際、六法のある会社法などの条文も読んでみてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 会社法はどのような法か 4 株主総会の機能・権限と活性化	2 会社設立と法規制	3 株式と株主の地位
2日目	5 会社経営機構の多様化	6 役員の義務と責任	7 経営の監督と是正
3日目	8 資本の調達 9 剰余金の分配と違法配当 授業の終わった後、試験を行います。	10 M&Aなどの会社組織の再編と法	

◆教科書 通材『商法 0140』 通信教育教材（教材コード000451）2,000円（送料込）
なお、小型の六法を必ず持参して下さい。

◆参考書 資料集を作成し、講義の冒頭に配布する予定です。

◆成績評価基準 受講状況（20%） 試験（80%）

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『鏡の国のアリス』を読んで分析的なりポートの書き方を学ぶ (英米文学演習 G)

開講単位：1単位 担当者：野呂 有子

◆学修到達目標 作品の構造を意識しながら読むことを通して、卒業論文執筆に向けて、問題点の見つけ方、作品の掘り下げ方について学ぶ。

また、最小単位のリポート（原稿用紙400字づめ一枚）を執筆し、一つのテーマに沿って問題点を掘り下げていく手順について学ぶ。

◆授業方法 Lewis Carroll作 *Through the Looking Glass* を読む。『不思議の国のアリス』を踏まえた上で、その続編としての『鏡の国のアリス』を分析・論考する。各区切りごとに、原稿用紙400字づめ一枚のリポート提出が要求される。卒業論文執筆に向けて、問題点の見つけ方、掘り下げ方について学ぶ。作品中の「マザー・グースの歌」の扱いについても考察する。

◆準備学修 受講前に必ず日本語訳で『不思議の国のアリス』と『鏡の国のアリス』を読了しておく事。英語原文作品を読了しておくことも推奨する。授業では日本語訳では捉えきれない英語原文のしゃれや、鍵語（句）、鍵概念などについて追っていく。「マザー・グースの歌」中の“The Lion and the Unicorn”, “Tweedledum and Tweedledee”, “Humpty Dumpty”は必ず日本語訳、及び英語原文を読了の事。

◆授業計画 (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	第1章から読み進めるが、二章ずつのまとまりとして内容を理解する訓練も行う。第1章から第2章、第3章から第4章までを読むことを目標にする。毎単元ごとに、原稿用紙400字づめ一枚程度のリポートを提出することを要求する。このため、一日目には、受講学生は、第1章から第3章、第4章から第6章の統一的テーマについて、前もって必ず原稿用紙で、400字づめ一枚のリポートを用意しておくこと。授業開始時に回収する。
2日目	受講学生は、第5章から第6章、第7章から第9章までの箇所について、前日の内に必ず原稿用紙で400字づめ一枚のリポートを作成しておくこと。授業開始時に回収する。出来の良いリポートについては、授業時に紹介することも想定される。
3日目	受講学生は、前日の内に、授業で修得した内容や方法論を加味して、必ず原稿用紙で5枚程度のリポートを作成しておくこと。授業開始時に回収する。出来の良いリポートについては、授業時に紹介することを想定される。

◆教科書 The Annotated Alice: The Definitive Edition: Martin Gardner 編訳 The Annotated Alice: The Definitive Edition: Alice's Adventures in wonderland and Through the Looking Glass : ペーパーバック, Penguin; The Definitive new edition of revised edition, 2001。この版の訳は極めて有益で論文作成に役に立つ。授業時に頁数を示して、本文や註に言及するため、必ずこの版使用の事。インターネットからテキストをダウンロードして、教科書の代用とすることは、受講者自身の授業時の理解を極めて困難にするため絶対に行わない事。なお、準備期間中に教科書が入手できない場合もあることを考慮して、受講者には *Through the Looking Glass* の最初の部分を前もって教務課から送付することとする。受講者は授業開始までには、なるべく当該図書を入手しておくこと。

◆参考書 『不思議の国のアリス』及び『鏡の国のアリス』日本語訳（版も訳者も問わない）
「マザー・グースの歌」の英語原文及び日本語訳（版も訳者も問わない）

◆成績評価基準 授業時に作成・提出のリポート、及び、授業終了後、一週間以内に提出するリポート（原稿用紙400字づめ、5枚—タイトルや氏名には、原稿用紙最初の三行を使用すること）の両方を総合的に評価して判断する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

1 開講日程

開講期間	5月19日(月)～7月11日(金)						
授業時間	18:30～21:25						
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。 また、すべての講義に出席が求められます。						
授業日程	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
①：1回目	5月	① 19	① 20	① 21	① 22	① 23	
		② 26	② 27	② 28	② 29	② 30	
③：3回目	6月	③ 2	③ 3	③ 4	③ 5	③ 6	
		④ 9	④ 10	④ 11	④ 12	④ 13	
⑤：5回目		⑤ 16	⑤ 17	⑤ 18	⑤ 19	⑤ 20	
		⑥ 23	⑥ 24	⑥ 25	⑥ 26	⑥ 27	
⑦：7回目		⑦ 6月30	⑦ 1	⑦ 2	⑦ 3	⑦ 4	
		⑧ 7	⑧ 8	⑧ 9	⑧ 10	⑧ 11	

※ 各曜日から1講座のみの申込みで、最多合計5講座まで受講できます。

※ 上記日程の他に7月14日(月)～18日(金)まで補講期間を設けています。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3
交 通 案 内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

3 開講講座一覧

月曜日	
講 座 名	担 当 講 師 名
英 語 J	佐 藤 健 児
民 法 Ⅲ B	長 谷 川 貞 之
地 方 自 治 論 B	福 島 康 仁
英 米 文 学 演 習 H	石 川 勝
現 代 教 職 論	宇 内 一 文
経 済 学 概 論	大 塚 友 美
博 物 館 資 料 論	大 塚 英 明

火曜日

講座名	担当講師名
英語基礎B	佐藤 恵一
行政法I	和知 賢太郎
国文学史I	加藤 清
英作文I B	ダレル ハーディ
宗教学基礎講読	合田 秀行
経済史総論B	飯島 正義
貿易論	飯野 文

水曜日

講座名	担当講師名
英語K	小田井 勝彦
商法I	高岸 直樹
国文学講義Ⅲ(中世)	鹿野 しのぶ
英語学演習J	真野 一雄
証券市場論	高嶋 勝平
英語科教育法II	市川 泰弘
博物館展示論	岡部 幹彦

木曜日

講座名	担当講師名
政治学	関根 二三夫
英語L	パトリック マッコイ
刑法I	坂井 愛
イギリス文学史II	猪野 恵也
スピーチコミュニケーションI	アレックス ブラウン
会計学	吉田 武史

金曜日

講座名	担当講師名
法学	高須 則行
英語M	田中 竹史
国文法	鈴木 浩
宗教学概論B	講師未定
西洋史概説	後藤 秀和
教育制度論	安藤 忠
博物館概論	中野 照男

※「宗教学概論 B」の担当講師及びシラバスは『部報』4月号及び在学生専用サポート（Web 報）にてお知らせします

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 月曜日	時 間	18:30 ~ 21:25							
	授 業 日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ ギュ ラム	受 講 条 件			
A1	英 語 J	佐藤 健児	0041	英 語 I	1年	2年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
A2	民 法 III B	長谷川 貞之	0134	民 法 III	2年						
A3	地 方 自 治 論 B	福島 康仁	0226	地 方 自 治 論	2年						
A4	英 米 文 学 演 習 H	石川 勝	0486	英米文学演習 I	× 3年		・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0487	英米文学演習 II							
			0488	英米文学演習 III							
A5	現 代 教 職 論	宇内 一文	0903	現 代 教 職 論	×	2年		・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
A6	経 済 学 概 論	大塚 友美	0986	経 済 学 概 論		条件 参 照		・ 経済学部のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。			
A7	博 物 館 資 料 論	大塚 英明	2012	博 物 館 資 料 論	×	2年	D	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			

注 意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。 その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆『Chicken Soup for the Soul』を読む (2014) [英語 J]

開講単位：1単位 担当者：佐藤 健児

◆学修到達目標 全米中で感動の渦を巻き起こした短編集『Chicken Soup for the Soul』の精読を通して、読解の方法を学ぶと共に、文法の知識が英文を読む（味わう）うえでいかに重要であるかを実感すること、それをこの授業の目標とします。なお、平成24年度の春期（夜間）スクーリング（英語 G）と同一の教科書を使用しますが、扱う作品は異なります。

◆授業方法 第5編 “The Power of Determination” (p.14) から輪読形式で読み進めていきます。指名された学生にはテキストの音読と和訳（説明）をしてもらい、その後、教員が内容（語法、文法事項等）の確認、解説をしていきます。また、適宜、補足プリントを用いて、英文読解の鍵となるいくつかの重要な文法事項を学習していきます。受講者の様子（や希望）を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまでも「参考」です。

◆準備学修 予習をする際は、辞書や注釈を参照しながらできるだけ丁寧に（語法や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。その際、「どこが理解できなかったのか」を明確にしておきましょう。第1回目の授業では、「品詞と文型」が終わり次第、読解①へと進みますので、そのつもりで準備をしておいてください。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	品詞と文型 読解① (The Power of Determination)
2回目	読解①の続き
3回目	読解② (A Legacy of Love)
4回目	読解②の続き
5回目	読解③ (Remembering Ms. Murphy)
6回目	読解③の続き
7回目	読解④ (Yes, You can)
8回目	読解④の続き 試験

◆教科書 丸沼『ショート・ショート・ストーリーズⅡ』高橋潔編 郁文堂 1,620円（税込）（送料 230円）

◆参考書 英和辞典（『ジーニアス英和辞典』・『ウィズダム英和辞典』など）

丸沼『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料 390円）

丸沼『総合英語 Forest (7th Edition)』石黒昭博監修 桐原書店 1,642円（税込）（送料 390円）

◆成績評価基準 授業への取り組み（予習状況・発表等）・試験により総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の授業時に伝えます。

◆入門 債権法総論

[民法Ⅲ B]

開講単位：2単位 担当者：長谷川 貞之

◆学修到達目標 民法総則・物権法の既修者を対象に、民法典における債権法の基本構造を体系的に理解し、修得することを目標とする。債権は、売買や賃貸借などの各種の契約や不法行為を主たる原因として発生するが、いかなる効力を有し、どのような原因によって消滅するかを学ぶ。

◆授業方法 シラバスに沿って講義形式で行う。適宜、ソクラテスマソッド（問答方法）を用いる。できる限り、具体例を挙げながら考える授業にしたい。

◆準備学修 民法典第3編債権の規定（399条～724条）を音読し、債権総論（399条～520条）と債権各論（521条～724条）の規定上の配置を確認すること。教科書を事前に購入し、2, 3回通読しておくこと。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	民法典の体系と債権法、債権法における総論と各論、債権の意義・目的、債権の法的性質 * 物権との対比を通じて債権の特質を学ぶ。
2回目	債権の種類（特定物債権・種類債権、金銭債権、選択債権）、種類債権の特定と集中、金銭債権の特殊性 * 「給付」の概念を通して各種の債権の違いと民法上の取扱いを学ぶ。
3回目	債権の効力：①履行請求、受領遅滞、債務不履行、第三者による債権侵害／②：債権者代位権と転用事例 * 債権の効力を対内的・対外的に分けて理解する。
4回目	債権の効力：③詐害行為取消権と無資力要件／④詐害取消権の効果—相対的無効とは？ * 責任財産の保全の見地から詐害行為取消権の要件と効果を学ぶ。
5回目	多数当事者の債権債務関係：①分割債権債務／②不可分債権債務、連帯債務／③保証債務 * 債権債務の共有的帰属の多様な形態を規定に即して把握する。
6回目	債権譲渡、債務引受、契約上の地位の移転 * 債権が財貨として第三者へ移転する態様とその目的を知るとともに、債務についても同様の視点から考察する。
7回目	債権の消滅原因①：総論—7つの消滅原因、②弁済（代物弁済、供託を含む）とその方法・場所、③相殺と担保的機能 * 債権に特有の消滅原因を理解する。
8回目	まとめ＆試験 * 債権の発生・効力・消滅を「債権の一生」を通して体系的に整理するように心掛ける。

◆教科書 丸沼『民法Ⅲ—債権総論 [第3版補訂]』有斐閣 S シリーズ 野村豊弘ほか 有斐閣 2012年 1,836円（税込）（送料 340円）

◆参考書 丸沼『民法判例百選Ⅱ [第6版]』中田裕康ほか 有斐閣 2009年 2,263円（税込）（送料 340円）

丸沼『解説 新条文にない民法』椿寿夫・中舎寛樹編 日本評論社 2011年 3,240円（税込）（送料 390円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、平常点（20%）、試験（80%）で評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆地方分権時代の今、自治について考える

〔地方自治論 B〕

開講単位：2単位 担当者：福島 康仁

◆学修到達目標 地方分権が進展しているが、地方自治の主人公であるはずの住民の多くはその自覚に乏しい。そこで、本講義では、日本の地方自治制度を中心に概念や沿革などの基礎知識を理解したうえで、自治について自ら考え、地域で行動できる力を養うことを目的にしている。

◆授業方法 授業計画に沿って講義を進めていく。できるだけ平易なことばを用い、初心者でも理解可能な説明を試みる予定である。適宜ノートをとり、理解を深めてほしい。また、受講生数によるが、確認テスト（小テスト）を実施したいと考えている。

◆準備学修 近年、地域の課題や取組について様々なニュースなどが新聞やテレビで取り上げられている。受講生はそれらの情報について関心をもってほしい。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	地方自治とはなにか。その概念について学ぶ。また、憲法で地方自治についてどのように規定しているか眺める。
2回目	日本では地方自治についてどのような歴史があるのか学ぶ。
3回目	地方公共団体の種類について学ぶ。また、その権限の違いについて検討する。
4回目	地方公共団体の区域について学ぶ。市町村合併などについても検討する。
5回目	地方公共団体の事務について学ぶ。法定受託事務と自治事務などについて学ぶ。
6回目	地方公共団体の住民について学ぶ。どのような権利義務が住民にはあるのか検討する。
7回目	地方公共団体の議会、地方公共団体の執行機関、長と議会の関係について検討する。
8回目	まとめと、国との関係など残された課題について検討する。最終テスト

◆教科書 テキストは指定しないが、下記の参考書に準拠して行うので、どちらかを入手しておくことを薦める。

◆参考書 通材『地方自治論 0226』 通信教育教材（教材コード349）1,900円（送料込）
丸沼『地方自治論』 山田光矢・代田剛彦編 弘文堂、2,160円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 最終日に実施する試験答案を70%で評価して、30%を平常点評価とする。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の講義日に伝える。

◆サリンジャーを探して

〔英米文学演習 H〕

開講単位：1単位 担当者：石川 勝

◆学修到達目標 日本で最もよく読まれているアメリカの作家のひとりであるサリンジャーの短編小説を読み、ユダヤ人独特的文化的背景から謎に満ちた内容を解き明かしていく。

◆授業方法 基本的にテキストを訳す形をとる。授業中は指名して訳してもらうので、必ず事前に全訳しておくこと。そのうえで作品の解説を行う。

◆準備学修 事前に指示された個所を全訳しておくこと。授業中はアトランダムに指名し訳を言ってもらう。予習していない場合は単位を認めない。初回の授業ではp41～43を訳しておくこと。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ガイダンス Down at the Dinghy を読む
2回目	続き
3回目	続き
4回目	作品の解釈 The Laughing Man を読む
5回目	続き
6回目	続き
7回目	続き
8回目	作品の解釈 テスト

◆教科書 丸沼『The Laughing Man and Other Short Stories』南雲堂 1,836円（税込）（送料260円）

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 予習が基本条件である。そのうえで作品の解釈を書いてもらい評価をつける。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代の教師に求められるもの

〔現代教職論〕

開講単位：2単位 担当者：宇内 一文

◆学修到達目標 この科目は、「教育職員免許法施行規則」で定められている「教職の意義等に関する科目」のひとつで、教職の意義、教師の役割・職務内容等に関する基礎的事項を学ぶことが期待されています。教職の意義や教師の役割、教師像や教師教育の歴史、教師の職務内容に関する基礎的事項の理解を本授業の目標とします。

◆授業方法 当日配布するレジュメを用いて講義形式で行います。併せて、授業で取り扱ったトピックについて少人数グループでの話し合いやクラス全体でのディスカッション、報告会などを行うことにより理解の定着と学びの深化を図っています。

◆準備学修 日々の新聞やニュースなどの教育にかかわる報道に关心をもつのは大切なことです。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス	教職という仕事
2回目	授業の構成とデザイン	授業デザインを支える教師の知識と思考
3回目	評価する主体としての教師	ともに学び続ける教師
4回目	カリキュラムをデザインする	子どもの心に寄り添うために
5回目	教師のやりがいとバーンアウト	学校における同僚性と教師文化
6回目	教師の地位と職務	教師の身分と勤務待遇
7回目	教師観の変遷	教師の仕事とジェンダー
8回目	教育改革と教職の未来	理解度の確認と総括

◆教科書 教科書は使用しません。〔当日資料配付〕毎回レジュメを配布します。

◆参考書 授業中に適宜指示をする。

◆成績評価基準 試験(70%)、授業参画度(30%)【授業への取り組み(発表など)、リアクション・ペーパー、レポート、最終試験などにより総合的に評価します】

◆授業相談(連絡先)：

◆経済学の基本的潮流を理解する

〔経済学概論〕

開講単位：2単位 担当者：大塚 友美

◆学修到達目標 本講義の目的は、ミクロ経済学・マクロ経済学の基本理論に関する講義を通して、①人間の経済活動に関するイメージを形成すること、②経済学の発展に関する基本的潮流を理解すること、③現実の経済問題を自ら考える力を養成すること、の3点にある。

◆授業方法 授業は原則として講義形式を中心に行うが、必要に応じて、①現実の経済問題に関する事例研究、②模擬実験(シミュレーション)などを行うことにより、経済活動への理解を深めることを目指す。

◆準備学修 教科書をよく読み、ノートを作成する等の予習をしておくこと。また、授業終了後の復習において、講義の内容をチェックすること。なお、講義内容のうち教科書に記載されていない事項に関しては、資料のプリントなどを配布する。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	市場の仕組・機能と市場経済。市場経済の心臓部あるいは中核ともいべき市場の仕組と機能を概観した上で、市場経済の特徴や問題点などを論ずる。
2回目	家計の行動。家計の行動を、財を消費して効用を最大化する消費面と、生産要素である労働力を企業等に提供する供給面の2つの側面から考察する。
3回目	企業の行動。完全競争市場下における企業の行動と、独占企業の行動を理論的観点から概観した上で、それらの特徴と問題点を考察する。
4回目	有効需要の原理1。ケインズが唱えた「有効需要の原理」の基本を概観した上で、その特徴と問題点等について論ずる。
5回目	有効需要の原理2。近年において、「有効需要の原理」に基づく政策の効果が弱まってきた理由などを、理論と現実の側面から考える。
6回目	景気変動。景気変動の意味と種類、これを引き起こす要因などを理論的側面から解説した後に、「加速度原理」を用いて景気変動が起こる過程を確認する。
7回目	経済の成長と発展。経済が成長し発展する過程を、ハロッド＝ドーマー・モデルを用いて概観した上で、その妥当性を模擬実験によって確認する。
8回目	経済変動と人口変動。経済学の教科書では触れられることは少ない経済変動と人口変動との相互作用について、理論と実証の側面から概説する。

◆教科書 『経済学概論 0986』 通信教育教材(教材コード 000244) 1,850円(送料込)

◆参考書 丸沼『実験で学ぶ経済学』 大塚友美 創成社 2,808円(税込)(送料 340円)

◆成績評価基準 最終(期末) 試験により評価する。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館資料が語るもの

〔博物館資料論〕

開講単位：2単位 担当者：大塚 英明

◆学修到達目標 テーマを「博物館資料が語るもの」と設定し、多様化する博物館資料の保存と活用の在り方について検討するとともに、これを取り巻く今日的な課題を探り、基礎的な能力を構築する。

◆授業方法 上記の「学修到達目標」を視野に入れ、以下の項目を基軸に講義を基調として、必要に応じて質疑応答を行い理解の深化を図る。

1. 博物館資料の概念を理解する。
2. 博物館資料の調査・研究を考える。
3. 博物館資料の保存と活用の在り方を考える。

◆準備学修 我が国の国公私立の博物館・美術館・資料館などの公開施設の内、1館を選定して当該館の所蔵する博物館資料を概観し、関心のある博物館資料について調べておくこと。また、館案内及び資料の映像を用意しておくこと。なお、授業内で各自の報告を予定している。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	博物館資料とは何か。博物館資料化へのプロセスを探る。
2回目	博物館資料の種類と分野。博物館資料（人文系）の収集。
3回目	博物館資料（人文系）の調査・研究と保存対応。
4回目	博物館資料（自然系）の収集。博物館資料（自然系）の調査・研究と保存対応。
5回目	質疑応答 課題について各自の報告を行う。
6回目	画像形成と保存科学的調査の確保。
7回目	展示公開における博物館資料の存在と意義。
8回目	博物館資料の現状把握と今後の課題。

◆教科書 使用しない。〔当日資料配付〕授業内に関連資料等を配布する。

◆参考書 なし。授業時に指示する。

◆成績評価基準 授業内報告（30%）、試験（70%）を基準に総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間

火曜日

時 間	18:30~21:25							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
授 業 日	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8

※以下の火曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限 ・ 注 意		
			科 目 コ ード	科 目 名		配 当 学 年	カリ キュ ラ ム	受 講 条 件
B1	英語基礎 B	佐藤 恵一	0046	英語基礎		1年	D	・英文学専攻は申込不可。
B2	行政法 I	和知 賢太郎	0122	行政法 I		2年		
B3	国文学史 I	加藤 清	0311	国文学史 I		2年		
B4	英作文 I B	ダレル ハーディ	0447	英作文 I	×	2年		・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。
B5	宗教学基礎講読	合田 秀行	0092	宗教学基礎講読		2年		
B6	経済史総論 B	飯島 正義	0720	経済史総論		条件 参照		・経済学部のみ1学年以上申 込可。 ・その他は2学年以上申込可。
B7	貿易論	飯野 文	0822	貿易論		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆英語と文化

〔英語基礎 B〕

開講単位：1単位 担当者：佐藤 恵一

◆学修到達目標 英語が世界各地で使われている現在、各国の文化や歴史を学ぶと同時に様々な英語に触れる重要な性が高まっています。ここでは文化や歴史に触れるとともに英語力、特にリスニング力を高めます。グローバルな英語を聞き情報を増やし、英語・米語以外の世界の英語を確かめます。

◆授業方法 ウォームアップで各国に対する事前認知を高め、リスニング中心に歴史・文化・民俗などをDVDで確認します。繰り返し映像を見ることで設問に答えられるようにしていきます。また、各国の英語話者にインタビューし、英語の特徴を再認識します。基礎学習なので基礎的な部分を強く意識し学習します。

◆準備学修 事前に割り当てられた国歴史・文化・言語の特徴について予習をしておくことで事前の認知力が高まり、本文を学習する際に大いに理解する判断力を養います。インターネットや参考書なども利用し、事前学習を欠かさないようしてください。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	南米 BRAZIL (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
2回目	ヨーロッパ 1 FRANCE (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
3回目	ヨーロッパ 2 ITALY (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
4回目	ヨーロッパ 3 DENMARK (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
5回目	ヨーロッパ 4 PORTUGAL (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
6回目	アフリカ 1 EGYPT (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
7回目	アフリカ 2 SOUTHAFRICA (基本英語・DVD・Part1／Part2・インタビュー)
8回目	まとめとテスト

◆教科書 丸沼『World Adventures』KINSEIDO 2,484円(税込)(送料340円)

◆参考書 丸沼『5分間ヒアリング』南雲堂 756円(税込)(送料230円)

◆成績評価基準 授業への参加(学習意欲・発表・グループ活動等)と最終のレポートによる課題で総合的に評価

◆授業相談(連絡先)：

◆行政の仕組みとその諸活動

〔行政法 I〕

開講単位：2単位 担当者：和知 賢太郎

◆学修到達目標 本講義は行政法体系の概略、特に、その制度と理論を把握することができるようになることを目標としています。そこで行政法Iでは、「行政法とは」、「法律による行政の原理」、「行政を行う組織・活動」を中心とした行政法理論についてできるだけ平易に説明したいと思います。その過程で行政と行政法への関心を深め、行政法を支える理論の概要を理解してもらいたいと思います。

◆授業方法 主として講義が中心となります。毎回、それぞれのテーマに応じて講義ノート中心として、必要な資料(プリント)を配布します。講義内容はあらかじめパワー・ポイント原稿にしてありますので、プロジェクターを使用して講義を行います。

◆準備学修 原則として、毎週配布するプリントは次回の授業内容を含めたものになっています。講義時に講義ノートプリントに各自が補った内容を確認しながら、次回の講義の準備としてテキストや講義で紹介する参考書などを読む、というサイクルを繰り返して下さい。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	① ガイダンス ② 行政とは何か、行政法とは何か、行政法の特質、行政法の法源など
2回目	① 行政上の法律関係 ② 「法律による行政の原理」
3回目	① 行政の仕組みと行政活動の主体 ② 中央と地方の行政組織
4回目	① 行政機関(行政庁とその他の行政機関、権限等) ② 行政立法(法規命令と行政規則)
5回目	① 行政計画(類型、行政計画と法律による行政の原理、策定手続等) ② 行政契約
6回目	① 行政指導(類型、法的統制、行政手続との関係、要綱行政との関係等) ② 行政行為(1)(行政行為の概念、分類、行政行為と裁量)
7回目	① 行政行為(2)(行政行為と裁量、行政行為の附款) ② 行政行為(3)(行政行為の諸効力)
8回目	① 行政行為(4)(行政行為の瑕疵、行政行為の取消と撤回) ② 試験の実施

◆教科書 通材『行政法I 0122』通信教育教材(教材コード000051) 2,600円(送料込)

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として講義ごとに実施する小テスト(40%)、試験(60%)で総合的に判断します。

◆授業相談(連絡先)：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆日本文学史の初期を理解しよう

〔国文学史Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：加藤 清

◆学修到達目標 奈良から平安までの時代を概観しながら、日本文学の歴史的変遷・展開の基礎的な知識をもつことを目標としています。また、そのような展望から、特に散文（古代伝承・物語）を中心として各作品の特質を通じ、文学作品全般について有する諸問題の基礎的な知識が発見できるような考え方を習得することも目標にします。

◆授業方法 講義形式での授業となります。文学史ではあるが、授業ではできるだけ作品にふれ、講読（解釈と解説）を加えながら、その特色と変遷を考えます。そのことから、個別の作品と向かい合ったときの周辺知識を確立できるような講義をします。

◆準備学修 講読形式の授業内容ではあるが、奈良・平安時代の歴史的事項や文学ジャンルについて、どのような事があるのか、表面的にでも予備知識があれば、より深く考察できます。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	「文学史の立場（はじめに）」一科の学問として「文学史」にはどのような視点が求められるのか理解を深めていきます。
2回目	「文学の発生」文学史の基礎となる文学の発生各説と文学ジャンルとの関わりについて理解します。
3回目	「『古事記』『日本書紀』『風土記』の成立と特質」神話・古伝承についてその特質を学びます。
4回目	「文字と文学」文字の獲得による文学の変質についての基礎的な視点を学びます。
5回目	「『懐風藻』の成立と特質」漢詩文の展開とその意義について理解します。
6回目	「『古今集』の成立」平安文学の成立とその時代背景について学びます。
7回目	「『土佐日記』の成立と展開」新しい散文世界について、新たな特質にはどのようなものがあるのか理解します。
8回目	「まとめと試験」それまでの講義の内容を総括して文学史の問題点を理解します。

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布

◆参考書 必要に応じて紹介するが、市販の入門書などを事前に読んでおくとよい。

◆成績評価基準 皆出席を前提として、試験 100%

◆授業相談（連絡先）：

◆English Composition 1

〔英作文Ⅰ B〕

開講単位：2単位 担当者：ダレル ハーディ

◆学修到達目標 In this course we will focus on the use and application of various sentence types and language structures to improve the clarity of expression through writing. We will also review paragraph structure and practice writing paragraphs of different types and different topics. Students will also have the opportunity to write a short narrative.

◆授業方法 This course will follow the process writing approach to improve writing fluency and to generate ideas for composition. For some activities, students will be required to work in pairs or small groups.

◆準備学修 No preparation or prerequisites are required, however, students should have a good understanding of basic sentence structure.

◆授業計画〔各170分〕

1回目	Orientation. A review of select sentence patterns and key words to link, compare, and contrast ideas. How to express thoughts in imaginative figurative language.
2回目	How to express thoughts in imaginative figurative language continued using similes, metaphors, and other expressive devices. The analysis of excerpts from works of experienced writers.
3回目	A look at some common mistakes and how to revise to clarify and refine ideas. Introduction to paragraph organization.
4回目	Quiz of materials related to sentence level composition. Paragraph organization continued: topic sentences, supporting sentences, and concluding sentences.
5回目	A look at prewriting activities for generating ideas for writing. Compose paragraph and peer feedback. Analyze different types of paragraphs and compose.
6回目	Complete final draft of paragraphs and submit for grading. Focus on narrative writing and the use of illustrations to generate ideas for narratives.
7回目	Group activity to brainstorm ideas for narrative. Begin composing narrative.
8回目	Complete first draft of narrative, peer feedback and revision. Complete and submit final draft.

◆教科書 No textbook is required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆参考書 A dictionary may be useful but not necessary.

◆成績評価基準 Students will be required to write a quiz and submit several paragraphs and a short narrative for grading. Class participation will also be considered part of the grade.

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆主な仏教經典を読み解く

【宗教学基礎講読】

開講単位：2単位 担当者：合田 秀行

◆学修到達目標 インドにおいて成立した仏教經典の成立過程と多種多様な經典の種類と特徴について理解することを目的とします。日本人には馴染みのないパーリ語で書かれた『原始經典』、さらに漢訳を経て日本でも受容され、各宗派にとっても重要な『大乘經典』のサンスクリット原典からの現代語訳に基づいて、その意味を理解する。

◆授業方法 担当者が作成したプリント教材を使用して、原則的には『原典和訳』の解説を軸として講義形式で進めます。質問などは隨時受け付けます。また、関連する映像や音声の資料も活用して、より理解を深めるように工夫します。

◆準備学修 第1回目は当日にプリントを配布しますが、次回以降については前もってプリントを配布しますので、事前にプリントに目を通して臨んで下さい。また、通信教育部教材の宗教学関連のテキストに記述されている「仏教」関係の箇所などを学習しておいてください。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	ガイダンス まず『原始經典（初期經典）』の成立と分類について概観し、これらの經典が記述されているパーリ語の初步的な知識についても説明します。ブッダの生涯に関する映像資料鑑賞。
2回目	『原始經典』に属する「小部經典」の中から、代表的な「ダンマ・パダ」「スッタ・ニバータ」の一部を取り上げ、その後に成立した仏典類や他宗教のテキストと比較しながら講読します。
3回目	『原始經典』に属する「相應部經典」の中から、「梵天勸請」「初転法輪」「病重きヴァッカリ」の三つを講読し、仏陀の説いた根本思想である四聖諦・五蘊説・無常などについて学びます。
4回目	『原始經典』に属する「長部經典」の中から、「大パリニッバーナ經」（中村元訳『ブッダ最後の旅』）の主要箇所を講読し、中村先生監修の映像「ブッダ最後の旅路をゆく」を鑑賞します。
5回目	多種多様な『大乘經典』ならびに主要な論書の成立と分類について概観した上で、『大乘經典』にある程度共通する大乘仏教の思想的な特徴についても理解を深めるようにします。
6回目	日本人に最も親しまれている『般若心經』を原典のサンスクリット語・漢訳・現代語訳を対照しながら解説します。ダライ・ラマ法王 14 世が、「般若心經」を解説している映像資料も鑑賞予定。
7回目	日本仏教における主要な宗派の拠り所となっている『法華經』や淨土三部經の一つ『大無量壽經』のサンスクリット語原典の現代語訳から主要な部分のみを抜粋して講読します。
8回目	インド大乘仏教哲学の双璧をなす二大学派である中觀派・唯識派の中から、世親（ヴァスバンドゥ）作の『唯識三十論』の一部を講読し、唯識思想の大要を解説します。最終試験

◆教科書 [当日資料配付] 担当者の作成したプリントを使用します。

◆参考書 講義内で、分野ごとに指示します。

◆成績評価基準 平常点（30%）、試験（70%）講義に取り組む姿勢と最終日の試験とで総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆世界資本主義体制とアジア

【経済史総論 B】

開講単位：2単位 担当者：飯島 正義

◆学修到達目標 19世紀半ばまで世界資本主義体制は、イギリスを中心に形成されてきたが、その後アメリカやドイツなどの経済発展によって多極化時代を迎え、第2次大戦後は冷戦体制のもとでアメリカを中心とする世界資本主義体制が形成されてきた。講義では、こうした世界資本主義体制の変化の中で日本をはじめとするアジア諸国がどのように関係してきたのかについて理解を深めていく。

◆授業方法 講義形式。当日配布するプリントを中心に授業を進めていくが、授業時における理解を確認するために「確認プリント」を何回か実施する予定である。

◆準備学修 通信教育部のテキストをはじめ、他の書籍などで予め関係するところを読んでおくと授業の理解が一層深まるものと思われる。

◆授業計画【各 170 分】

1回目	近代社会の形成
2回目	イギリスの産業革命とアメリカ・ドイツの工業化
3回目	イギリスを中心とする資本主義世界体制の成立
4回目	近代アジアの経済社会
5回目	帝国主義体制の成立—独占体制の成立と世界経済の多極化
6回目	帝国主義下のアジア
7回目	第2次世界大戦後のアメリカと日本経済
8回目	戦後アジア経済の展開・発展

◆教科書 [当日資料配付] 授業時にプリントを配布します。

◆参考書 授業時に隨時紹介します。

◆成績評価基準 平常点（取り組み、確認プリント等）：30%，筆記試験：70%

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆貿易・投資の現状と国際貿易・投資ルール

〔貿易論〕

開講単位：2単位 担当者：飯野 文

◆学修到達目標 貿易に関する国際的枠組みやその歴史的背景を学び、貿易に関する知識を身につける。それを踏まえて、現状を分析する能力を養う。貿易の現状に加え、貿易をめぐる諸課題（「非貿易的関心事項」等）、貿易紛争の実態についても学習する。講義全体を通じて、貿易に関連する問題発見・問題解決能力の養成に努める。

◆授業方法 基本的には教科書の内容を中心に、貿易に関する国際的枠組み、ルールの内容について講義する。加えて、新聞記事等を基に、これらの国際的枠組みの内容が現実の国際貿易にどのような影響をもたらしているのかを説明することもある。現実に生じている問題について、ビデオ視聴や、ディスカッションも行う場合がある。

◆準備学修 普段から、新聞（日刊経済紙）を読むことを強く推奨する。事前に参考文献（『WTO入門』）を一読すると、講義の内容に対する理解が深まる。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	①総論（データでみる財・サービス貿易動向） ②国際貿易体制の成立と展開・全体像／関税・輸出入政策
2回目	③基本原則（最惠国待遇原則、内国民待遇原則ほか） ④一般的例外と非貿易的関心事項
3回目	⑤衛生植物検疫措置 ⑥貿易の技術的障害
4回目	⑦貿易救済措置（総論） ⑧貿易救済措置（セーフガード）
5回目	⑨貿易救済措置（アンチダンピング） ⑩貿易救済措置（補助金・相殺措置）
6回目	⑪農産品貿易 ⑫サービス貿易の自由化
7回目	⑬地域経済統合 ⑭原産地規則
8回目	⑮貿易・投資紛争処理制度 ⑯最終試験

◆教科書 通材『貿易論 0822』通信教育教材（教材コード 000439）2,350 円（送料込）

◆参考書 丸沼『国際経済法 第2版』中川淳司他編 有斐閣、2012 年 3,888 円（税込）（送料 390 円）
『WTO入門』UFJ 総合研究所新戦略部通商政策ユニット編 日本評論社、2004 年

◆成績評価基準 原則として、最終試験（授業内試験）に基づき評価するが、授業への取組も含めた総合評価を行う。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 水曜日	時 間	18:30 ~ 21:25							
	授 業 日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		併用	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ ギュ ラム	受 講 条 件			
C1	英 語 K	小田井 勝彦	0041	英 語 I	1年			・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
C2	商 法 I	高岸 直樹	0141	商 法 I	2年						
C3	国文学講義III(中世)	鹿野 しのぶ	0334	国文学講義III(中世)	2年						
C4	英 語 学 演 習 J	真野 一雄	0481	英語学演習 I	×	3年		・英文学専攻のみ申込可。 ・I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			0482	英語学演習 II							
			0483	英語学演習 III							
C5	証 券 市 場 論	高嶋 勝平	0829	証 券 市 場 論	2年						
C6	英 語 科 教 育 法 II	市川 泰弘	0997	英語科教育法 II	×	2年		・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング 1回の合格で単位完成する科目です。			
C7	博 物 館 展 示 論	岡部 幹彦	2014	博物館展示論	×	2年	D	・スクーリング 1回の合格で単位完成する科目です。			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆比較文化で考えるイギリスと日本①

〔英語 K〕

開講単位：1単位 担当者：小田井 勝彦

◆学修到達目標 中級レベル（高校卒業程度）の英語力を持った人を対象とし、基本的な文法事項を確認しながら、英語読解力、表現力の向上を目指します。また、イギリスと日本というふたつの国の文化を比較することで、異文化についての理解を深めると共に、日本社会のすばらしい点、改善すべき点などを考察します。

◆授業方法 下記の教科書の順に、受講者を順番に指名しながら進めています。Warm-up にてその課で学ぶ語彙を確認、本文の読解、Comprehension Question にて本文の内容を確認、Grammar Focus にて基本的な文法事項を学習、Writing Exercise も行ないます。（Free Writing は時間の都合上割愛します）

◆準備学修 下記の授業計画を目安に、教科書の本文を日本語に訳してきて下さい。また、Warm-up、Comprehension Question、Grammar Focus Exercise、Writing Exercise の問題も事前に考えてきて下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス Chapter 1 : The Royal Mail (以下の進度はあくまでも目安です。受講者の反応等により、進度が異なる場合があります。)
2回目	Chapter 2 : British Sports Everywhere
3回目	Chapter 3 : The Beatles Forever
4回目	Chapter 4 : From Cradle to the Grave
5回目	Chapter 5 : Great Novelists
6回目	Chapter 6 : History of the Royal Families
7回目	Chapter 7 : Pound or Euro?
8回目	復習 試験

◆教科書 丸沼『比較文化で考えるイギリスと日本』 南雲堂 2014 2,160 円（税込）（送料 340 円） 3月上旬刊行予定

◆参考書 『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典

◆成績評価基準 試験 70%、平常点（発表、受講状況など） 30% ※毎回出席することを前提としています。

◆授業相談（連絡先）：

◆企業法入門～企業活動の規律を考える

〔商法 I〕

開講単位：2単位 担当者：高岸 直樹

◆学修到達目標 企業活動に関する規律について、具体的なケースに即し、説明することができるようになることを目的とします。商法・商行為法を中心に企業活動に関する規律を学び、会計、登記、国際取引などの企業実務の基礎についても修得します。

◆授業方法 入門編から講義形式で行います。また、この講義では、毎回、論述式の小テストを行います。単なる知識の習得だけでなく、自分なりに考えを組み立て、展開することが求められます。まずは講義をしっかりと聞き、「考え方」のポイントを学んでください。

◆準備学修 テキストに目を通し、参考する条文を六法で確認しておきましょう。また、授業で紹介する判例について、図書館の文献等を活用し、自分なりに考えてみましょう。なお、小テストは翌週に返却します。復習しておきましょう。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	法体系のなかでの企業法制 企業とはなにかを理解し、商法の意義、その立法構造を学びます。
2回目	商人と商行為 商行為とはなにかを知り、商人概念、商人資格の取得、そして、営業の意義について学びます。
3回目	営業の物的設備 1 公示制度としての商業登記を学びます。また、商号の保護の必要性、名板貸について考えます。
4回目	営業の物的設備 2 商業帳簿の意義と効果を学びます。また、営業譲渡の意義、第三者との関係を考えます。
5回目	営業の人的設備 企業取引の補助者として、支配人、代理商などを考えます。
6回目	企業と売買取引 企業の売買取引に関する特則について民法の規律と比較し学びます。
7回目	企業取引における注意義務と責任 運送・倉庫・場屋取引に関する規律から、企業取引における注意義務と責任を考えます。
8回目	講義のまとめと試験

◆教科書 ① 丸沼『現代商取引法』藤田勝利=工藤聰一編 弘文堂 3,024 円（税込）（送料 340 円）
② 【当日資料配付】当日プリント配付 ③ 最新版の「六法」

◆参考書 随時指示します。

◆成績評価基準 平常点 20%、1回目から7回目までの講義中に実施する小テスト 20%、最終試験 60%。授業に毎回出席することを前提として評価します。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の授業時に伝えます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『徒然草』に学ぶ

〔国文学講義Ⅲ（中世）〕

開講単位：2単位 担当者：鹿野 しのぶ

◆学修到達目標 鎌倉時代末期・南北朝時代に成立した『徒然草』の各章段を丁寧に説解することによって、中世文学の表現とその特質について理解を深める。作品の研究方法についても考える。
また江戸時代の注釈書を影印で読み、『徒然草』の享受を考え、さらに変体仮名の習得も行う。

◆授業方法 教科書として指定した文庫本に掲載される章段を虚心に説解する。必要に応じてプリントを配布し解説する。講義形式が基本であるが、本文の味読においては朗読、テーマによっては質疑や自分の感想・意見などを発言する時間を設ける。講義の途中で、確認の小テストを行いながら進める。

◆準備学修 教科書 p270～p278 をよく読んでから授業に臨むこと。第一回目の講義の折にこの部分に関する小テストを行う。教科書の目次を参照し、コラムを事前によく読んでおくとよい。教科書 p279・280 に挙げられている参考図書を図書館などで通読しておくとよい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	『徒然草』の概説 成立時期、諸本について。作者兼好について（歌人活動など）。
2回目	『徒然草』に学ぶ中世の年中行事と自然観①
3回目	『徒然草』に学ぶ中世の年中行事と自然観②
4回目	『徒然草』に学ぶ中世の寺社①
5回目	『徒然草』に学ぶ中世の寺社②
6回目	『徒然草』に学ぶ兼好の人間観①
7回目	『徒然草』に学ぶ兼好の人間観②
8回目	『徒然草』を学ぶ 江戸時代の享受（注釈・パロディ） まとめ

◆教科書 丸沼『ビギナーズクラシック徒然草』角川書店編（角川ソフィア文庫）720円（税込）（送料 260円）
古語辞典を毎回持参すること（電子辞書でもよい）。

◆参考書 教科書 p279・280 に挙げられている図書の他、授業時に適宜紹介する。

◆成績評価基準 試験（70%）平常点（30%）。毎回出席することを前提として評価する。

◆授業相談（連絡先）：

◆意味論を中心に

〔英語学演習 J〕

開講単位：1単位 担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文学専攻の学生として必要な形態論・意味論の知識を全般的に修得します。

◆授業方法 テキスト（英文）を読み、本文の要約、章末の Comprehension Check, Exercises の解答を受講者に発表してもらいます。

◆準備学修 テキスト（英文）はあらかじめ読んで理解できるところ、理解できないところの確認をして下さい。また、章末の Comprehension Check, Exercises の答を考えておいて下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Ch. 1 Why Study English Linguistics?
2回目	Ch. 3 How Words Are made: Morphology (1)
3回目	Ch. 3 How Words Are made: Morphology (2)
4回目	Ch. 4 How Words Mean: Semantics I (1)
5回目	Ch. 4 How Words Mean: Semantics I (2)
6回目	Ch. 7 How Words Mean: Semantics II (1)
7回目	Ch. 7 How Words Mean: Semantics II (2)
8回目	Ch. 1, 3, 4, 7 の復習・まとめ+試験

◆教科書 丸沼『First Steps in English Linguistics. 「英語言語学の第1歩」』くろしお出版 1,728円（税込）（送料 340円）

◆参考書 英語学入門書・英語学概論書ならなんでも

◆成績評価基準 発表（20%）、試験（80%）で評価（試験は途中退出なしです）。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆真の証券市場を理解するために

〔証券市場論〕

開講単位：2単位 担当者：高嶋 勝平

◆学修到達目標 真の証券市場を理解するために、初步的な分野については最低限の知識を完全に理解する段階までを学習到達の目標とします。更に、一部専門的分野についても知識として認識できる段階までを学習到達の目標とします。

◆授業方法 予め配布するレジュメに沿った講義を基本とします。質疑応答も行います。スクーリング期間中生じた証券市場に関する重要事象についての解説、質疑応答も行います。電卓は必携とします。

◆準備学修 証券市場に関する新聞（日本経済新聞他一般紙）、雑誌の記事をスクラップしておいて下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	・講義の方向性と概観	・証券市場論とは
2回目	・証券会社の定義	・証券会社の機能と役割
3回目	・証券会社の業務の実態	・証券街の業務について
4回目	・証券会社の取り扱う商品（エクイティ、債券、証券投資信託、デリバティブ他）	・リポート作成（理解度チェック）
5回目	・証券会社における取引の実態（流通市場の実態、発行市場の実態Ⅰ）	
6回目	・証券会社における取引の実態（流通市場の実態、発行市場の実態Ⅱ）	
7回目	・証券市場における利害関係者についての詳論	
8回目	・証券市場の変遷（環境の変化、国際化とその影響等）	・レポート作成（試験）

◆教科書 特に使用しません。〔当日資料配付〕レジュメを配布します。

◆参考書 必要に応じて指示します。

◆成績評価基準 レポート形式の試験を実施します。
理解度を把握するために中間時にレポートを作成してもらいます。

◆授業相談（連絡先）：

◆新しい英語教員をめざして

〔英語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：市川 泰弘

◆学修到達目標 本講義ではこれまで行われてきた英語教育、さまざまな教授法を概観しながら、日本の英語教育の現状を理解し、教える側の資質、能力はどのようなものであるべきかを考えていきます。また、学校で英語を教える場合のソフト面・ハード面についても考察していきます。

◆授業方法 グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆準備学修 講義では事前に学習し、理解した内容に踏まえ、新たな資料等を用いて、テーマディスカッションをしてもらうことになります。従って、教科書は事前にそれぞれのテーマに関わる部分を読み、自分でまとめてみてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	オリエンテーション、日本の英語教育の歴史－明治時代と日本の英語教育、戦前・戦中の英語教育、戦後の英語教育、テーマディスカッション
2回目	学習指導要領について：目的、言語教材、受験英語 テーマディスカッション
3回目	英語教授法について：教授法とは？ テーマディスカッション
4回目	英語教授法について（1）：Grammar Translation Method, Direct Method, Eclectic Method テーマディスカッション
5回目	英語教授法について（2）：Communicative Approach, Audio-lingual / Audio Visual テーマディスカッション
6回目	最近の英語教育の動向：Task – based, Situation based approach テーマディスカッション
7回目	指導方法の改善と英語教員 テーマディスカッション
8回目	英語教員の役割と要件 テーマディスカッション

◆教科書 通材『英語科教育法Ⅱ 0997』通信教育教材（教材コード 000490）3,200円（送料込）

〈この教材は、市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会（三修社）と同一です。〉

◆参考書 丸沼『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』金谷 憲著 大修館書店 1,944円（税込）（送料 340円）

丸沼『Teaching by Principles — An Interactive Approach to Language Pedagogy (3rd Edition)』
Brown, H.D. Longman 5,227円（税込）（送料 390円）

◆成績評価基準 受講状況・発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆モノに語らせる博物館の展示

〔博物館展示論〕

開講単位：2単位 担当者：岡部 幹彦

◆**学修到達目標** 博物館の最も主要な機能の一つである展示とは何か。加速する情報化社会にあって、モノを観ること、モノを展示することの意味を探り、現代社会への新たな対応を求められている博物館における展示の理論及び方法に関する知識・技術を習得します。また、国内外の展示事例の検証を通じて、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養うことを目標とします。

◆**授業方法** 毎回、資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進めることを基本にしますが、積極的な学習とより深い理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求めます。また、映像資料や実物資料を用いて展示の目的や方法について多様な視点を提示して、展示計画から展示作業に係る実務について論じ、模擬的な展示計画を作成します。

◆**準備学修** 館種を異にする身近な博物館施設（美術館を含みます）を訪れ、館案内パンフレットやリーフレットを入手し、少なくとも利用者として博物館を理解しておいてください。また、特別展（企画展）や常設展を観覧して、どのように個々の資料が展示されているか、どのように全体が構成されているか、観覧者の反応などを観察してください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス（授業の進め方と留意点）。展示の歴史と現代：ヨーロッパと我が国の博物館の歴史、博物館の機能と展示の変遷、今日の博物館をとりまく状況と展示の課題。
2回目	展示の意義：観ることの意味と展示の意義、モノを観るとはどういうことか（画像や実物資料を用いて実際に体験）、資料を観察する主体的な行為と与えられる情報。
3回目	展示の諸形態と企画・運営：展示と館・学芸員との関係、主催関係、展示方法などによる多様な展示の形態、展示の企画・運営、他の機関や業者、法令等との関係。
4回目	構想から展示計画・展示作業の実際：展示構想の要点、準備プロセスと各種の交渉・館内外との連携、展示計画の要点と作成実習、展示作業の要点。
5回目	展示と展示環境：展示環境に求められるもの、資料保存と展示、ファシリティ・レポートの実際、展示のリスクマネジメント、保険と国家補償。
6回目	展示の方法と技術：多様な展示方法、資料の特性と適切な展示、展示用具と演示具、演出とフラットな展示、ユニバーサルデザイン。展示効果と展示の評価：展示の評価方法、展示の検証と改善。
7回目	展示と情報：展示による教育活動と自由な学び、展示と資料情報の提供、図録とパンフレット、情報機器。
8回目	まとめ。今日の博物館の課題と展示の可能性、学芸員の果たす役割。試験。

◆**教科書** 使用しない。〔**当日資料配付**〕授業時に資料プリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『新時代の博物館学』 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版 2,052 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組みと試験により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間

木曜日

時間	18:30~21:25							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
授業日	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
D1	政治学	関根 二三夫	0023	政治学		1年		
D2	英語	L パトリック マッコイ	0041	英語 I	1年			・I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0042	英語 II				
			0043	英語 III	2年			
			0044	英語 IV				
D3	刑法 I	坂井 愛	0151	刑法 I	条件参照			・法律学科のみ1学年申込可。 ・その他は2学年申込可。
D4	イギリス文学史 II	猪野 恵也	0412	イギリス文学史 II		2年		
D5	スピーチコミュニケーションI	アレックス ブラウン	0453	スピーチコミュニケーションI		2年		・英文学専攻のみ申込可。
D6	会計学	吉田 武史	0851	会計学		2年		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆政治を基礎から学びましょう

〔政治学〕

開講単位：2単位 担当者：関根 二三夫

◆学修到達目標 基礎教育としての講義を行います。議会及び内閣もしくは大統領の働きを見ますと、政治が難しい事のように感じられます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆授業方法 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆準備学修 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学修の準備として、メディアの情報等に关心を持ち、テキストを参考に各単元2時間程度の予習と、2時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	政治学の変遷、政治の概念 ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治とは何かを学びます。
2回目	政治の本質、政治権力（概念・構造） ※あるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、政治権力の仕組みを学びます。
3回目	政治権力（支配の手段）、国家（成立の要素・分類） ※支配の典型的な手段、国家を成立させる要素、一定の基準に基づく国家の分類を行います。
4回目	議会政治（沿革・原理）、議会の構成、立法部と行政部 ※議会政治の歴史や議会政治の基本的な考え方、一院制や二院制、議院内閣制や大統領制について学びます。
5回目	選挙制度の原則、選挙区の画定、選挙区制、代表選出の形態 ※選挙の仕組みを支える基本的な原則、選挙区を作成し決定するための基本的な考え方、代表を選出する方法などを学びます。
6回目	政党（概念・特徴・発展過程・機能・問題点） ※政党とは如何なるものか、特徴や沿革、形態や働き、問題点を学びます。
7回目	圧力団体（概念・特徴・活動・問題点） ※圧力団体とは如何なるものか、特徴や活動、問題点を学びます。
8回目	コミュニケーションとリーダーシップ ※コミュニケーションの機能、類型、方向性、リーダーの役割について学びます。

◆教科書 通材『政治学 0023』通信教育教材（教材コード 000279）1,800円（送料込）

◆参考書 丸沼『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他、南窓社、3,132円（税込）（送料 390円）

◆成績評価基準 試験 70%，平常点 30%
※試験同様、質問や小テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席しないように注意してください。

◆授業相談（連絡先）：

◆ CURRENT ENGLISH

〔英語 L〕

開講単位：1単位 担当者：パトリック マッコイ

◆学修到達目標 The purpose of this course is to develop English language skills by studying current English use in a variety of mediums.

◆授業方法 Students will develop all four language skills through a number of activities related to newspaper articles, video news reports, and study of a contemporary film. This will involve individual, pair, and group work. Students will be required to prepare homework for class on occasions.

◆準備学修

◆授業計画〔各170分〕

1回目	Introduction/Orientation; News Article 1; Homework: News & Views 1
2回目	News & Views 1; Video Report 1; Homework Listening Log 1
3回目	Listening Log 1 : News Article 2; Homework: News & Views 2
4回目	News & Views 2; Movie Lesson 1
5回目	Movie Lesson 2; Movie Lesson 3
6回目	Movie Lesson 4; Movie Lesson 5
7回目	Movie Activity; News Article 3; Homework: Listening Log 2
8回目	Listening Log 2; News Article 4

◆教科書 No text. The instructor will provide material and students will be responsible for homework to be used in class.

◆参考書

◆成績評価基準 70% for Homework assignments / class participation 30% Movie Test or Assignment

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆刑法総論の基礎を押さえる

【刑法 I】

開講単位：2単位 担当者：坂井 愛

◆学修到達目標 犯罪とは何か、刑法総論の構造、どのような行為が犯罪として刑罰の対象となるのか等について、具体例を示して学習することにより、刑法の条文を読み・解釈できるようになる。

◆授業方法 教科書に基づき講義を行う。主に、犯罪として刑罰の対象となるにはいかなる要件が必要となるか（犯罪の成立要件）を整理する。

場合によっては、新聞記事、裁判例、判例等を資料として配付して、事案を検討しつつ授業を進める。

◆準備学修 特に事前の準備は必要ないが、教科書のP1～P12までを一読してきて欲しい。

◆授業計画【各170分】

1回目	基礎理論：①刑法の意義・性格、②刑法の機能、③刑法の解釈、④刑法の基本原理、⑤刑法の適用範囲 犯罪論：①総説、②行為、③構成要件総説
2回目	構成要件：①実行行為、②因果関係、③主觀的構成要件要素
3回目	違法性：①違法性の意義、②可罰的違法性、③違法性阻却事由
4回目	責任：①責任能力、②刑事未成年者、③原因において自由な行為の理論、④責任故意、⑤責任過失、⑥期待可能性 未遂犯：①総説、②実行の着手、③中止未遂
5回目	共犯1：①総説、②共同正犯
6回目	共犯2：①教唆犯、②從犯
7回目	共犯3：共犯の諸問題
8回目	罪数論、刑罰論 試験

◆教科書 丸沼『法学刑法1総論』 設楽裕文編 信山社 1,296円（税込）（送料260円）

◆参考書 必要に応じて適宜資料として配布する。

◆成績評価基準 最終回に実施する試験結果に基づき判断する。

◆授業相談（連絡先）：

◆ヴィクトリア朝からJames Joyceまで

【イギリス文学史II】

開講単位：2単位 担当者：猪野 恵也

◆学修到達目標 ヴィクトリア朝からJames Joyceに至るまでの各作家と各作品を紹介してゆく。英文学史というよりひとつの英文学誌として捉えて欲しい。各作家についての特性を把握できるようになる。

◆授業方法 プリントを配布しそれらを読み上げてゆき、要点を説明してゆく。また作品の抜粋を読んだり、DVDを活用する。

◆準備学修 翻訳でも構わないので扱う作家の作品を読んで欲しい。作品に親しむことが英文学研究の要である。

◆授業計画【各170分】

1回目	ブロンテ姉妹と <i>Jane Eyre</i> <i>Wuthering Heights</i> について
2回目	George Eliot <i>Middlemarch</i> Charles Dickens <i>Oliver Twist</i>
3回目	William Makepeace Thackeray <i>Vanity Fair</i> George Meredith <i>The Egoist</i>
4回目	Thomas Hardy <i>Tess</i> Henry James <i>The Portrait of a Lady</i>
5回目	Oscar Wilde <i>The Picture of Dorian Grey</i> Joseph Conrad <i>Heart of Darkness</i>
6回目	E.M. Forster <i>Howards End</i> George Orwell <i>1984</i>
7回目	D.H. Lawrence <i>Lady Chatterley's Lover</i> James Joyce <i>Dubliners</i> など
8回目	補足説明 試験

◆教科書 【当日資料配付】プリントを配布する。

◆参考書 授業中指示する。

◆成績評価基準 授業への取り組み・テストにより総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Speech Communication 1

〔スピーチコミュニケーションⅠ〕

開講単位：1単位 担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency.

◆授業方法 This course will be based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will be asked to engage in the topics with other members of the class in an active learning setting.

◆準備学修 This course is open to all students. There are no pre-requisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆授業計画〔各170分〕

1回目	Orientation, Introductions and Classroom Language.
2回目	Topic 1: relevant vocabulary; language structures; group activities; tasks and role-plays.
3回目	Topic 2: relevant vocabulary; language structures; group activities; tasks and role-plays.
4回目	Topic 2 cont. Prepare for group presentation.
5回目	Group presentation. Introduce Topic 3.
6回目	Topic 3 cont.
7回目	Topic 4: relevant vocabulary; language structures; group activities; tasks and role-plays. Test preparation.
8回目	Written and speaking tests.

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts. Keep notes organized in a folder.

◆参考書 Please bring a dictionary to class.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, two written tests, vocabulary quizzes and 2 presentations.

◆授業相談（連絡先）：There are no pre-requisites for this course.

◆会計学の基礎を学ぶ

〔会計学〕

開講単位：2単位 担当者：吉田 武史

◆学修到達目標 本講義では、会計というフィルターを通じて、現実の社会経済あるいはビジネスを見る眼を養うことを目標とする。さらに、企業内外で、会計がどのように利用されているのか、会計には、どのような役割があるのかを理解し、特に財務会計の基礎的知識の習得を目標とする。

◆授業方法 本講義は、テキストに従って、解説を行い、必要に応じ、レポートなどの課題を課す。また、指定したテキストについては、4単位を前提としたテキストであり、本講義は2単位であること、および本講義における目標が会計学の基礎を学ぶということに求められるため、当該テキストのすべてを解説していることを意図していないことに留意されたい。

◆準備学修 講義前に、テキストの該当部分を読み込むことをお勧めする。また、講義中に、より専門的な学習をする際の参考文献を適宜示してゆく。また、簿記論を履修していると理解がスムーズに進むため、簿記論を履修しているか、あるいは簿記論を履修済であることが望ましい。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ガイダンスと会計の基礎および会計の理論構造 ここでは、会計の概要や基礎的な前提を学ぶ。
2回目	企業会計制度と会計原則 ここでは、法律に従った会計制度とその中心に位置づけられる会計原則について学ぶ。
3回目	貸借対照表の基礎と金融資産の会計 ここでは、貸借対照表の構造と金融資産といった金融投資の会計理論を学ぶ。
4回目	棚卸資産と有形固定資産 ここでは、棚卸資産や固定資産といった事業投資の会計理論を学ぶ。
5回目	繰延資産と負債 ここでは、繰延資産（計算的擬制資産）の会計理論と負債会計の概要を学ぶ。
6回目	引当金と資本 ここでは、引当金（計算的擬制資産）の会計理論と資本会計の概要を学ぶ。
7回目	損益計算書の基礎と収益・費用 ここでは、損益計算書の構造と利益の計算構造の中心となる収益費用の認識・測定を学ぶ。
8回目	国際会計と本講義のまとめ ここでは、国際会計基準の概要・歴史的展開・動向を学ぶ。

◆教科書 通材『会計学 0851』通信教育教材（教材コード 000482）2,900円（送料込）

◆参考書 丸沼『財務会計講義 第14版』桜井久勝 中央経済社 2013年 4,104円（税込）（送料390円）

丸沼『会計法規集 第6版』中央経済社編 中央経済社 2013年 2,268円（税込）（送料500円）

◆成績評価基準 平常点（30%）、試験（70%）。毎回出席することを前提として、授業への参加度（課題の提出等）、試験の結果により総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）：初回の講義時にお知らせします。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間

金曜日

時間	18:30~21:25							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
授業日	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11

※以下の金曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		併用	制限・注意				
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件		
E1	法 学	高須 則行	0021	法学（日本国憲法2単位を含む）		1年				
E2	英 語 M	田中 竹史	0041	英語 I	1年		・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
			0042	英語 II						
			0043	英語 III	2年					
			0044	英語 IV						
E3	国 文 法	鈴木 浩	0355	国文法		2年				
E4	宗教学概論 B	講師未定	0532	宗教学概論		2年				
E5	西洋史概説	後藤 秀和	0624	西洋史概説	2年		・文理・経済・商学部のみ申込可。			
			0628	西洋史概論			・法学部のみ申込可。			
E6	教育制度論	安藤 忠	0912	教育制度論	×	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
E7	博物館概論	中野 照男	2010	博物館概論	×	2年	D	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆私たちと法の関わりを知りましょう

〔法学〕

開講単位：2単位 担当者：高須 則行

◆学修到達目標 現代社会における紛争解決で重要視されている裁判制度とその法的思考の道具立てを理解し、それが現実の社会の中でどのように機能しているかを理解してもらうことを目的とする。

◆授業方法 講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けていきたいと思います。

◆準備学修 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	法学へのいざない 裁判の種類：民事訴訟・刑事訴訟・行政訴訟
2回目	裁判所の種類：地方裁判所・高等裁判所・最高裁判所：三審制 判決の作法：法的三段論法
3回目	法の形式と種類（1）：成文法 憲法・条約・法律・命令・
4回目	犯罪の成立（1） 行為性・構成要件該当性
5回目	犯罪の成立（2） 違法性・責任性
6回目	法解釈の方法：解釈の必要性 文理解釈・縮小解釈・拡張解釈・類推適用
7回目	法の形式と種類（1）：不文法 慣習法・判例法
8回目	裁判員制度

◆教科書 **〔当日資料配付〕**特定の教科書は使用せず、授業中にプリント（当日）を配布します。

◆参考書 その都度、授業中に指示します。

◆成績評価基準 定期試験（80%）と授業態度（20%）とを総合して評価します。

◆授業相談（連絡先）：

◆科学論説文を読む

〔英語 M〕

開講単位：1単位 担当者：田中 竹史

◆学修到達目標 この講座では、論理の正確さやイメージの具体性を特色とする科学論説文を取り上げ、英文ができるだけ正確に読解できる力を養成する事を目標とします。

使用する教科書は、アメリカの伝統ある科学雑誌 *Science* のオンライン版ニュース *Science Now* の記事を題材にしています。難易度はやや高めですが、含まれている題材は文系・理系の区別なく関心が持てるような科学記事ですから、優れた素材の魅力をそのままに科学論説文の読解に慣れ親しむ事ができるはずです。

◆授業方法 多くの日本人にとって英語は外国語であり、母語ではなく、狭い意味での第二言語でもありません。従って、身に付けるためには意識的な努力が必要になるという点を理解する事が重要です。そのため、まず初めに母語、第二言語、外国語の違いを確認した上で、母語話者の持っている言語知識について見ていきます。

以上のような準備の後に教科書に取り組みます。適宜、教員が読解に関わる文法事項の整理・確認をしますが、教科書は受講者が中心となって読み進めていきますので、十分な予習が必要となります。

なお、受講生の学力程度により進度や内容を調整します。

◆準備学修 授業では本文の音読と和訳の発表が求められますので、事前に *In Advance* と *Reading* 部分の予習を行う事が必要です。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	初回ガイダンス	母語（第一言語）、第二言語、外国語
2回目	日本語母語話者の言語知識	英語母語話者の言語知識
3回目	Unit 7 Safe Passage for Salmon?	
4回目	Unit 8 Face to Face with Human Mobility Research	
5回目	Unit 9 Alien Gases in Our Atmosphere	
6回目	Unit 10 'Altitude Doping' Has Its Limits	
7回目	Unit 11 When Pigeons Flock, Who's in Command?	
8回目	Unit 12 Japanese Guts Are Made for Sushi	

◆教科書 **〔丸沼〕** *Science Fair』『Science』で読む科学の世界 野崎嘉信、松本和子、Kelvin Cleary 南雲堂 2,052 円（税込）（送料 260 円）*

◆参考書 **〔丸沼〕**『探検！ことばの世界』大津由紀雄 ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 340 円）

〔丸沼〕『ことばに魅せられて 対話編』大津由紀雄 ひつじ書房 1,680 円（税込）（送料 340 円）

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、授業に対する取り組みとレポートにより総合的に評価します。

◆授業相談（連絡先）：アドレスは初回の授業時に伝えます。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆付属語から見た日本語の文法

〔国文法〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 浩

◆学修到達目標 付属語をてがかりに日本語の文法を理解することが目標である。付属語（いわゆる助詞・助動詞）は名詞や動詞などの実質的な意味をもった単語に付属する形態である。したがって、名詞や動詞などとのつながりのなかで、ひいては文のなかで、とらえることが理解のしかたである。この「理解のしかた」を身につけるのが目標である。

◆授業方法 講義形式。ただし、学習者の主体的なかかわりを要求するので、演習的侧面をもつ。具体的には、発問をひんぱんにおこない、それに対して自発的に挙手して回答・発言することを求め、双方向のやりとりをしながら授業を進行する。グループを形成して討議することも人数や進行状況に応じて取り入れる。

◆準備学修 (1) 指定する学術論文について、その論旨を批判的に読みとった結果をまとめたものを授業1日目に提出する。記載のしかたを説明した文書を受講生あてに二週間前には送付するので、それにのっとって行うこと。
(2) その日の授業内容に関して理解を確認する質問文を作成し、2日目～7日目に提出する（したがって、1日目から6日目までの6回について、(2)の課題はおこなう）。授業1日目に詳しく説明する。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	付属語の形態論上の位置づけ 品詞論概説
2回目	助詞（1）格助詞と単語結合
3回目	助詞（2）副助詞（・係助詞）と文の情報伝達 付）終助詞
4回目	助詞（3）接続助詞と複文
5回目	助動詞（1）否定・時制にかかわる形態 付）態
6回目	助動詞（2）叙法にかかわる形態
7回目	助動詞（3）名詞述語にかかわる形態
8回目	補足と総括 試験

◆教科書 **〔当日資料配付〕** 当日、プリントを配布する。

◆参考書 適宜紹介する。

◆成績評価基準 試験 35%、準備学習 45%（1日目は15%、2日目～7日目は各5%で計30%）、参加行動 20%。参加行動20%は、発言・質問など、授業内で受講生が自発的に行なった学習行動に対して認めるものである。出席点ではないから、出席して受け身の態度でいる場合、この20%は得点できない。

◆授業相談（連絡先）：



〔宗教学概論 B〕

開講単位：2単位 担当者：講師未定

◆現在、当該講座は担当講師未定のため下記のとおり追ってお知らせいたします。夜間（春期）で当該講座を申込む場合は、シラバスの告知後に申込んでください。

◆シラバス告知・申込方法

『部報』4月号及び「在学生専用サポート（Web報）」にてお知らせします。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆トピックからつかむヨーロッパ史

〔西洋史概説〕

開講単位：2単位 担当者：後藤 秀和

◆学修到達目標 産業化社会や市民社会の出発点として意識されることの多いヨーロッパであるが、近年隆盛を極める社会史や文化史はヨーロッパの過去と現在が持つ別の顔を我々に教えてくれている。近世・近代の中・西欧を中心に、ヨーロッパ社会の基層をなす諸要素とその連関を文章で説明できるようになること、これを到達目標とする。

◆授業方法 原則として講義形式で各回独立したテーマを扱う。ただし双方向性を確保するため、受講者には直接の発言あるいはリアクションカードの提出などによる積極的な授業参加を求める。

◆準備学修 まずは参加者が興味を持っている分野の概説書などでヨーロッパ史に関するイメージをまとめておくのが望ましい。その際、いわゆる政治史に視点を限定せず、衣食住や宗教など社会や文化における持続と変化に注目してほしい。また講義時に参考すべき文献を提示するので、各自文献にあたって講義内容の理解を深めていただきたい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	環境の役割：ヨーロッパ史の舞台となる地理的な環境について概説し、衣食住などの生活条件について理解する
2回目	世界経済の成立と生活感覚の変化：16世紀から19世紀までのヨーロッパを中心とする経済的な結びつきと、人々の日常生活について考える。
3回目	権力と支配（1）：中世における封建制の成立から宗教改革期の主権国家概念の登場まで、統治の仕組みについて考える。
4回目	文化のかたち（1）：「読むこと」は歴史を通じて共通の現象だったと言えるのか、古代から中世にかけての変化の事例を通じて検討する。
5回目	下からの歴史はいかにして可能となるか：自ら記録を残さない人々の歴史について扱った歴史人口学や家族の歴史人類学の成果に学ぶ。
6回目	権力と支配（2）：近世社会を特徴付ける「良き統治＝ポリツィイ」という概念を学び、近世における政府の役割について考える。
7回目	権力と支配（3）：18世紀後半から19世紀にかけて互いに連関しながら進んだ市民革命、いわゆる環大西洋革命とネイションについて考える。
8回目	文化のかたち（2）：時間感覚や時計を通してヨーロッパ社会の基層とその変化を理解する。最後に試験を行う。

◆教科書 特に指定しない。

◆参考書 各テーマについては講義の中で逐次提示する。全体に関わるものとしては以下。

丸沼『ドイツ文化史入門』若尾祐司・井上茂子編 昭和堂 2011年 3,024円（税込）（送料390円）

丸沼『西洋世界の歴史』近藤和彦編 山川出版社 1999年 3,456円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 発言およびリアクションペーパー記入などによる平常点（20%）+論述試験（80%）

◆授業相談（連絡先）：

◆学校教育制度の成立・発展と教育行政

〔教育制度論〕

開講単位：2単位 担当者：安藤 忠

◆学修到達目標 近代国家が国民教育制度として学校教育を制度化し教育行政を実施する中で、どのような国民教育を目指したのかを考察する。さらに、現行の教育行政の仕組みと学校制度、ならびに教育課程についても考察する。また、教育基本法の改正により、今後の学校教育、教育行政がどのように変化するのかを考えてみたい。

◆授業方法 資料を配布し、教科書、参考書としての「教育六法」を用いて法規を参考しながら授業を進める。質問をしていくので、積極的に授業に参加してもらいたい。

◆準備学修 明治以降の近代学校教育制度の成立事情と、その後の発展の経緯について学習しておいて欲しい。参考書である「教育六法」を入手し、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に目を通しておいて欲しい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	授業の進め方についてのガイダンス 近代国家と公教育の成立、近代学校教育制度の成立と発展について
2回目	明治以降のわが国の教育体制について（1） 「学制」「教育令」「諸学校令」等による学校教育の制度的変遷と学校教育の目的
3回目	明治以降のわが国の教育体制について（2） 大正期・昭和期の教育政策の変遷と学校教育制度の変遷
4回目	戦後教育改革と教育基本法の成立 学校制度改革と教育行政の基本的構造
5回目	日本国憲法の教育条項について 教育基本法の改正について
6回目	現行学校教育の基本的構造（1） 義務教育制度、学校教育の目的・目標、教育課程
7回目	現行学校教育の基本的構造（2） 現行教育行政について
8回目	まとめ・最終試験

◆教科書 通材「教育制度論 0912」通信教育教材（教材コード 000285）1,300円（送料込）

◆参考書 丸沼『解説 教育六法』三省堂 2,808円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 受講状況、小テスト、最終試験（筆記）を総合して評価する。

◆授業相談（連絡先）：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館学芸員の素養を身につけよう

〔博物館概論〕

開講単位：2単位 担当者：中野 照男

◆**学修到達目標** 博物館に関する基礎的な知識を理解し、専門的な学芸員としての能力を養うことを目的とする。博物館学が目指すもの、その学問的な方法、博物館の歴史をきちんと踏まえた上で、博物館の定義、機能と目的、博物館の歴史と現状、学芸員の果たすべき役割、博物館関連法案等を学び、今日の博物館や美術館の具体的な活動状況を観察することによって、博物館学芸員の基礎的な技術と知識を身につけることができる。

◆**授業方法** パワーポイントを用いて、講義の要点を掲示し、講義形式で授業を進める。さらに、内容の理解を深めるために有効なビデオ、スライド等の画像を適宜上映する。授業が講義担当者からの一方的な情報の伝達にならないように、毎回質疑応答の時間を設け互いに議論をしつつ、聴講者の疑問に速やかに答える。

◆**準備学修** 各回の講義の終わりに、次回の講義内容に関わる参考文献を提示する。それを事前にチェックし、講義担当者に質問すべき事項をあらかじめ用意して授業に臨むこと。また、平素から博物館や美術館を自発的に訪れ、美術作品や文化財にふれる機会を多くもち、作品の展示手法や文化財の保存修復に関心をもつよう用心すること。

◆**授業計画**〔各 170 分〕

1回目	聴講者に学芸員として何をしたいかを問う。次に、欧州における博物館の出現とその展開、コレクションの形成の歴史を辿り、市民によって活用される博物館の姿を、大英博物館等を例に説く。
2回目	近代日本における博物館の誕生、日本の博物館・美術館の歴史を辿り、近代化を目指す日本が、ナショナル・アイデンティティの確立のために、文化財や美術を利用した歴史を振り返る。
3回目	博物館の定義、博物館の種類と区分、博物館の目的を論ずる。博物館学が対象とする博物館や美術館の基礎的な概念を概説的に取り上げ、明確に定義する。
4回目	博物館の機能と活動を総括する。博物館がいかなる組織からなり、どのような機能を持って、いかなる活動をしているのかを、国内外の博物館・美術館を例に挙げ、具体的に述べる。
5回目	学芸員の役割と仕事について、自らの体験に基づいて述べる。博物館活動を担う学芸員は、どのような専門性をもち、何を目指し、いかなる活動をするのか、具体例を提示して述べる。
6回目	日本の博物館関係法令の歴史を辿り、文化財行政と博物館活動の関係を考える。文化財の保護・活用のために、わが国が文化財関係と博物館関係の法令をいかに整備してきたか、その歴史を辿る。
7回目	博物館学が対象とするもの、博物館学の手法、博物館学の歴史を述べる。学問としての博物館学は何を目指してきたのか、わが国の博物館学は独自性を保持できているのかを問い合わせる。
8回目	今後の博物館の理想像を語る。博物館の理想的なあり方について、最近のいくつかの新しい博物館や美術館の活動を紹介しながら模索する。最後に、授業内容に即した試験を実施する。

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 講義時間中に、それぞれのテーマに即した参考文献を提示する。

◆**成績評価基準** 試験の成績を 70%，授業への貢献度を 30% で評価する。授業への貢献度に関しては、積極的に質問し、授業の運営に自発的に参加したかどうかを重視する。

◆**授業相談（連絡先）**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学習要覧』を参照してください。

項目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
・受講講座 ・科目の単位修得方式決定	・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学習要覧』の「単位修得方式」のページを参照。



スクーリング併用試験方式希望者のみ	履修登録	・未登録科目を登録する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目で、履修登録を行っていない科目は、表紙記載の締切日までに「履修届」又は「追加科目履修届」で登録する。 【「履修届」用紙の配布は前期生は『部報』3月号、後期生は『部報』9月号に同封（1枚）にて行います。「追加科目履修届」は『手引』各種用紙にとじこまれています。】
	リポート提出	・リポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でリポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「在学生専用サポート（Web報）」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	---



スクーリング受講許可通知書の確認	・会計課から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受け取り次第、許可された講座を確認する。内容に疑問があれば教務課へ問い合わせる。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入	・「受講許可通知書」の内容に疑問がなければ、表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・各スクーリング会場やホームページの新着情報で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
------	--



スクーリング結果確認	・教務課から送付される通知又は「在学生専用サポート（Web報）」で、受講した講座の成績を確認する。 ・発送日程は表紙記載。
------------	--

2 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「受講届」(はがき)と「在学生専用サポート (Web 報)」の両方で申込みがあった場合は、「在学生専用サポート (Web 報)」の内容を有効とします。

① 「在学生専用サポート (Web 報)」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日 (半角数字 8 術)
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「在学生専用サポート (Web 報)」にある「個人情報の設定」で登録してから手続をしてください。

〈メールアドレスについて〉

正科生は大学から配布しているメールアカウント (G メール) で申込みできます。G メールを利用するためには、承認が必要となりますので、「在学生専用サポート (Web 報)」に掲載されている「NU-AppsG (在学生専用メール)」から手続きをしてください。

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL : http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html) の「在学生専用サポート (Web 報)」をクリックしてください。	
2	「スクーリング申し込み」でスクーリングごとに申込みができる期間が表示されていますので、申込期間の確認をし「申込」ボタンをクリックしてください。	

【各スクーリングの Web 報による申込期間】

スクーリング名	Web 報による申込期間		
東京(春期)第1~3期	2014年3月5日(水)	10:00~2014年3月13日(木)	24:00
夜間(春期)	2014年4月7日(月)	10:00~2014年4月17日(木)	24:00
東京(春期)第4期			
地方(春期)第1期	2014年4月25日(金)	10:00~2014年5月7日(水)	24:00
東京(春期)第5期			
地方(春期)第2期	2014年6月5日(木)	10:00~2014年6月13日(金)	24:00

3 申込みの流れの説明が表示されますので、手順・注意事項を確認してから、画面下の【次へすすむ】ボタンをクリックしてください。	<p>【画面下】</p> <p>この画面コピーを必ず保存しておいてください。申込</p> <p>次へすすむ</p>										
<p>【ログインしていない場合】</p> <p>ログインID・パスワードを入力する画面が表示されますので、入力してください（すでにログイン済みの場合は表示されません）。</p>	<p>こちらは、ログインが必要なページです。 ID、パスワードを入力してください。</p> <p>ログインID: <input type="text"/> ※学生番号を半角数字で入力</p> <p>パスワード: <input type="password"/> ※初期パスワードについて</p> <p>ログイン ></p> <p>パスワードを忘れた場合はこちら</p>										
4 申込みを受け付けているスクーリングが表示されますので、【申込】ボタンをクリックし、後は画面の指示に従って、手続を完了してください。	<p>【受付中のスクーリング】</p> <p>希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コード</th> <th>スクーリング種別</th> <th>開催地</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>20</td> <td>夜間（春期）スクーリング</td> <td>東京</td> <td>申込</td> </tr> </tbody> </table> <p>戻る</p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2014	20	夜間（春期）スクーリング	東京	申込
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作							
2014	20	夜間（春期）スクーリング	東京	申込							

●受付完了

申込受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに受付メールが配信されますので、必ず確認してください。配信されない場合は、申込確認画面で申込受付が完了しているか確認してください。

●申込確認

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web報）」で確認することができます。

1 申込方法の1～3の手順で、受付中のスクーリングの画面まで進んでください。											
2 申込みをしたスクーリングの【確認】ボタンをクリックして、内容を確認してください。	<p>【受付中のスクーリング】</p> <p>希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コード</th> <th>スクーリング種別</th> <th>開催地</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>20</td> <td>夜間（春期）スクーリング</td> <td>東京</td> <td>確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>戻る</p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2014	20	夜間（春期）スクーリング	東京	確認
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作							
2014	20	夜間（春期）スクーリング	東京	確認							

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「在学生専用サポート（Web報）」で申込講座の変更・取りやめをすることができます。

<p>申込内容を変更する場合には、いったん申込内容を削除する必要があります。</p> <p>【変更する】ボタンをクリックして、内容を削除してから、再度申込みを行ってください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>スクーリング名</th><th>開催地</th><th>コード</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td><td>夜間（春期）スクーリング</td><td>東京</td><td>13</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座</th><th>充当科目</th><th>併用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*****</td><td>*****</td><td>**</td></tr> </tbody> </table> <p>確認を終了して、在学生専用サポートのトップ画面に戻る</p> <p>確認終了</p> <p>申し込み内容を変更するので、一旦全て削除して、申し込み画面のトップに戻る</p> <p>変更する</p>	年度	スクーリング名	開催地	コード	2014	夜間（春期）スクーリング	東京	13	講座	充当科目	併用	*****	*****	**
年度	スクーリング名	開催地	コード												
2014	夜間（春期）スクーリング	東京	13												
講座	充当科目	併用													
*****	*****	**													

注意) 申込期限の経過した場合、申込内容の変更・取りやめはできません。

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

(ア) 開催地コード

開催地のコード番号です。

(イ) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

(ウ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

(エ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

(オ) 受講希望方式

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「併用」と記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入(空欄のまま)

(カ) 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください(緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください)。

(2) 注意事項(「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など)

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では2桁の講座コードと4桁の充当科目コードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目(「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか)のコードを、1つ選択してください。

<input type="checkbox"/> 内を必ず御記入ください	平成26年 月 日作成			
平成26年度東京スクーリング(春期)受講届(39) 第1～3期 東京用				
期	講 座 コード	講 座 名	充 当 科 目 コード	受 講 希 望 方 式
1				
2 (イ)		(ウ)	(エ)	(オ)
3				
※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。 なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。				
上記のとおり相違ありません。				
学 生 番 号				
フ リ ガ ナ				
氏 名				
自 宅 電 話 番 号				
緊 急 時 電 話 番 号				
※提出締切日 平成26年3月13日(木)【締切日までの消印有効】 ※本票は東京スクーリング(春期)第1～3期用の受講届です。それ以外のスクーリングをごの受講届で申し込んだ場合、無効となります。 ※書き損じた場合は修正テープ・修正液で訂正してください。 ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。				

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
15	英 語 B	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV
16	英 語 C	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
 - (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「16」となる。
 - (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
 - (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「0043」となる。
 - (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「16」、充当科目コードに「0043」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する(提出締切日は表紙を参照)

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課カウンターに提出用ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【提出は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」に切手を貼付し、郵送してください。【提出締切日までの消印有効】

郵送提出における注意事項

2014年4月1日から郵便料金が変更となるため、新料金を確認の上、郵送してください。

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、**特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。**

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講許可通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋等を使用し、以下の記入例を参考に「変更届」を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「受講希望方式」の併用申込有無を明記してください。また、学部・学科（専攻部門）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

① 東京スクーリング（春期）第1～3期の場合

平成〇年〇月〇日					
日本大学通信教育部教務課長 殿					
平成 26 年度東京スクーリング（春期）受講講座変更届					
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ東京スクーリング（春期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。					
記					
(当初の受講講座)					
講 座	講座名	充当科目	受講希望方式		
コード		コード			
1 期	A1	文学	0017	併用	
2 期	B2	英語 C	0041	—	
3 期	C2	政治学 A	0023	—	
(変更後の受講講座)					
講 座	講座名	充当科目	受講希望方式		
コード		コード			
1 期	A2	英語 A	0041	併用	
2 期	BC	英語 D	0042	—	
3 期	C1	哲学	0011	—	
上記のとおり相違ありません。					
文理学部史学専攻 学生番号：24143999 氏 名：日大 太郎					

② 夜間スクーリング（春期）の場合

平成〇年〇月〇日					
日本大学通信教育部教務課長 殿					
平成 26 年度夜間スクーリング（春期）受講講座変更届					
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夜間スクーリング（春期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。					
記					
(当初の受講講座)					
曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式	
	コード		コード		
水	C2	刑法 II	0152	併用	
金	E1	英語 L	0041	—	
(変更後の受講講座)					
曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式	
	コード		コード		
水	C1	英語 J	0043	併用	
木	D1	政治学 C	0023	—	
上記のとおり相違ありません。					
法学部法律学科 学生番号：11143999 氏 名：日大 太郎					

VI 申込講座の許可と不許可

1 受講許可通知書を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」により通知します。

なお、「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」の発送は、下記の日程を予定しています（発送完了をもって「在学生専用サポート（Web 報）」にも掲載します）。**発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。**

〈受講許可通知書発送予定日〉

スクーリング名		在学生	平成 26 年度新入生（4 月生）
東京（春期）	第 1 ~ 3 期	4 月 9 日（水）	4 月 16 日（水）
	第 4 期	5 月 7 日（水）	5 月 14 日（水）
	第 5 期	5 月 28 日（水）	6 月 4 日（水）
夜間（春期）		4 月 28 日（月）	5 月 8 日（木）
地方（春期）	第 1 期	5 月 19 日（月）	5 月 26 日（月）
	第 2 期	6 月 30 日（月）	

「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受領したら、以下の要領で許可内容を必ず確認してください。

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続き」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	
—	不許可	スクーリングの受講は可能です

※ 受講許可後にスクーリング併用試験の申込みをすることはできません。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座を受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、「スクーリング受講許可通知書」を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

【すべての講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されているすべての講座を辞退する場合、以下の(1)及び(2)を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

【一部の講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されている講座の一部を辞退する場合、以下の(1)、(2)及び(3)を同封の上、教務課（試験係）まで提出してください。

この場合、受講希望の許可講座のみ記載された「スクーリング受講許可通知書」等を大学から再送付します。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 受講許可通知時送付書類（2 連用紙、次の(A)及び(B)の書類）
 - (A) スクーリング受講許可通知書兼領収書
 - (B) スクーリング受講料等振込依頼書
- (3) 350 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形 3 号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

② **手続期限** いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名		受講申込辞退の手続期限
東京（春期）	第1～3期	4月16日（水）
	第4期	5月14日（水）
	第5期	6月4日（水）
夜間（春期）		5月8日（木）
地方（春期）	第1期	5月26日（月）
	第2期	7月7日（月）

③ **提出先 教務課試験係**

事務時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

※ 辞退手続は1回しかできません。

MEMO

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

1 受講料

スクーリング名	受 講 料
東京（春期）	第1～3期 1講座 10,000円×受講講座数
	第4・5期
地方（春期）	第1・2期 1講座 13,000円×受講講座数
夜間（春期）	1講座 10,000円×受講講座数

2 納入期限

スクーリング名	納入期限
東京（春期）	第1～3期 4月23日（水）
	第4期 5月21日（水）
	第5期 6月11日（水）
地方（春期）	銀行窓口 <u>※当日取扱時間まで</u>
	第1期 6月2日（月）
夜間（春期）	7月14日（月）
	5月15日（木）

3 納入方法

必ず大学から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を使用し銀行窓口から振り込んでください。「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」と「(B) スクーリング受講料等振込依頼書」は、切り離さずに銀行窓口へ持参してください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（A T M）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」に記載された事項を訂正したものは受け付けません。
- (4) 三井住友銀行本・支店窓口からの振込手数料は、無料となります。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」は、受講時、試験時、通学定期券購入手続を行う際、学生証とともに必要になります。受講期間中は常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

スクーリング受講許可通知書 兼 スクーリング受講料等振込依頼書

○○年 ○月 ○日 作成

101-8354

千代田区三崎町2-2-3

日大 通子 殿
(学生番号: 22143999)

日本大学通信教育部

(A) スクーリング受講許可通知書 兼 領収書

年 度	2014年度	学生番号	22143999
スクーリング種別	夜間(春期)	氏 名	日大 通子
開 講 期 間	○○/○/○	～	○○/○/○

領 内 訳	取 内 内 内 内	金 額 受講料 内 内 内 内	20,000円 20,000円 円 円 円 円 円
-------------	-----------------------	-----------------------------------	---

取扱銀行
領收印

日本大学通信教育部
東京都千代田区三崎町2-2-3
電話 東京 03-5275-8911(教務課) 03-5275-8925(会計課)

(切り取らないで銀行窓口に提出してください)

電信報

(B) 2014年度 夜間(春期)

スクーリング受講料等振込依頼書

				振替科目									
依頼日		年月日		振込指定		電信扱		手数料					
銀行名		ミツイスマートモ カンダシテン 三井住友 神田支店		店番	219	金額		2 0			0 0	円 0	
お 受 取 人	預金種目	普通預金	口座 番号	1035505		内 訳	現金						
	口座名	ニチダイツウシン					当手						
		日本大学通信教育部					他手						
		取扱期限厳守 納入期限 ○○年○月○日											
ご 依 頼 人	整理番号	1400010000				取 納 印 ま た は 振 替 印							
	フリガナ	ニチダイ ツウコ											
	氏名	日大 通子											
	住所	101-8354 千代田区三崎町2-2-3											
	電話番号	03-5275-8911											
		(取扱銀行保管)											

(取扱銀行へのお願い)

- 1 の部分は全て打電してください
2 納入期限の過ぎたものは受付しないでください
3 金額、納入期限、整理番号、氏名を訂正したものは受付しないでください
4 三井住友銀行本支店窓口からの振込手数料は無料になります

4 二井社及銀 (学生へのお願い)

- 1 ATMはご利用いただけません 窓口からお振入ください

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部 〒106-0032 東京都千代田区三崎町2-2-3
電話 東京 03-5275-8925 (会計課)

1 使用教材の購入

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学習効果が期待できません。受講許可通知書を受け取った後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を購入してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注意事項

「指定配本」、「履修届」及び「追加科目履修届」による配本を受け、所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を購入してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、「受講許可通知書」を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）に問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9:00～20:00（日曜日は休み）

（購入方法）直接店頭（157ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料250円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）郵便為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して上記あてに郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勧奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、文部科学省発行で通信教育の主旨等を記載した「勧奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勧奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（定形・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勧奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。「在学生専用サポート（Web報）」の「各種手続用紙（様式）」からのダウンロード又は『部報』（4月号又は10月号）巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（定形・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールへの記入

- (1) 「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

② 購入手続き

- (1) 学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）
- (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅
JR東日本	水道橋駅
都営地下鉄	水道橋駅, 神保町駅
東京メトロ	神保町駅, 後楽園駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること。	② 他人に譲渡・貸与すること。
③ 記名人以外が使用すること。	④ その他、不正に使用すること。

⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出してください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出してください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

4 学割証の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は、科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため、片道100kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ、運賃が2割引となります。

① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は、82円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

② 発行対象条件（全項目該当が条件）

- (1) 正科生であること。
- (2) 科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。
- (3) JR各社の鉄道又はバスを使用すること。
- JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道100km以上であること。

③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引き対象外）

④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の 10 日前から最終日の 5 日後までの間に限り選択できます。

⑤ 発行枚数

原則として 1 枚です。（1 枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

また、往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。期間外になる場合には片道乗車券を 2 枚購入することになります、学割証も 2 枚必要です。

【往復切符有効期間】

片道の距離 (km)	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
有効期間	4 日間	6 日間	8 日間	10 日間	12 日間

⑥ 発行所要期間

科目修得試験やスクーリングごとに定められた発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから 2 日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の 2 日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※ 急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も 362 円分（速達代 280 円 + 82 円）の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料 > 割引額」とならないように注意してください。

⑦ 発行開始日

科目修得試験やスクーリングの各手引に発行開始日が明記されていますので、確認してください。なお、時期的には、科目修得試験やスクーリングの受講許可通知の到着後となります。

スクーリング名	発行開始日
東京（春期）第1期	
東京（春期）第2期	4月 9日（水）
東京（春期）第3期	
東京（春期）第4期	
地方（春期）（仙台・大阪・福岡）第1期	5月 14日（水）
東京（春期）第5期	6月 4日（水）
地方（春期）（札幌・名古屋）第2期	7月 2日（水）
夜間（春期）	①5月 7日（水） ②6月 11日（水）

※学割発行後の有効期間は 1 か月ですので、夜間スクーリングでの「学割証」発行開始日を、2 回に分けています。夜間スクーリング全期間を通して毎週通学する必要があり、「学割証」の発行を希望する場合は、事前に学生課にご相談ください。

⑧ 購入方法

JR 各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全出席が前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。

なお、スクーリング試験を受験できなかつたり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
 - 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
 - 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
 - 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
 - 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
 - 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
 - 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
 - 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
 - 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
 - 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。
- ※ 試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成26年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に教務課から郵送で通知します。また、「在学生専用サポート（Web報）」でもお知らせします。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などは「在学生専用サポート（Web報）」で確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

スクーリング名	結果発送時期	
東京（春期）	第1～3期	6月上旬
	第4・5期	7月中旬
地方（春期）	第1期	7月中旬
	第2期	8月中旬
夜間（春期）		8月中旬

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため「スクーリング結果通知書」には併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が記載されます。

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要となります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項等を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないよう注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出してください。

⑤ 紛失及び落し物の拾得

校舎内で所持品を紛失したり、他人の落し物を拾得した場合は、速やかに学生課まで届け出してください。届けられた物品は学生課で保管します。

⑥ 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪するに違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本誌「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」を記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

- ※ 不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。
- ※ 郵送では受け付けしません。
- ※ 通学定期券購入手続の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 水道橋駅及び通信教育部校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指針について

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおり対応についての行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装に心掛ける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携行など。また、日頃から自分で準備しておくと良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携行していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機器等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救護を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて避難してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けのこと。—

(3) 避難場所

- ア 避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否の確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。
- イ 避難場所は安全な場所を前提に「通信1号館学生ホール」や「西神田公園」とし、必要に応じて千代田区指定の避難所へ移動する。

(4) あわてて帰宅をしない

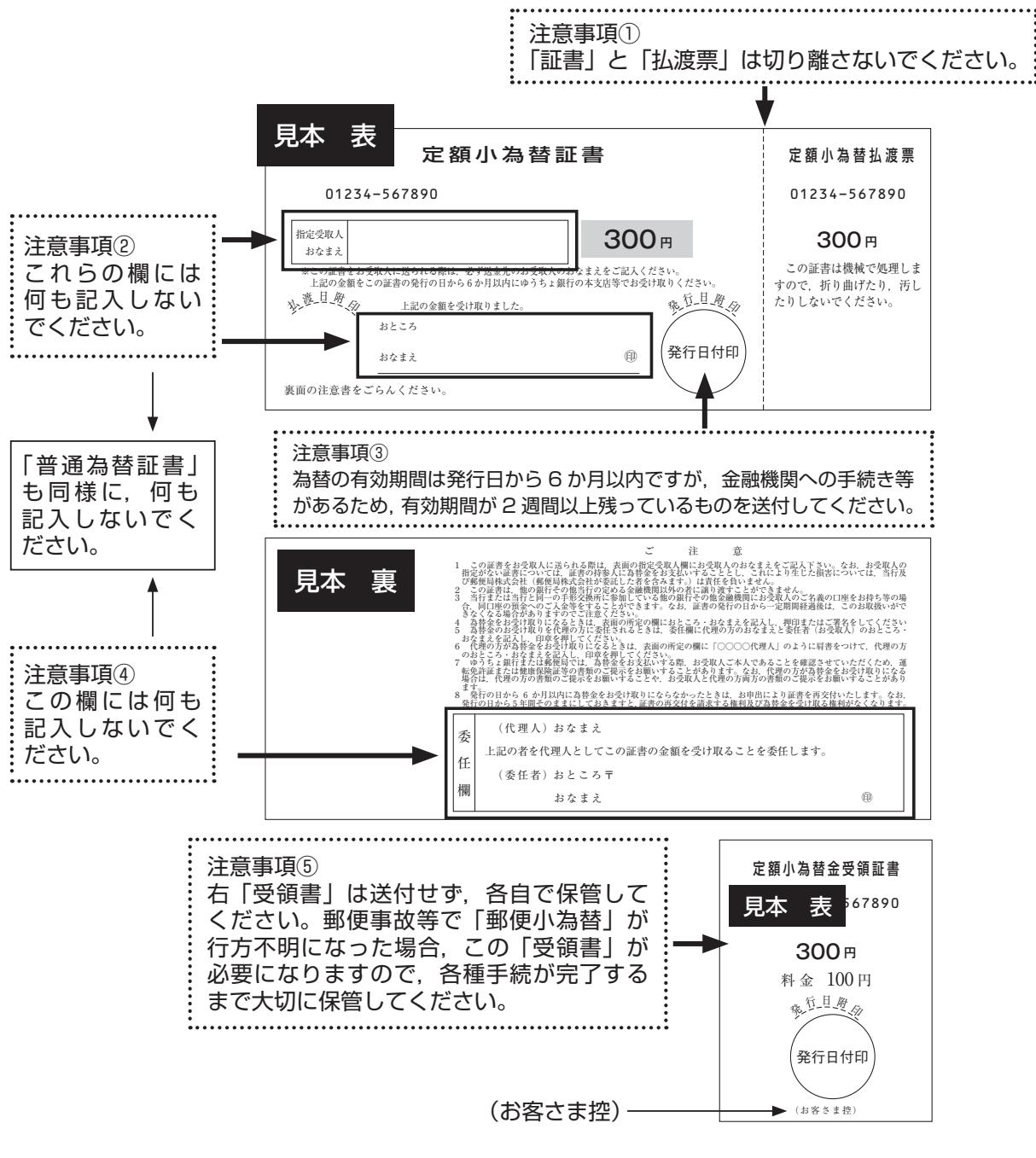
強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関に運行状況等により判断し、帰宅が困難な場合は避難場所の通信1号館学生ホールで待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材購入用）
- ・追加科目履修届
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勧奨状）申込書
- ・<受講申込辞退願>
 - ・東京スクーリング（春期） 第1～3期
 - ・東京スクーリング（春期） 第4期
 - ・東京スクーリング（春期） 第5期
 - ・地方スクーリング（春期） 第1期
 - ・地方スクーリング（春期） 第2期
 - ・夜間スクーリング（春期）

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「追加科目履修届」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定期小為替証書」又は「普通小為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。



教材購入用紙(丸沼書店用)

市販教材(市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成 26 年度 春期スクーリング				
申込日	平成 26 年 月 日			
科目名	書名	教材費(税込)	送料	
小計		円	円	
合計		円		
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換	②定額小為替・郵便為替	③現金書留	

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ~ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費）+ 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

(書店名) (株) 丸沼書店
(所在地) 〒 101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
(電話) 03-3261-4540
(FAX) 03-3261-0118
(営業時間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は休み)

通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号 (携帯電話可)						- - -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数			合計金額	
			_____	円

※ボールペンで記入してください。

会計課領収印

※「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』
で確認し、必ず記入してください。

「教材コード(6桁)」と「科目コード(4桁)」は異なりますので、
注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授
業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してく
ださい。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄
で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 0023』通信教
育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入す
る場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科
目ではなく**指定された教材の科目名**を記入)。

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』を購入する場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（本館1階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。

為替には何も記入せず送付してください。

2 教材購入対象者

- ① 面接授業（スクーリング）、メディア授業で『通信教育教材』を使用する場合
- ② 教材を紛失した場合
- ③ 学習する際に、参考として使用する場合
- ④ 教材が改訂された場合

3 注意事項

- ① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**
教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。
- ③ 「教材購入願」で入手した教材でリポート提出はできません。リポート+科目修得試験方式、スクーリング併用試験方式、メディア授業併用試験方式で単位修得する場合は、履修登録（履修届・追加科目履修届）で教材を入手してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

追加科目履修届

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)						- - -	

(平成 年度)

※「裏面」の注意事項を熟読の上、記入してください。

科目コード	科 目 名	単位	合計科目 _____科目 合計単位数 _____単位
1			
2			
3			
4			
5			
_____ 単位 × 1,500 円			合計金額 _____ 円

※科目コードは『教材要綱』で確認し、必ず記入してください。

※「追加科目履修届」は大学が受理した日の学年で登録されます。

上級学年の科目を履修する場合は注意してください。

【裏面〈注意〉④※印 参照】

※新入生の登録は前期生は4月1日から、後期生は10月1日からになります。

会計課領収印

(太線枠内にボールペンで記入してください)

「追加科目履修届」提出上の注意

「1学年指定配本」以外の科目や「履修届」で履修登録していない科目を、科目修得試験またはスクーリング・メディア授業併用試験方式で受験する場合は、この「追加科目履修届」用紙を提出してください。

1 追加履修費

1単位につき1,500円（例：4単位科目は4単位×1,500円=6,000円）。

2 手続方法

手続は隨時受け付けています。必要に応じてそれぞれの履修登録締切日までに手続を行ってください。

① 窓口による手続（直接持参による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）を持参の上、通信教育部の会計課窓口に提出し、手続を行ってください。

② 郵送による手続（郵便小為替による納入）

郵便局で追加履修費（現金）を「定額小為替」又は「普通小為替」に換え（手数料が必要）、追加科目履修届用紙と一緒に簡易書留で会計課あてに送付してください。

③ 郵送による手続（現金書留による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）と一緒に現金書留封筒で、会計課あてに送付してください。

※教材の受け渡しは郵送に限ります。窓口での受け渡しは一切行いません。

なお、教材が手元に届くのは、「追加科目履修届」受理後、約1週間を要します。

3 注意事項

① 対象者・科目

- ・「1学年指定配本」以外の科目
- ・「履修届」による配本以外の科目
- ・スクーリングでなければ履修できない科目や、教材を刊行していない科目は履修登録の対象になりません（例：総合科目・演習科目など、『学習要覧』に「※」印を記載の科目、及び教育実習・教育実践指導）。
- ・Dカリキュラム在籍者は、配当学科・学年にも注意してください。
- ・正科生のみ（科目履修生は使用できません）。

② 履修登録の有効期間

履修登録した科目（指定配本科目、履修届・追加科目履修届により配本を受けた科目）は、在籍期間中有効です。

③ 当該科目の所定単位で登録

4単位科目を、スクーリングまたはメディア授業で2単位修得している場合でも4単位として登録してください（所定単位4単位の科目を、2単位のみ登録することはできません）。

④ その他

「追加科目履修届」で登録し、配本された科目の教材は「教材購入願」で購入する必要はありません。

- ・当年度の授業料を納入していない場合は、履修登録できません。
- ・届出後の変更・取り消しはできません。また、返金も行いませんので、慎重に科目を選択してください。
- ・記入に際しては、ボールペンを使用してください。

※追加科目履修届は大学が受理した日の学年で登録されます。現在の学年より、上級学年の配当科目を追加履修する場合は、学年進級時（前期生は4月1日、後期生は10月1日）から登録が可能となります。

また、新入生の場合も同様で、前期新入生は4月1日から、後期新入生は10月1日からの受付となります。受付開始日前に到着した場合は、受理することができず、返送いたしますのでご注意ください。

通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学生番号	
大 学 院				
フリガナ		性 別	年 齢	
氏 名			男・女	才
現 住 所				
電 話	()			
通学区間	駅～ 駅 経由			
	駅～ 駅 経由			

※記入後、学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

正しい記入	新橋 駅～ 水道橋 駅 秋葉原 経由
誤った記入	新橋 駅～ 水道橋 駅 総武線 経由

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請				
学部	学科（専攻）	学生番号					
氏名				年齢	歳		
現住所	〒	-					
TEL ()							
申請事由（該当箇所に○を記入してください）							
	東京・地方スクーリング（春期）	開講地 ()		卒業論文指導（月日）			
	夏期スクーリング（第期）			総合面接試問			
	東京・地方スクーリング（秋期）	開講地 ()		科目修得試験（第回）			
	昼間・夜間スクーリング (曜日 時限)			その他（ ）			
乗車区間	自	線	駅	至	線	駅	
乗車日	行	平成 年 月 日		帰	平成 年 月 日		
必要枚数		枚	(1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること)				
	※ 理由						
利用交通機関	鉄道・バス・その他()			受取方法	窓口・郵送		

【注意事項】

- 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- 大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- 郵送の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- この交付願では通学定期券の購入はできません。

滞在先届 平成 26 年度 東京スクーリング（春期）

学 部	学科（専攻）	学 生 番 号	氏 名
		（ ）	
スクーリング期間中滞在先住所（宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。）			
〒 -			
方			
電 話 ()			
最 寄 駅 [駅]			
受講期間 第1期・第2期・第3期・第4期・第5期（○で囲む）			
現 住 所			学生課受付印
〒 -			
TEL ()			

※ 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

キ リ ト リ

注意事項

※記入後にコピーしたものを添えて（計2部必要）受講初日までに学生課窓口に提出してください。
※郵送では受け付けません。

日本大学通信教育部長 殿

休暇依頼状（勧奨状）申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勧奨状）の発行をお願いいたします。

平成 年 月 日 申請

	学 部		学科（専攻）	
	学生番号		学 年	
	氏 名			
	日中連絡先 電話番号			
	勤務先 正式名称			
	所属部署			
受講する スクーリング	種 別		開 催 地	
	受講期間			
提出先	勤務先 正式名称			
	役職名			
	役職者 氏 名			

【注意事項】

- * スクーリング受講許可後に発行します。
- * 勤務先に対してのみ発行します。
- * 休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- * 送付先を明記した返信用封筒（定形・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- * 複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

併せて提出するもの
全講座辞退→受講許可通知書
一部講座辞退→受講許可通知書
返信用封筒（長形3号、362円切手貼付）

平成26年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成26年度東京スクーリング(春期)第1~3期受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞退内容 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）
 (□にチェック) 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
 辞退講座のみを以下へ記入）

期	講座コード	辞退講座名
1期		
2期		
3期		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限 4/16(水)【教務課必着】

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成26年度東京スクーリング(春期)第1~3期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度東京スクーリング(春期)第 4 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞 退 内 容

講座コード	辞 退 講 座 名

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限 5 / 14 (水) 【教務課必着】

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度東京スクーリング(春期)第 4 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度東京スクーリング(春期)第 5 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞 退 内 容

講座コード	辞 退 講 座 名

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限 6/4 (水) 【教務課必着】

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度東京スクーリング(春期)第 5 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度地方スクーリング（春期）第 1 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ）_____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
仙 台			
大 阪	1 期		
福 岡			

5 辞 退 理 由（詳述）

※ 提出期限 5/26 (月) 【教務課必着】

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度地方スクーリング（春期）第 1 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

受講許可通知書

平成 26 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 26 年度地方スクーリング（春期）第 2 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ）_____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
札幌 名古屋	2 期		

5 辞 退 理 由（詳述）

※ 提出期限 7 / 7 (月) 【教務課必着】

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 26 年度地方スクーリング（春期）第 2 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの
全講座辞退→受講許可通知書
一部講座辞退→受講許可通知書
返信用封筒（長形3号, 362円切手貼付）

平成26年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成26年度夜間スクーリング(春期)受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞退内容 全講座辞退(許可通知書記載講座すべてを辞退)
 (□にチェック) 一部講座辞退(許可通知書記載講座の一部を辞退する場合,
 辞退講座のみを以下へ記入)

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限5/8(木)【教務課必着】

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成26年度夜間スクーリング(春期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

教務課受付印	会計課受付印

付録

1 東京スクーリング（春期）宿泊施設の利用案内

東京スクーリングを受講する際に、宿泊施設の確保あるいは滞在にかかる経費は大切な問題です。大学では、皆さんが大学近隣の施設にできる限り低料金で宿泊できるよう、下記のとおり宿泊施設を紹介します。

なお、掲載の宿泊施設に予約する際には、必ず「日本大学通信教育部東京（春期）スクーリング受講生」であることを申し出てください。申し出がない場合には、通常料金となります。

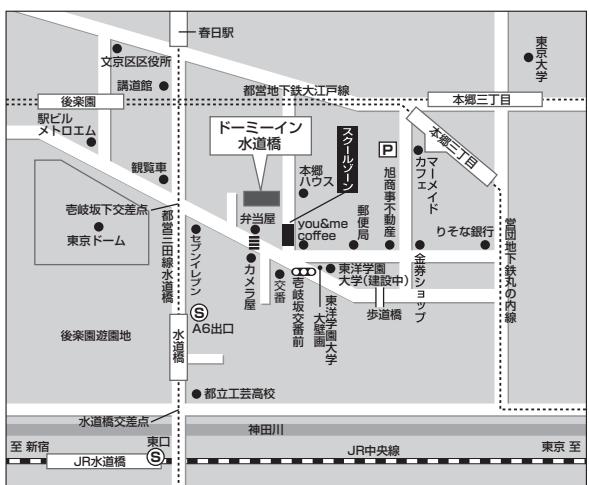
ホテル（水道橋周辺）

ドーミーイン水道橋

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-27
TEL (03) 3815-4790 FAX (03) 3815-4791
<http://www.hotespa.net/hotels/suidobashi>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
コーナーシングル	7 室	7,000 円
シングル	35 室	8,000 円
スタジオツイン	18 室	14,400 円

（特別優待価格）



交通案内 JR 総武線「水道橋」駅東口下車徒歩 7 分、都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩 3 分
客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷暖房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー・ビデオ・ズボンプレッサー・LAN ケーブルは無料貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA UC DC MC JCB AMEX NICOS OMC UFJ Saison AEON Diner's Club

朝 食 1,100 円（和洋食のバイキング）

※ 男女別人口炭酸泉大浴場「楽楽の湯」（サウナ付）

ヴィラフォンティーヌ神保町

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-30
TEL (03) 3233-9990 FAX (03) 3233-9998
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金 (税・サ込)
エコノミー	10室	9,500円 (通常 10,000円)
スタンダード	34室	9,500円 (通常 12,000円)
ヒーリングルーム	シングル 26室	9,500円 (通常 13,000円)
ツイン	2室	15,000円~



※連泊プラン：エコノミー、スタンダード、ヒーリングルーム1名1泊あたり 9,000円

交通案内 JR「水道橋」駅東口下車徒歩7分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A5番出口下車徒歩3分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー(有料)あり。ズボンプレッサーは貸出し。全室LAN回線無料(光ファイバー方式)。
※全室16m²のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム
※ヒーリングルームは低反発マット使用

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 朝食付(サンドウィッチ)

ヴィラフォンティーヌ九段下

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4
TEL (03) 3222-8880 FAX (03) 3222-8868
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金 (税・サ込)
スタンダード	72室	9,500円 (通常 13,000円)
ヒーリングルーム	60室	9,500円 (通常 14,000円)
レディースルーム	12室	9,500円 (通常 14,000円)



※連泊プラン：スタンダードルーム、ヒーリングルーム、レディースルーム1名1泊あたり 9,000円

交通案内 JR「水道橋」駅西口下車徒歩7分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A2出口下車徒歩3分、東京メトロ東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅5番出口徒歩6分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・ズボンプレッサー・机・コインランドリーあり。全室LAN回線無料(光ファイバー方式)。
※全室約16m²のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム
※ヒーリングルームは低反発マットレス使用。

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 無料サービス

東急ステイ水道橋

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-12
 TEL (03) 3293-0109 FAX (03) 3293-0109
 メールアドレス : suidobashi@tokyustay.co.jp
<http://www.tokyustay.co.jp/hotel/SUI/>

タイプ	室数／面積	料金（税・サ込）
シングル A	120室 / 15m ²	8,300円 1泊朝食付き (通常 14,100円)



※日本大学通信教育部夏期スクーリング受講生と予約の際申し出ること。

※電話・FAX・Eメールで24時間申込可能。

※喫煙又は禁煙部屋の希望を申し出ること。

交通案内 JR「水道橋」駅 東口から徒歩3分、都営三田線 水道橋駅 A1出口から徒歩4分、
 都営三田・新宿線 東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A5出口から徒歩8分

客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷暖房・液晶テレビ・電話・冷蔵庫・電子レンジ・
 洗濯乾燥機・ドライヤー・ズボンプレッサー・机・ナイトウエア・セーフティーボックス・
 インターネット(LAN)は使用料・通信費無料・全室 WiFi接続可能(無料)
 ※ゆったりサイズのバスルーム

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

2 交通案内・校舎案内

① 交通案内～通信教育部までの交通～

〔東京駅乗継の場合〕

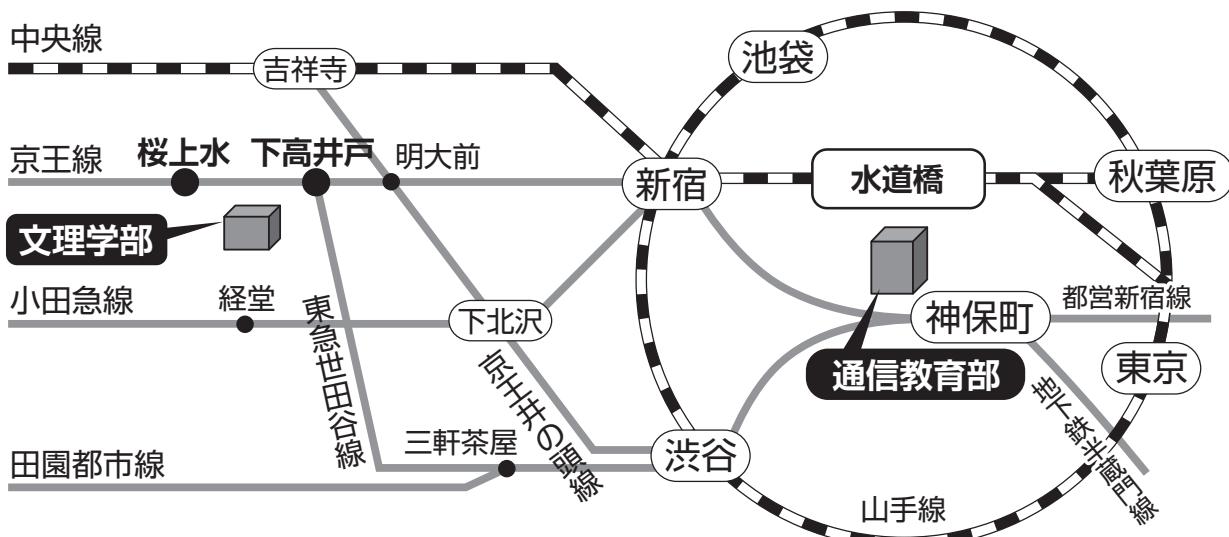
JR 中央線(1・2番線から発車する電車いずれも可)に乗車、御茶ノ水駅でJR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、次の駅・水道橋駅下車徒歩約5分。東京駅から約15分。

〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線(東京方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、水道橋駅下車徒歩約5分。上野駅から約20分。

〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車、JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、水道橋駅下車徒歩約5分。羽田空港駅から約50分。



② 校舎案内



- JR中央線・総武線（各駅停車）「水道橋」駅下車 徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車 徒歩6分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 徒歩7分

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ エ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	卷末「受講届」
<input type="checkbox"/> [] 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講時期は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (在学生専用サポート)
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「受講希望方式」欄に『併用』を記入していますか	V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 希望する科目的履修登録は済んでいますか	V-1 受講手続の流れ表紙 (Ⓐ 履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙 (Ⓑ リポート提出締切日)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (① 受講届提出締切日) V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ホームページからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 特定記録郵便で発送しましたか	V-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> 受講許可通知書の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講許可通知書を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(春期)第1~3期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度東京スクーリング(春期)受講届 (39)
第1~3期 東京用

期	講 座 コード	講 座 名	充当科目コード	受講希望 方式
1				
2				
3				

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フリ ガ ナ							
氏 名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成26年3月13日(木)【締切日までの消印有効】
※本票は東京スクーリング(春期)第1~3期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(春期)第4期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度東京スクーリング(春期)受講届(40)

第4期 東京用

講座コード	講座名	充当科目コード	受講希望方式

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



上記のとおり相違ありません。

学生番号								
フリガナ								
氏名								
自宅電話番号								
緊急時電話番号								

※提出締切日 平成26年4月17日(木)【締切日までの消印有効】
※本票は東京スクーリング(春期)第4期用の受講届です。それ以外の
スクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(春期)第5期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度東京スクーリング(春期)受講届(42)

第5期 東京用

講座コード	講座名	充当科目コード	受講希望方式

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



上記のとおり相違ありません。

学生番号								
フリガナ								
氏名								
自宅電話番号								
緊急時電話番号								

※提出締切日 平成26年5月7日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は東京スクーリング(春期)第5期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
地方スクーリング(春期)第1期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度地方スクーリング(春期)受講届(36) 第1期(仙台・大阪・福岡)

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード	受講希望方式
仙台 大阪 福岡				



開催地を○で囲むこと。



※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学生番号							
フリガナ							
氏名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成26年5月7日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は地方スクーリング(春期)第1期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
地方スクーリング(春期)第2期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度地方スクーリング(春期)受講届(37) 第2期(札幌・名古屋)

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード	受講希望方式
札幌 名古屋				



開催地を○で囲むこと。



※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学生番号							
フリガナ							
氏名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成26年6月13日(金)【締切日までの消印有効】
 ※本票は**地方スクーリング(春期)第2期用の受講届**です。それ以外
 のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
 ※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
 ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

1 0 1 8 3 5 4

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
夜間スクーリング(春期) 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。

特定記録郵便 [212円切手貼付] をお勧めいたします。



内を必ず御記入ください

平成26年 月 日作成

平成26年度夜間スクーリング(春期)受講届(20)

曜日	講 座 コード	講 座 名	充当科目 コード	受講希望 方式
月				
火				
水				
木				
金				

*併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。
なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。



私の申込みは、上記のとおり相違ありません。							
学 生 番 号							
フ リ ガ ナ							
氏 名							
自 宅 電 話 番 号							
緊 急 時 電 話 番 号							

*提出締切日 平成26年4月17日(木)【締切日までの消印有効】

*各曜日から1講座ずつ申込みできます。

*書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください

*本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY
編集兼発行人 福田弥夫 〒101-8354 東京都千代田区三崎町2-2-3 日本大学通信教育部